

SERAPHIC

自分で約半世紀後の近未来を想像するには、ちょっと想像力が足りない。例え何百冊もの科学技術の本を読んでも、あまり役に立たないようだ。だからではないが、『セラフィック・フェザー』では歴史を通じてあまり変化のない人の感情の方を重視する。現代と同じように感情という精神を紡ぐ『美しさ』『優しさ』『強さ』などは、きっと近未来をも彩っているだろう。

森本 洋

FEATHER



アフタヌーンKC

アフタヌーン
KC78

セラフィック・フェザー

1

森本 洋 &
うたたねひろゆき

講談社
500

アフタヌーンKC

セーラー

1

森本洋&

うたたねひろゆき



アフタヌーンKC
講談社





9784063140781



1919979005000

ISBN4-06-314078-4

C9979 P500E (0)

雑誌 55710-78

アフタヌーンKC

講談社 定価500円
(本体485円)



Kei Heidmann

ほらスナオ
あの星なんか
もう180万年も
前の光が
届いてるんだよ

うん！ ケイちゃん
ぼくね、ぼく
いつか行くんだ
パイロットになつて



星空のもっと向こうへ——



セブンの戦士

原作/森本 洋 漫画/うたたねひろゆき

あのね
お父さんが
月に都市を
つくったら
人もいっぱい
住めるし

きっとスナオも
遊びにだって
来れるからね

それにスナオ
パイロットに
なるんだもんね

いつか月まで
迎えに来て
わたし

待ってる



ケイ
ちゃん……

そうだ！
わたし
手紙だって
書くし
それから
……それから

……スナオ

……今日
誕生日……よね



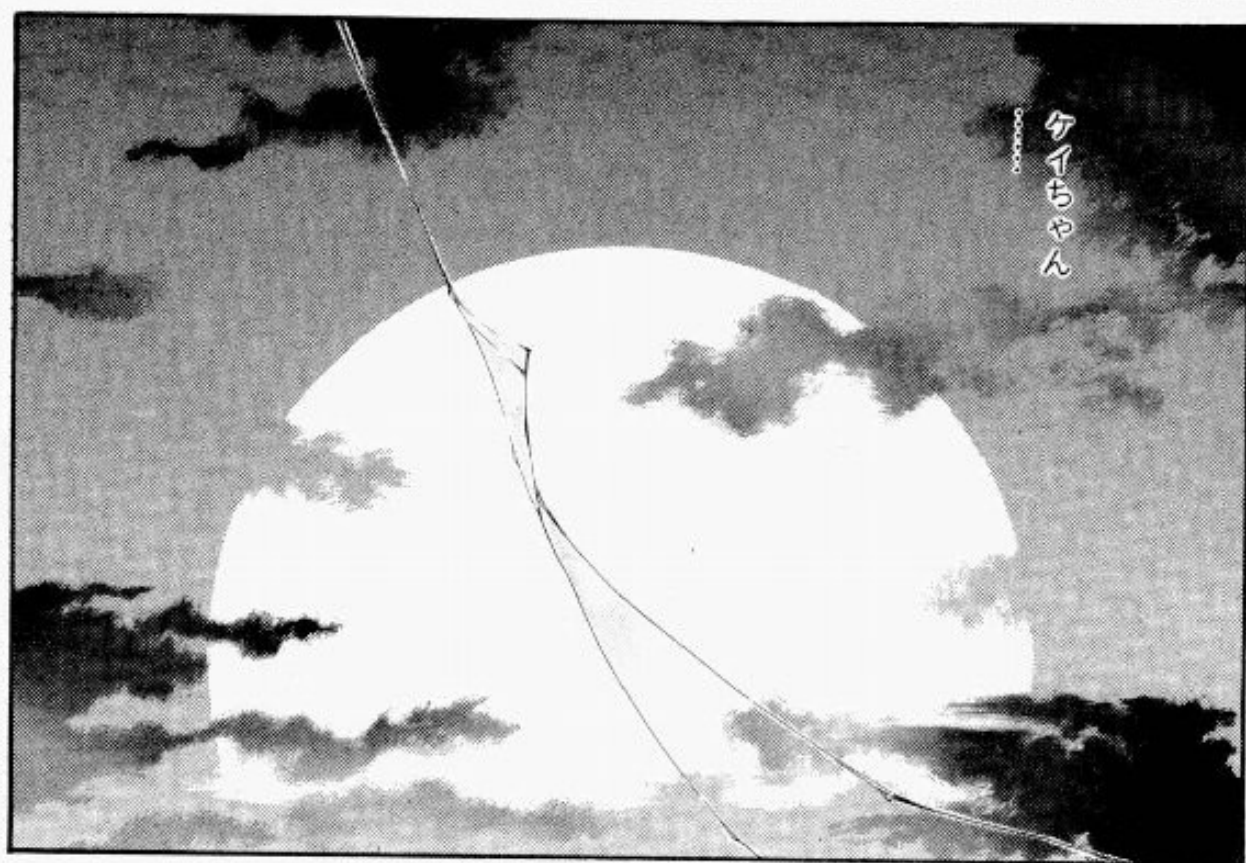
お星様の
お話して
あげる
約束破っ……

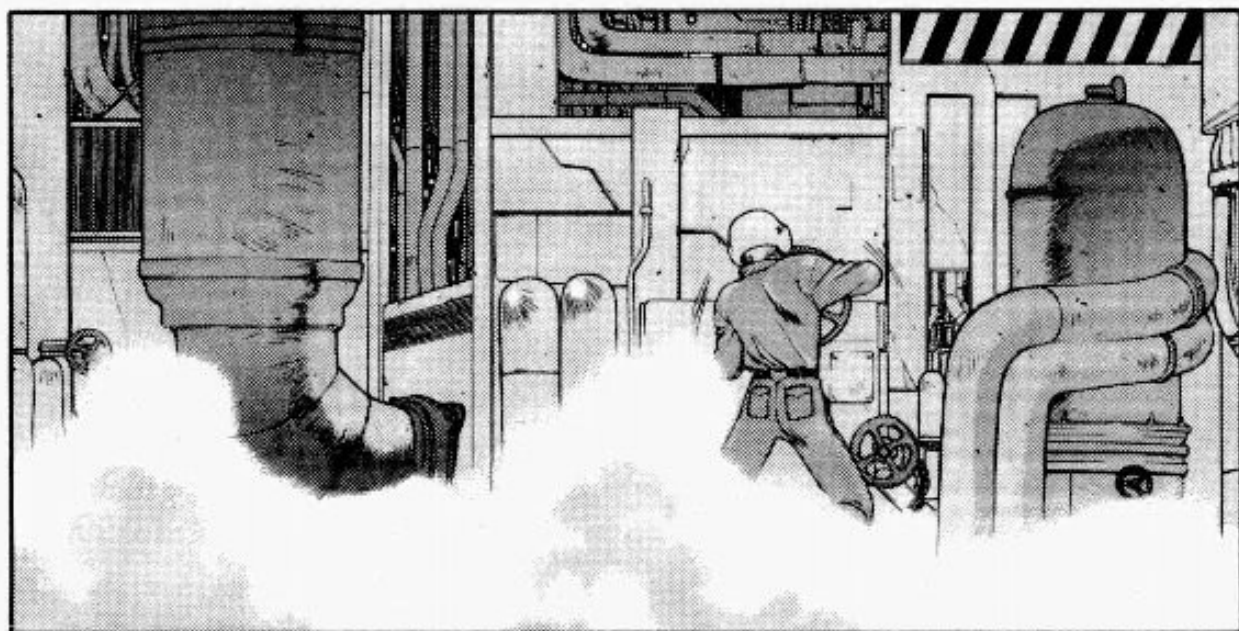
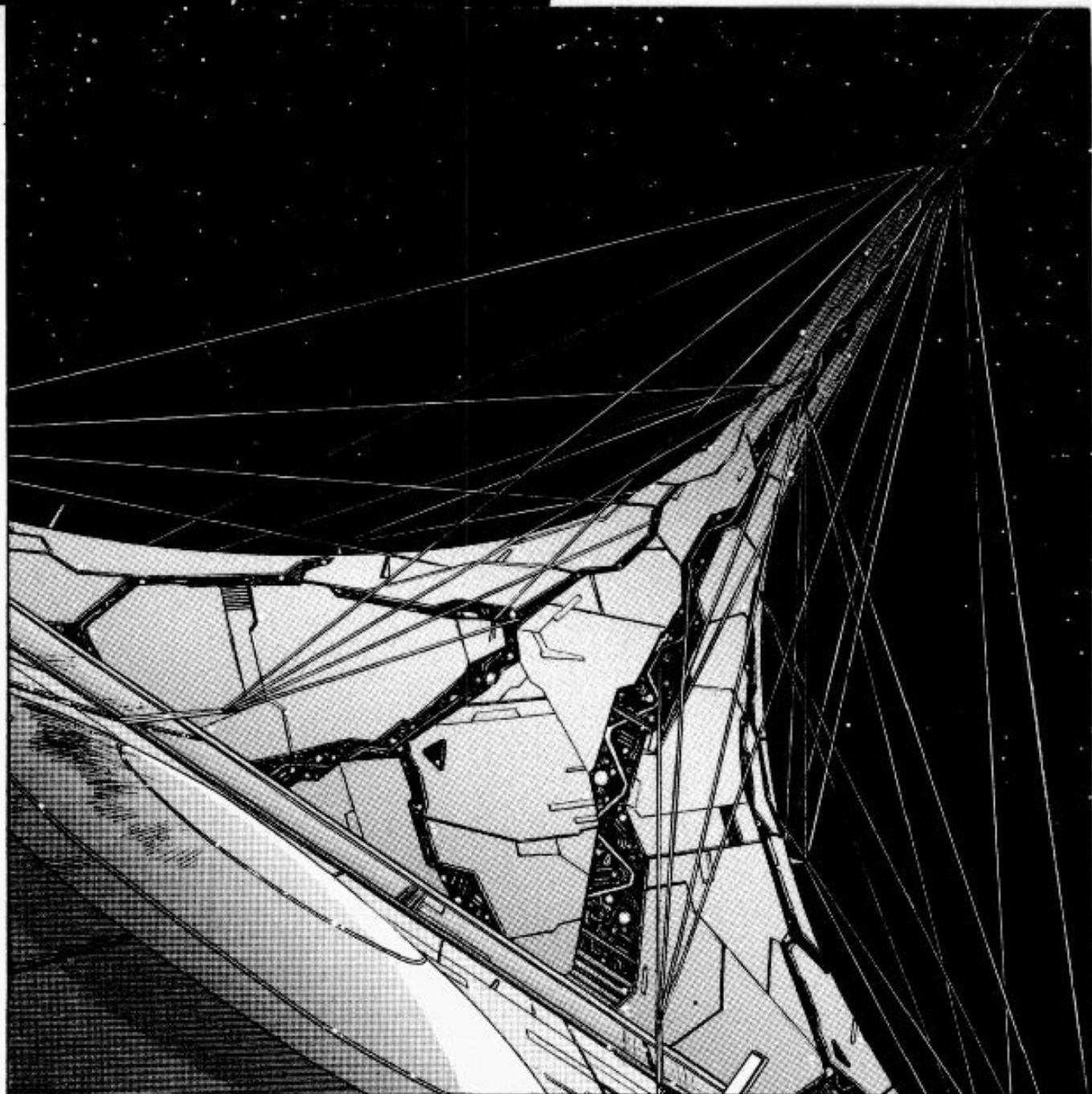
ケイ
ちゃんの……

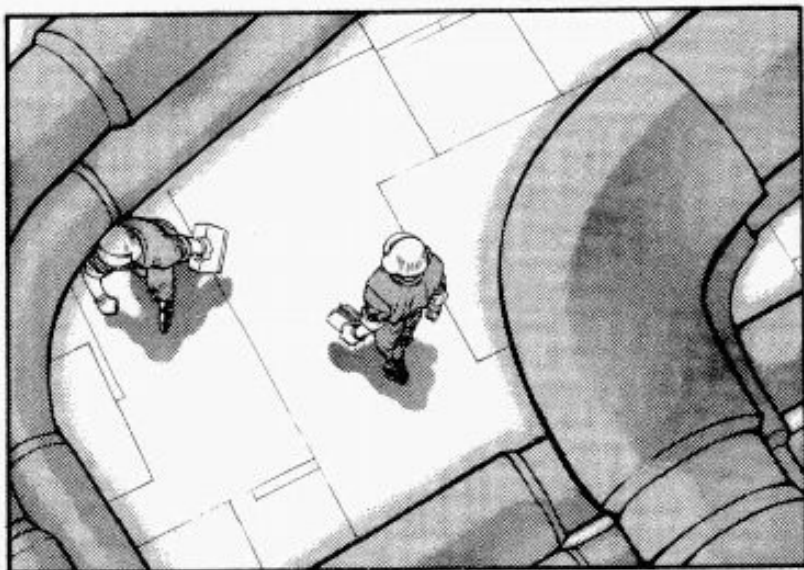
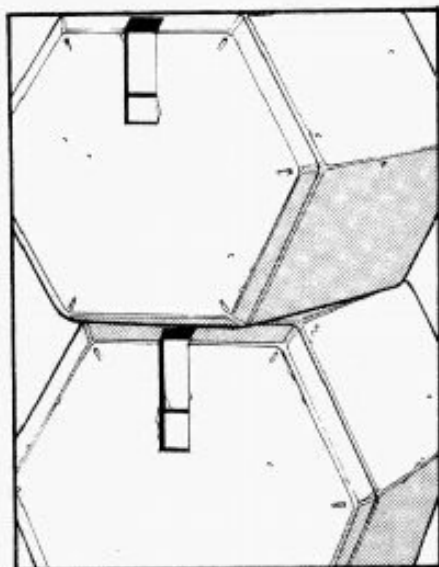
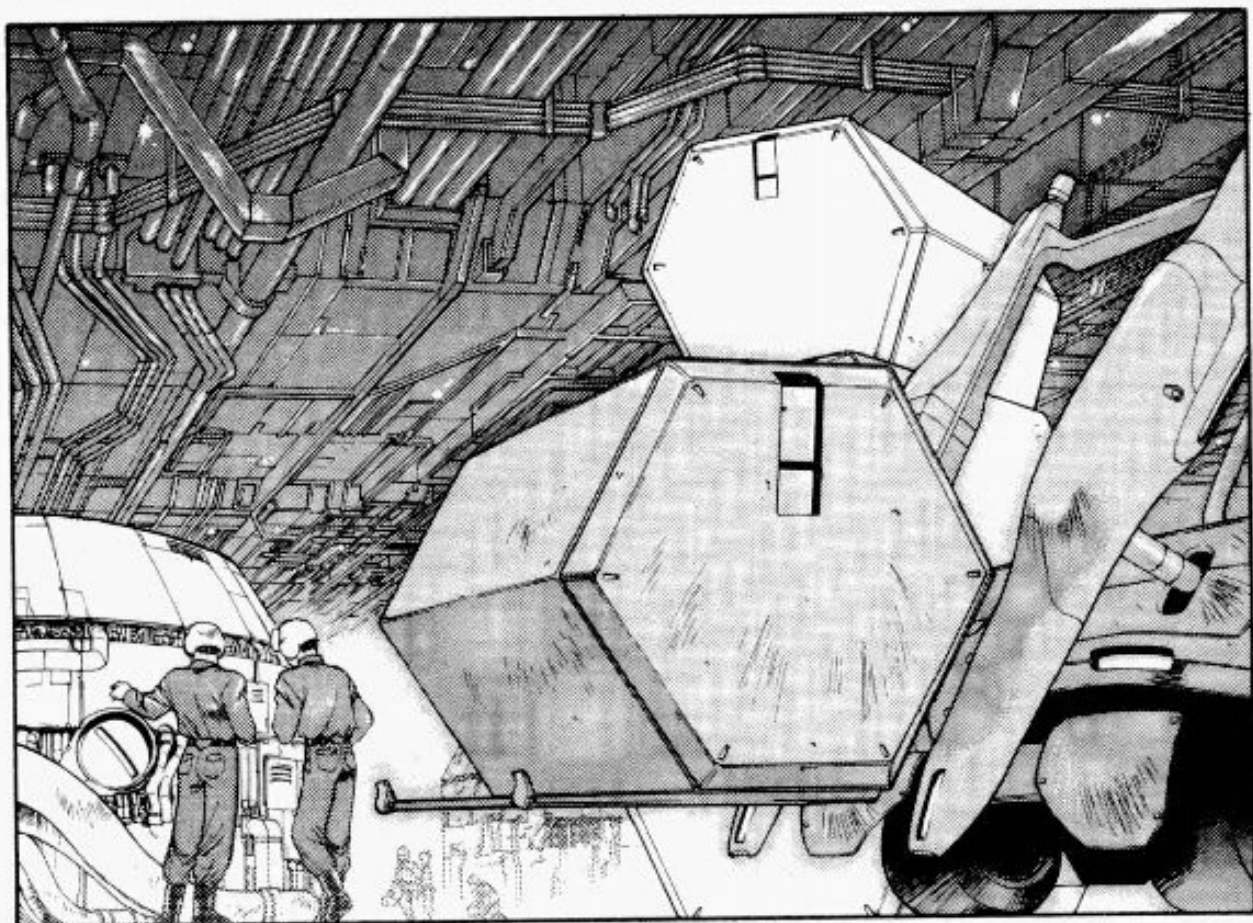


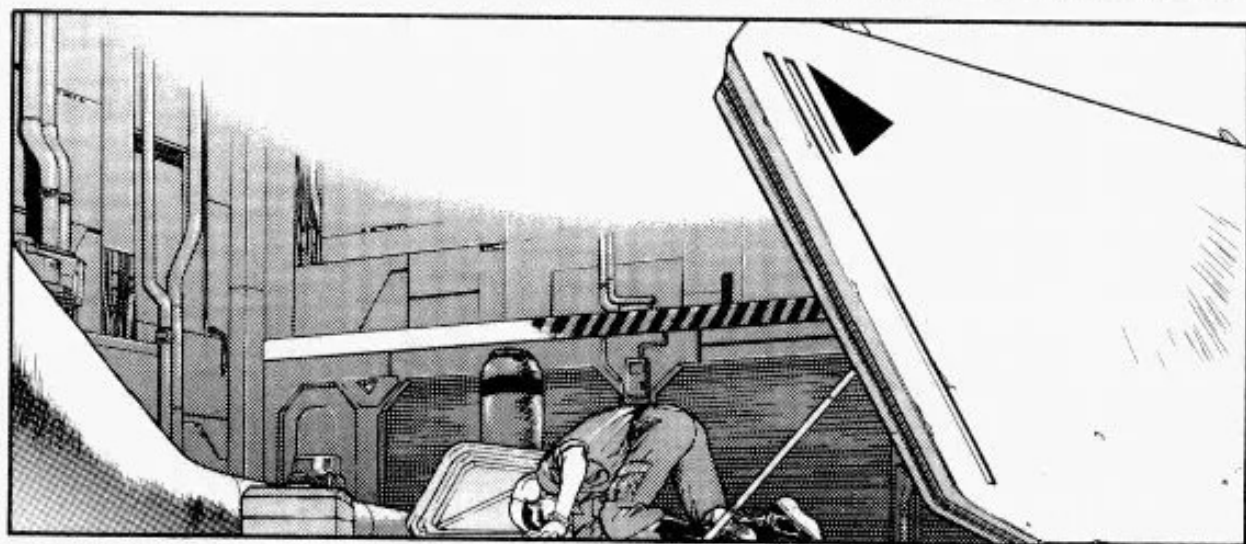
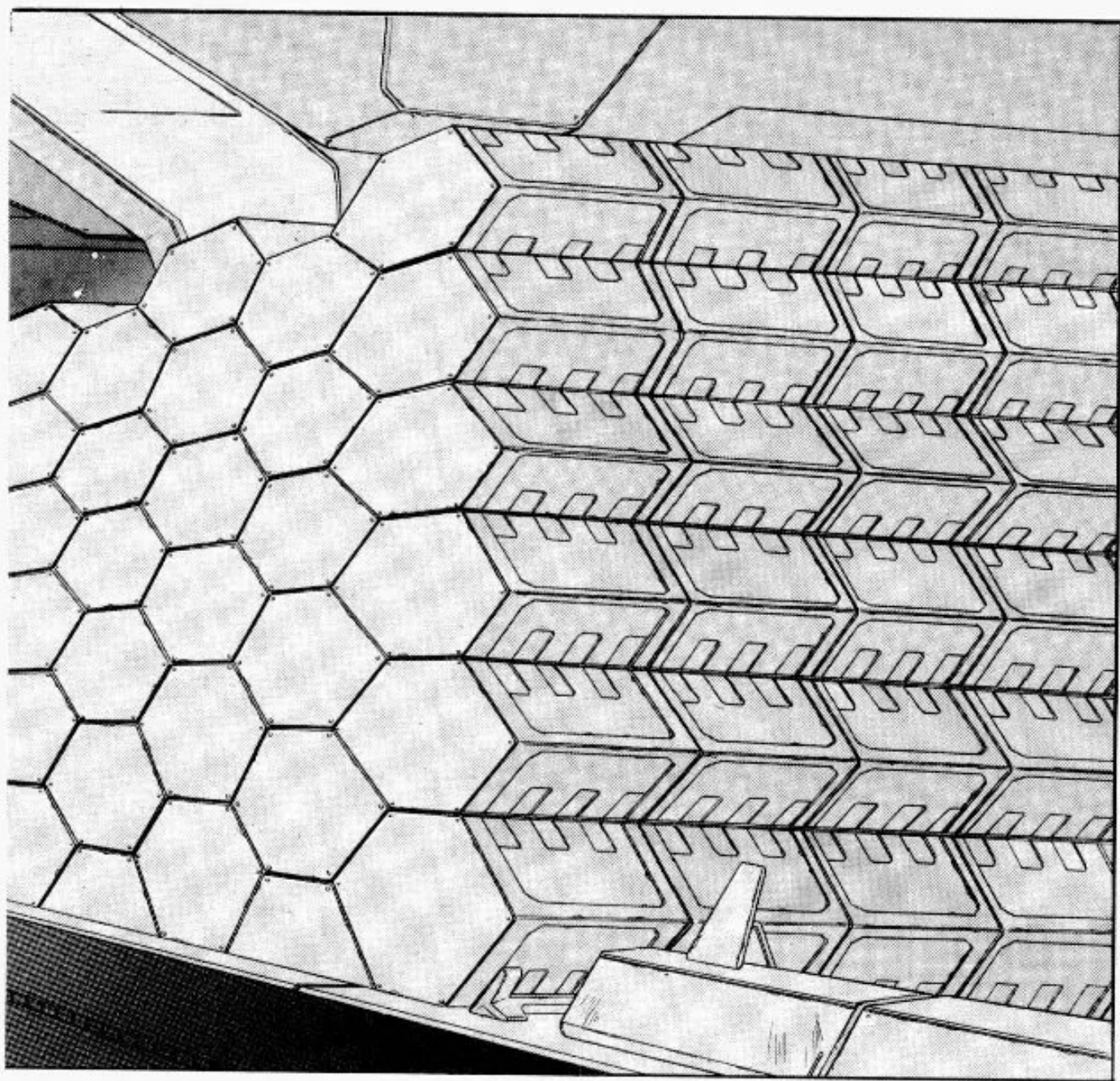


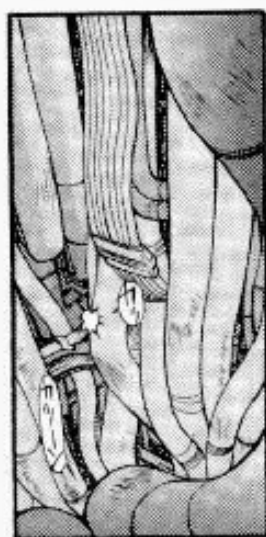
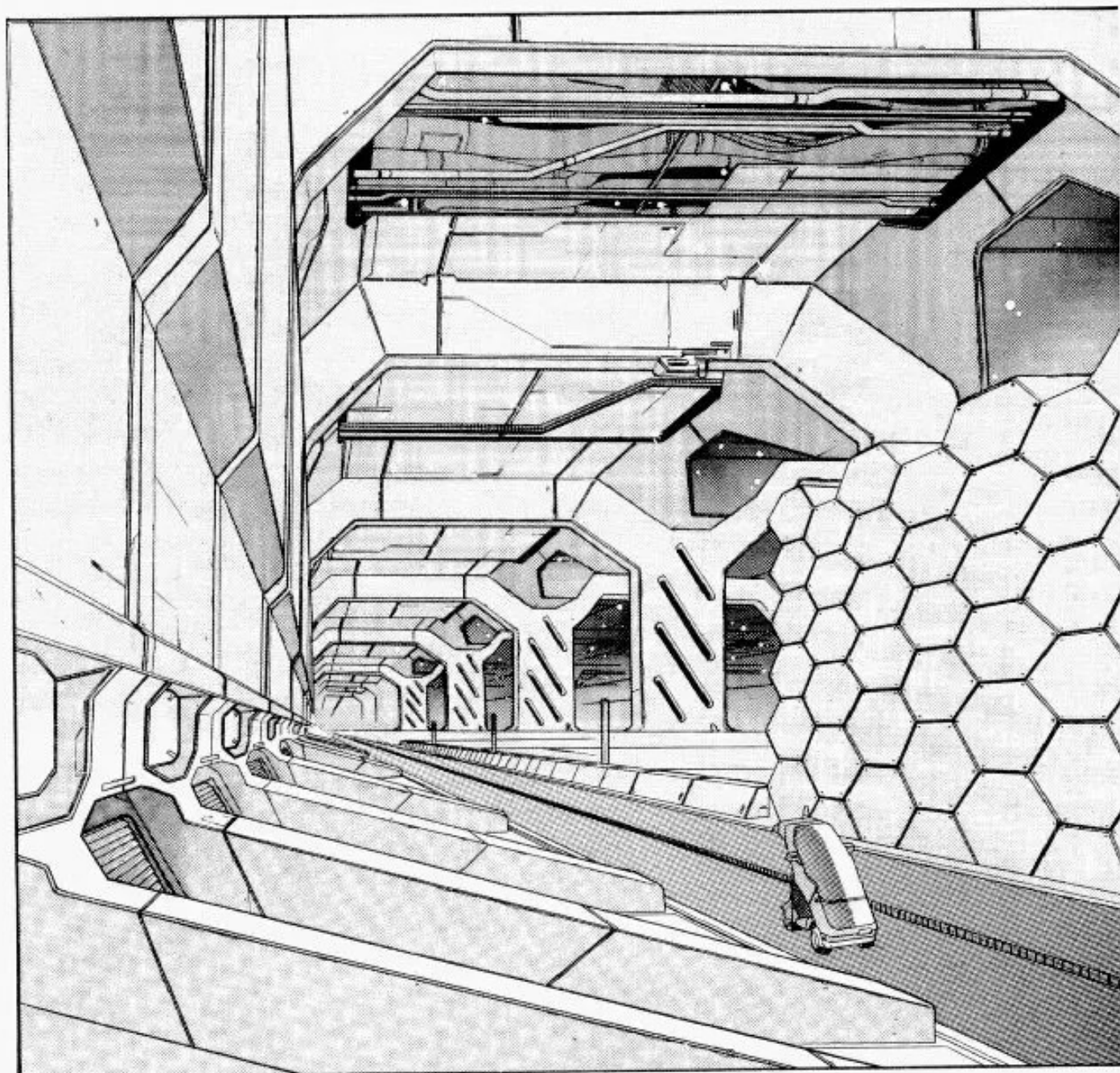


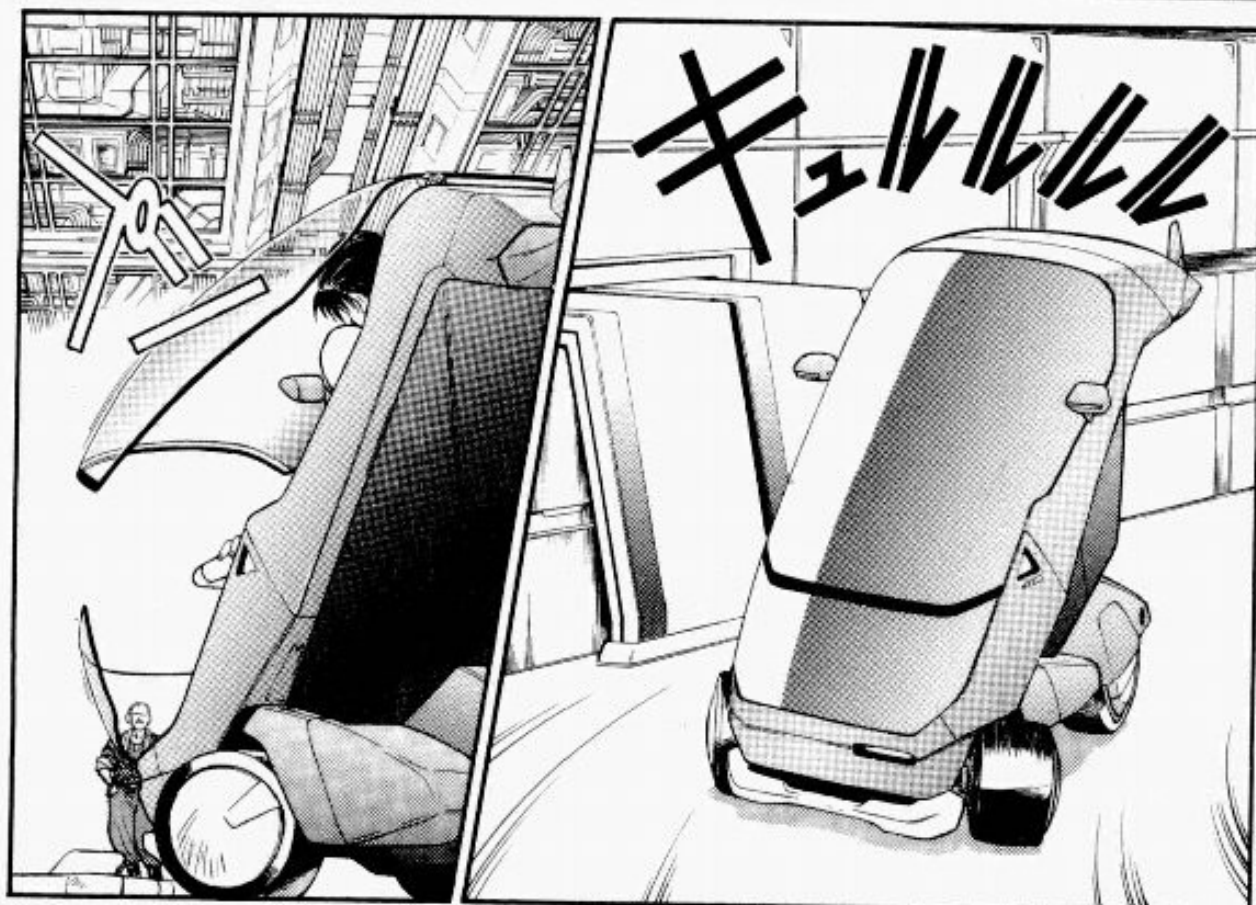




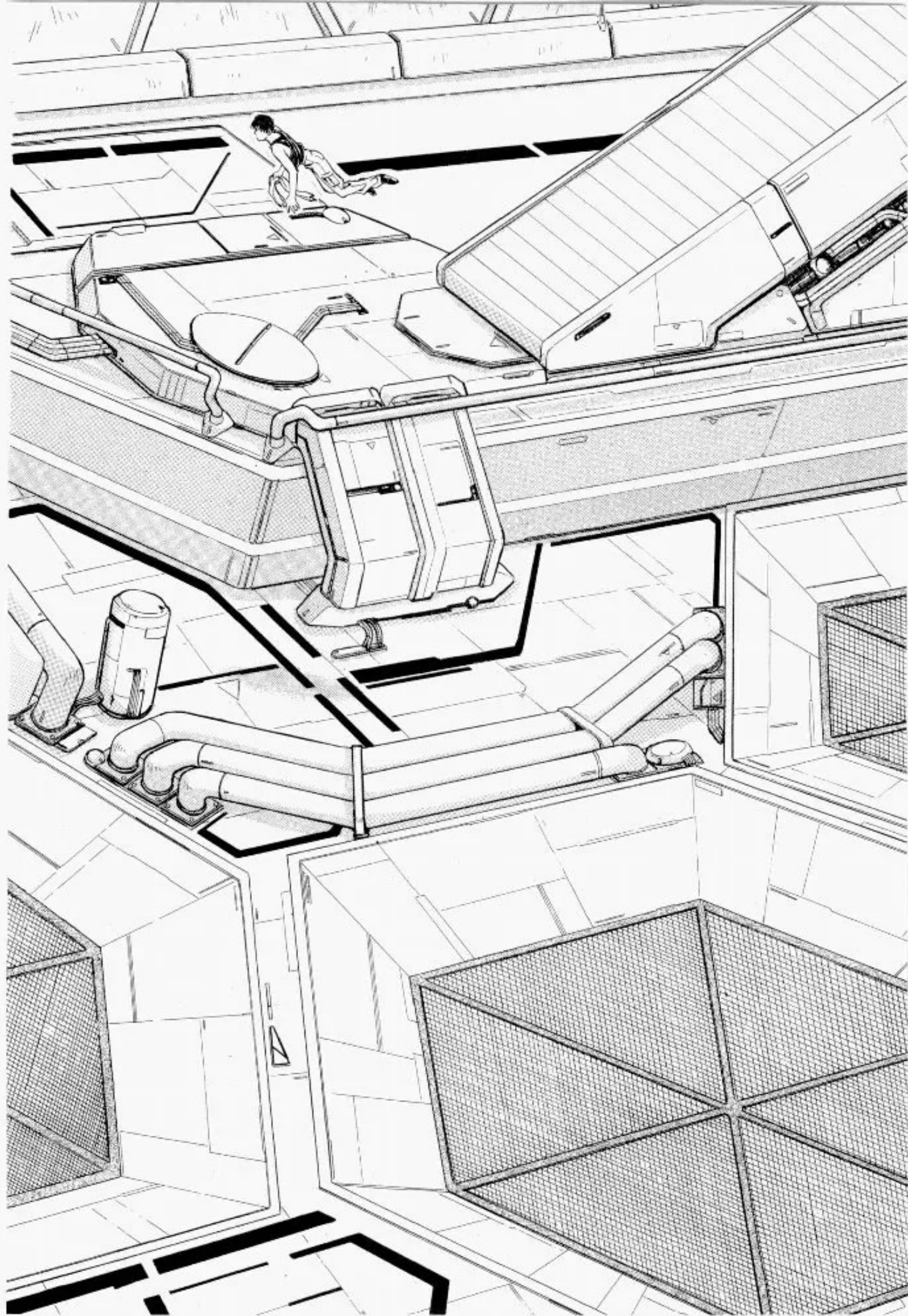


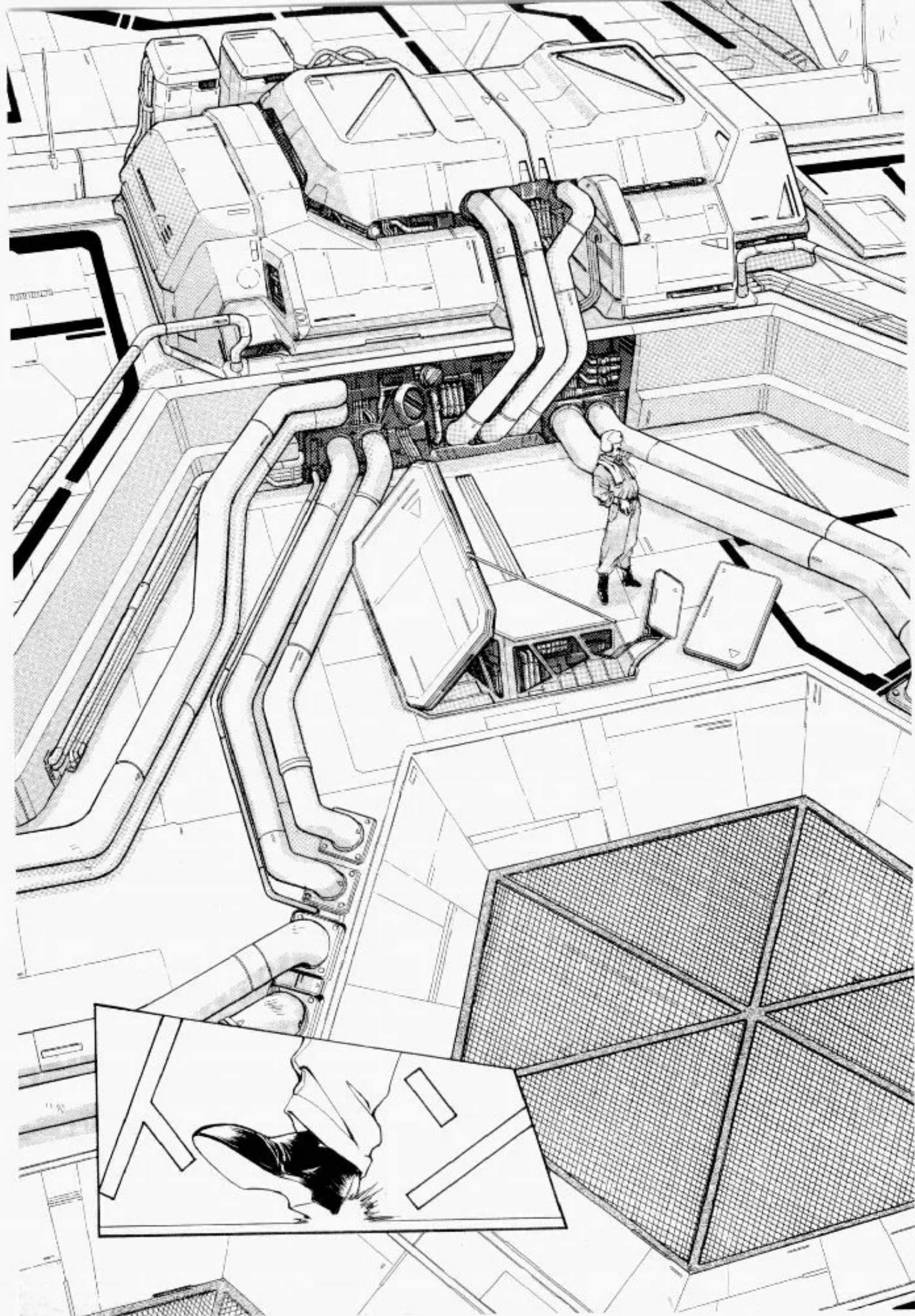














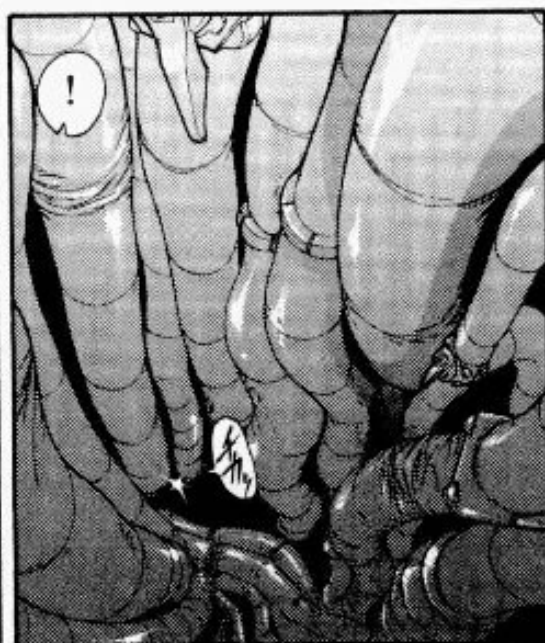
なんですか
親方



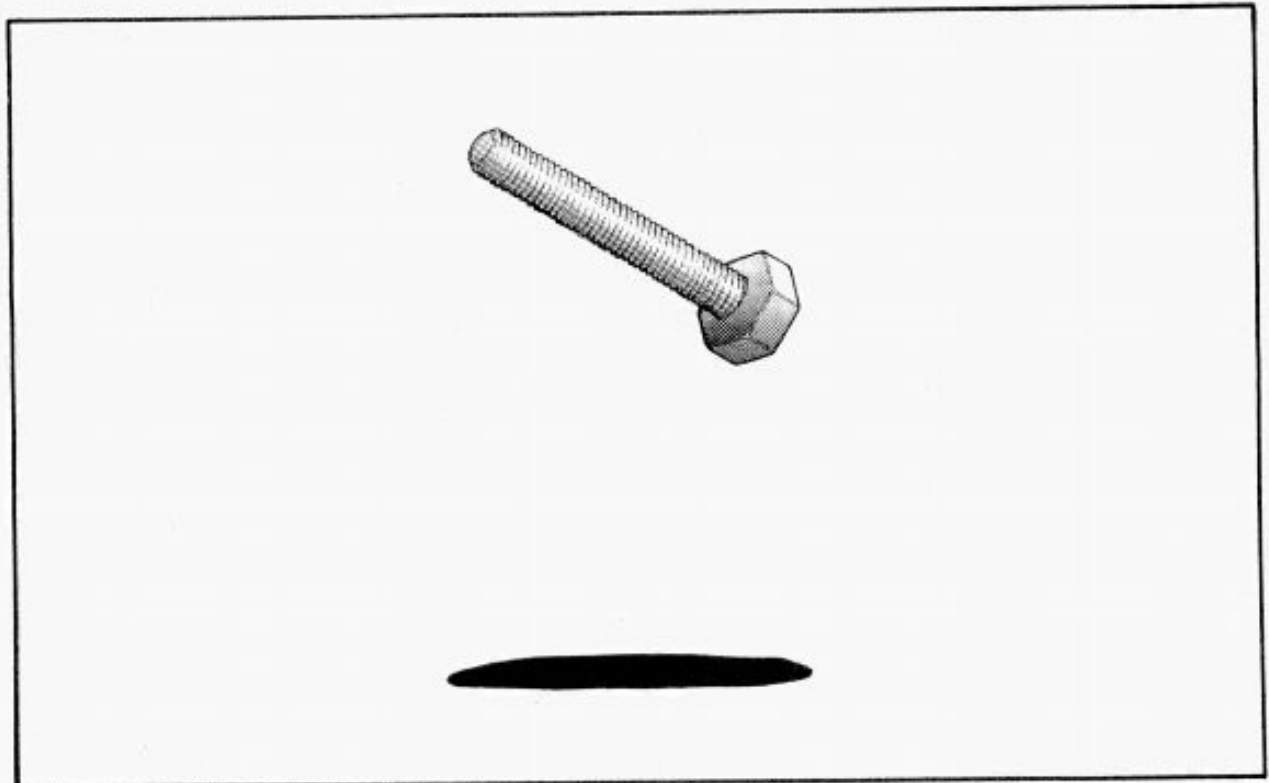
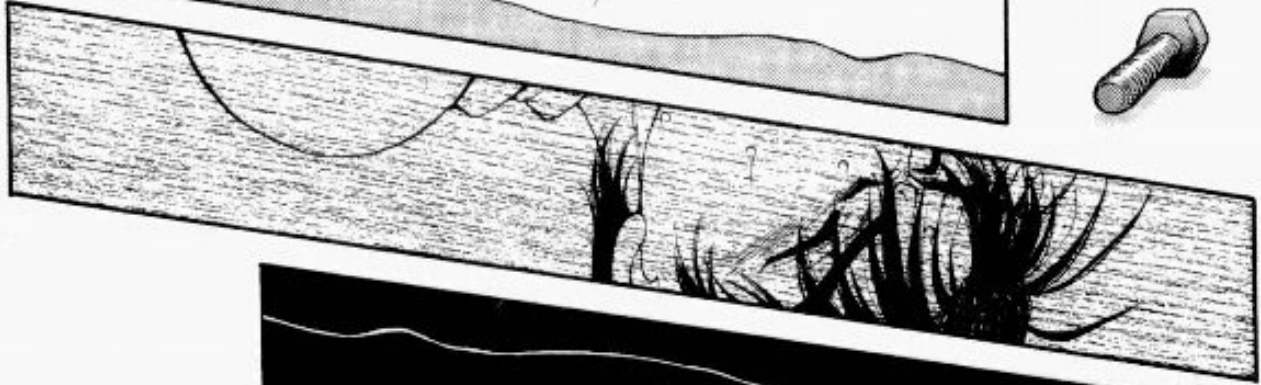
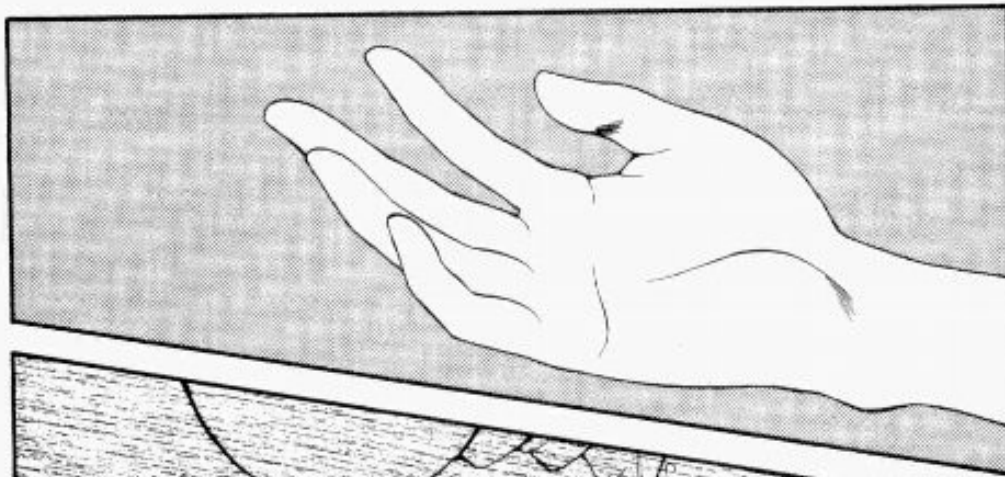
通気パイプに
接着用の
ボルトを
落として
まった

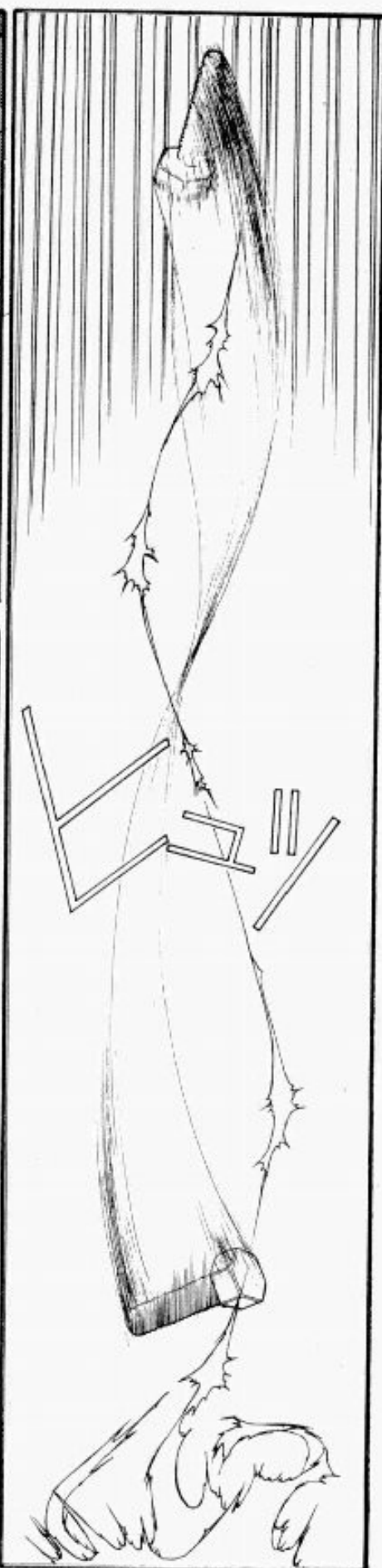
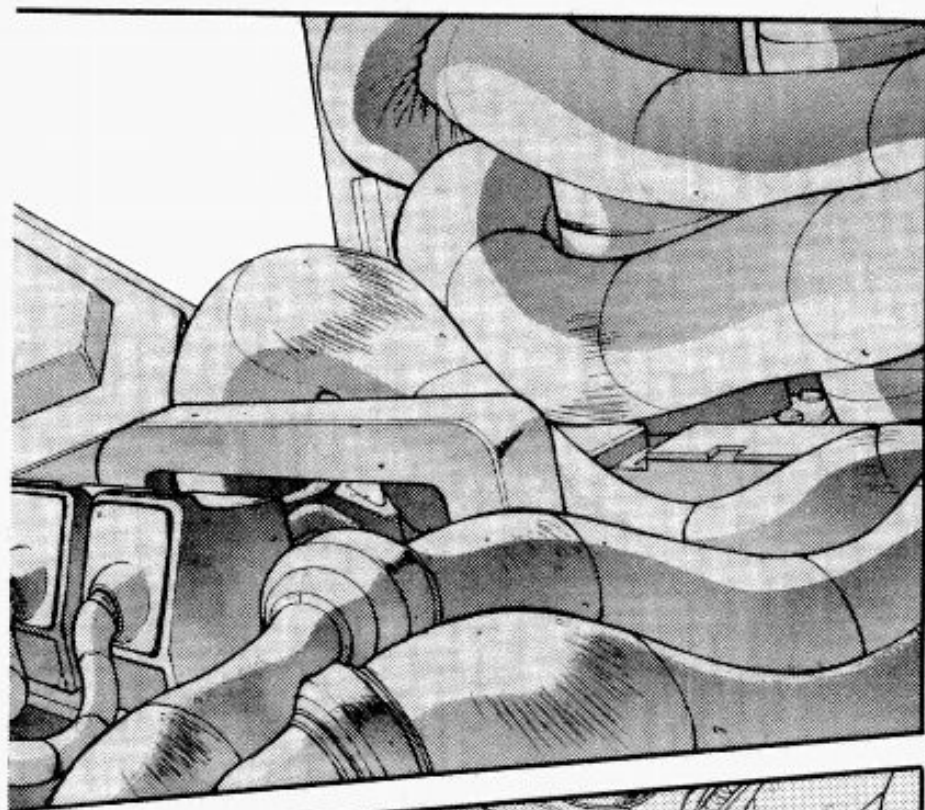
ちょっと
見えてくれ

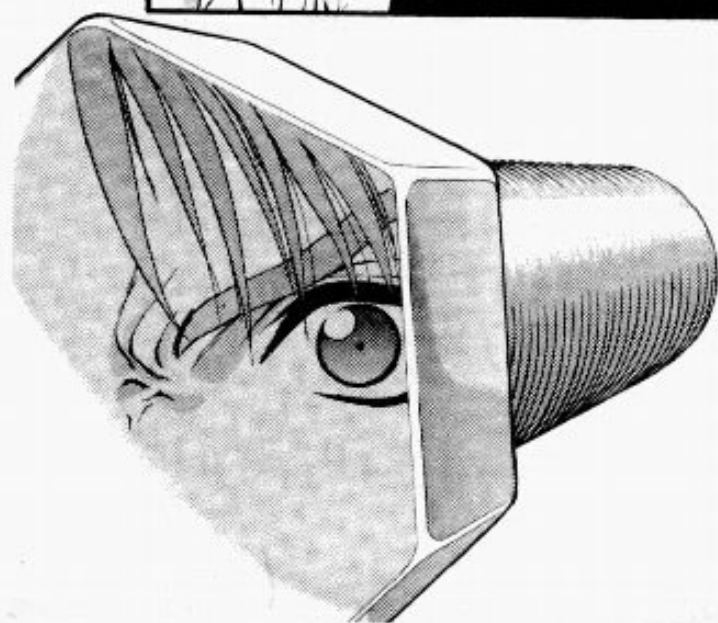


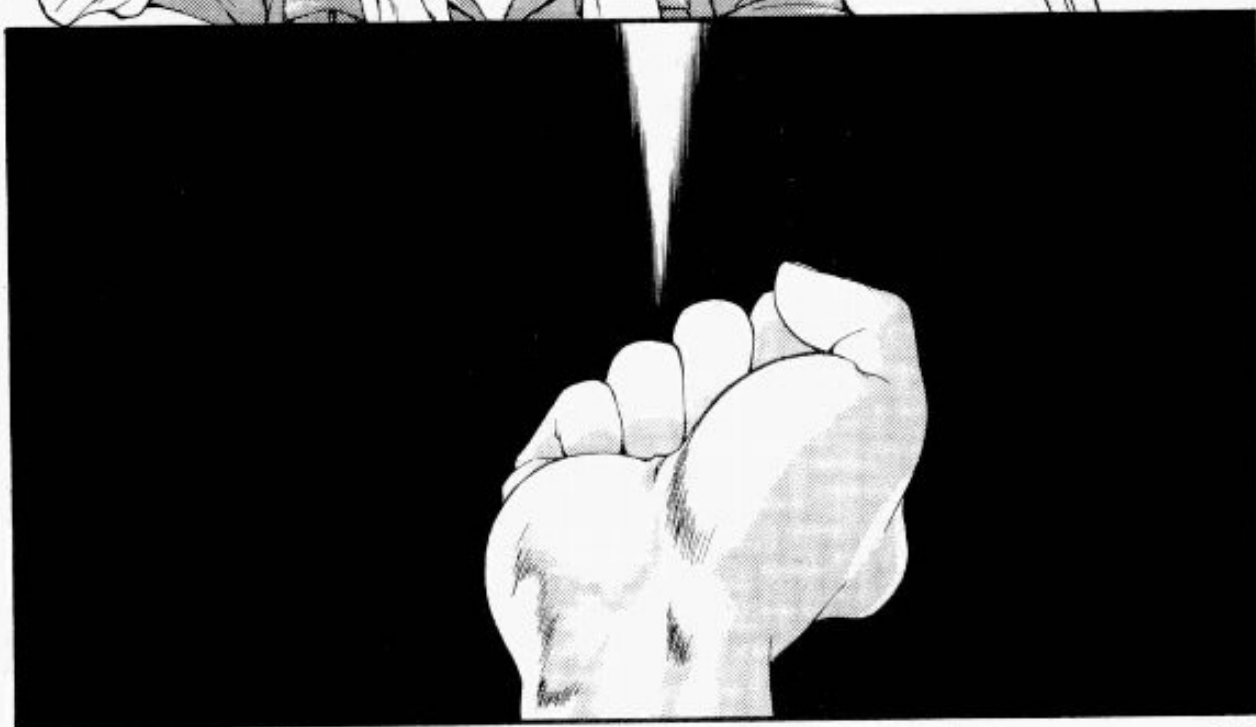
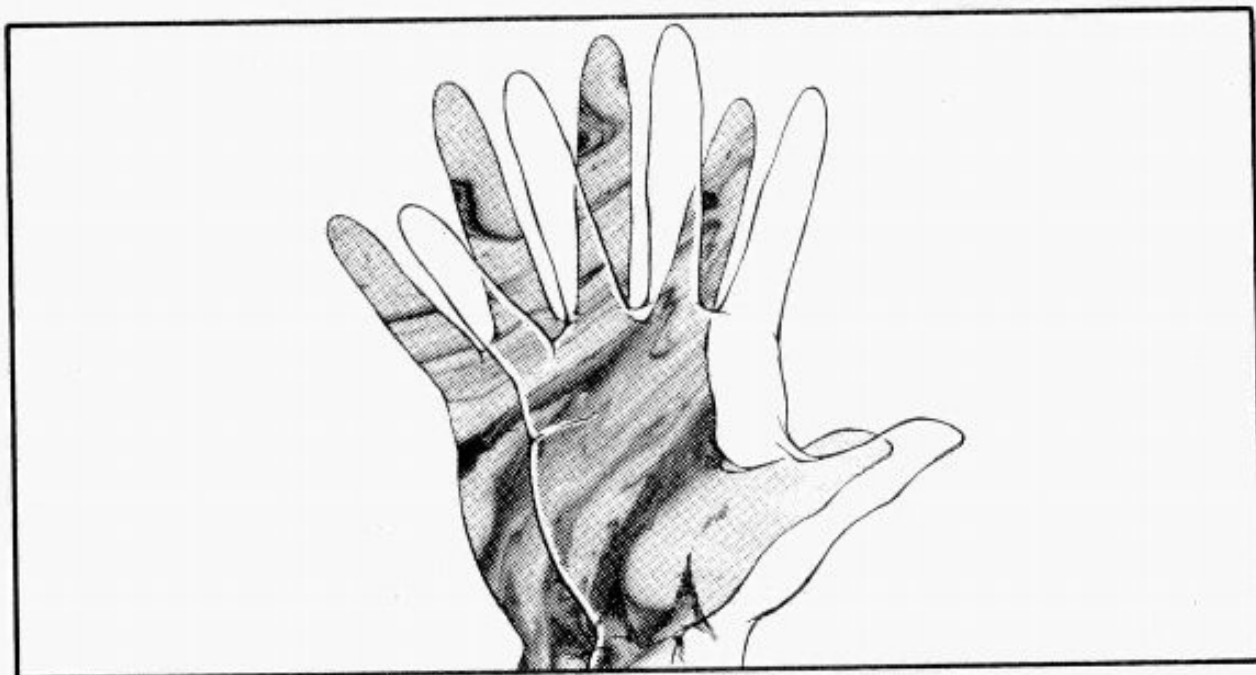


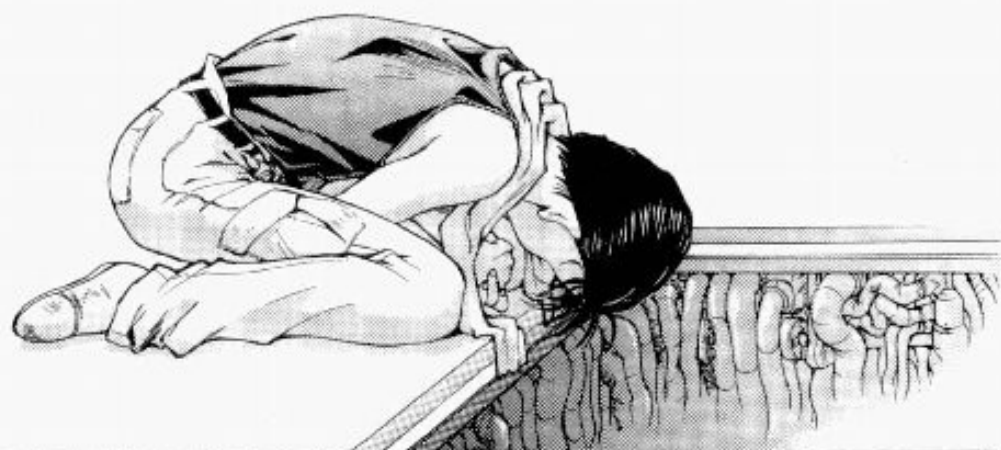




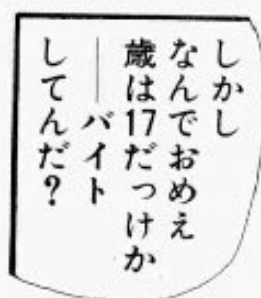
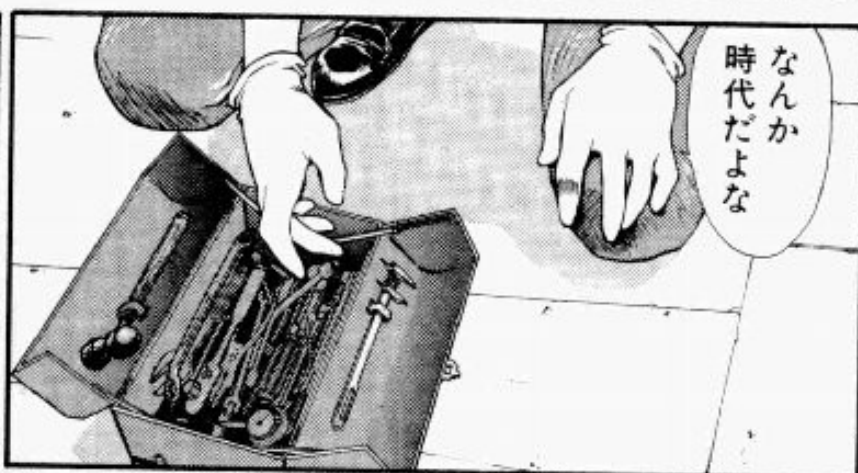
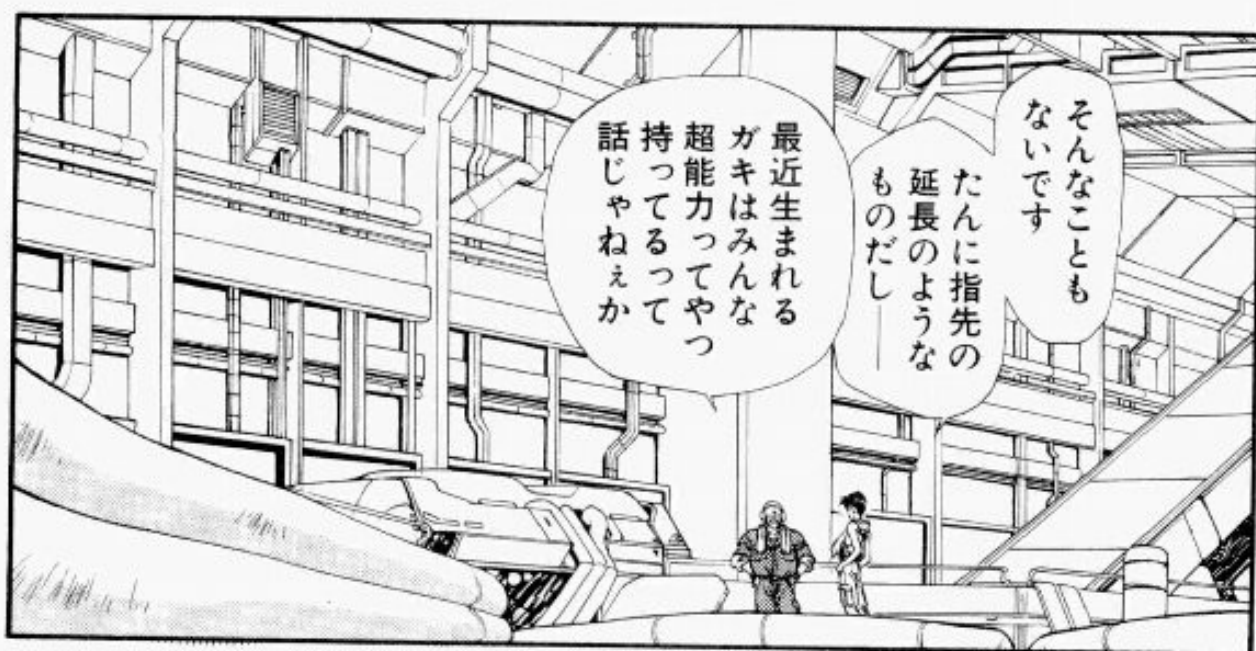


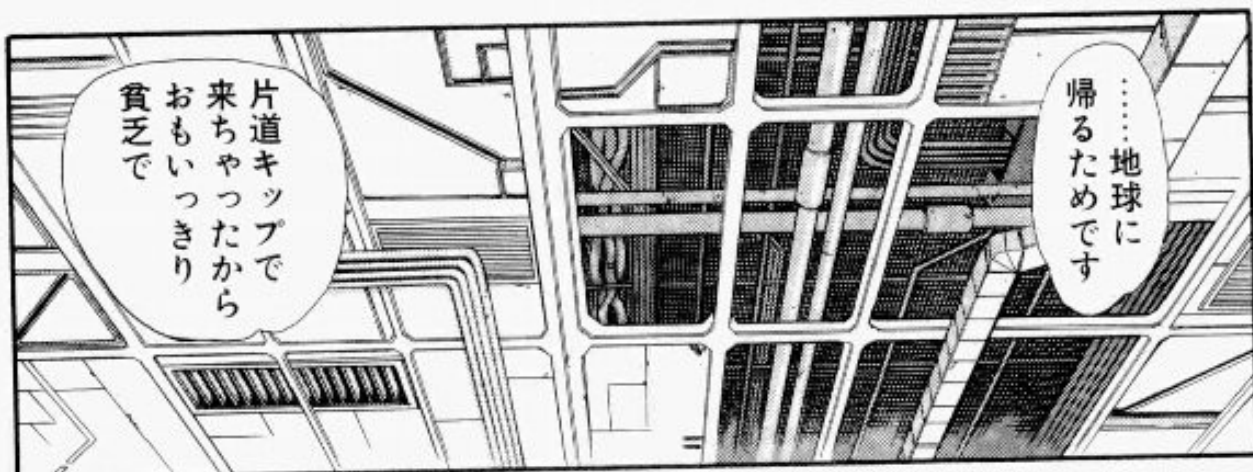


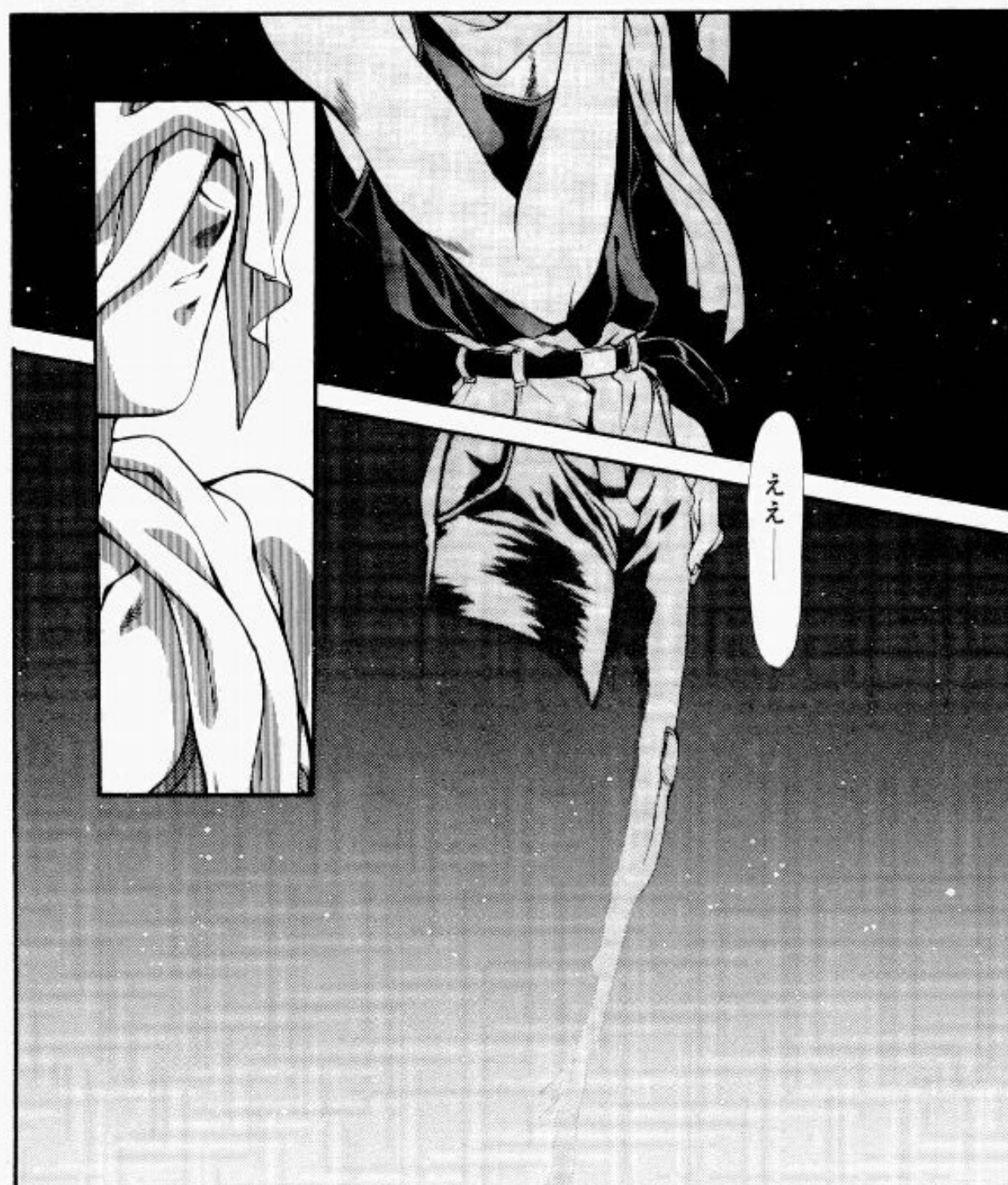


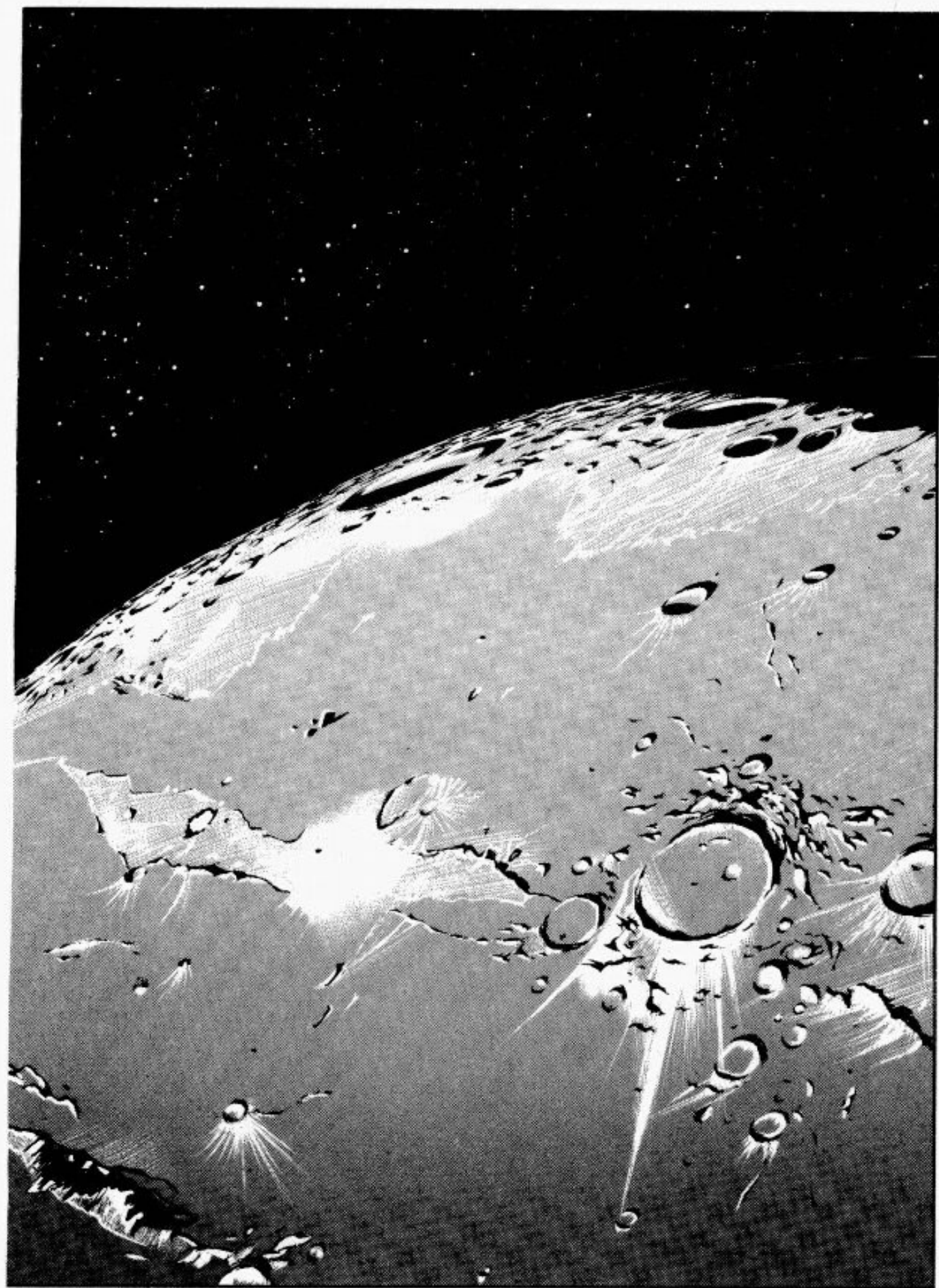


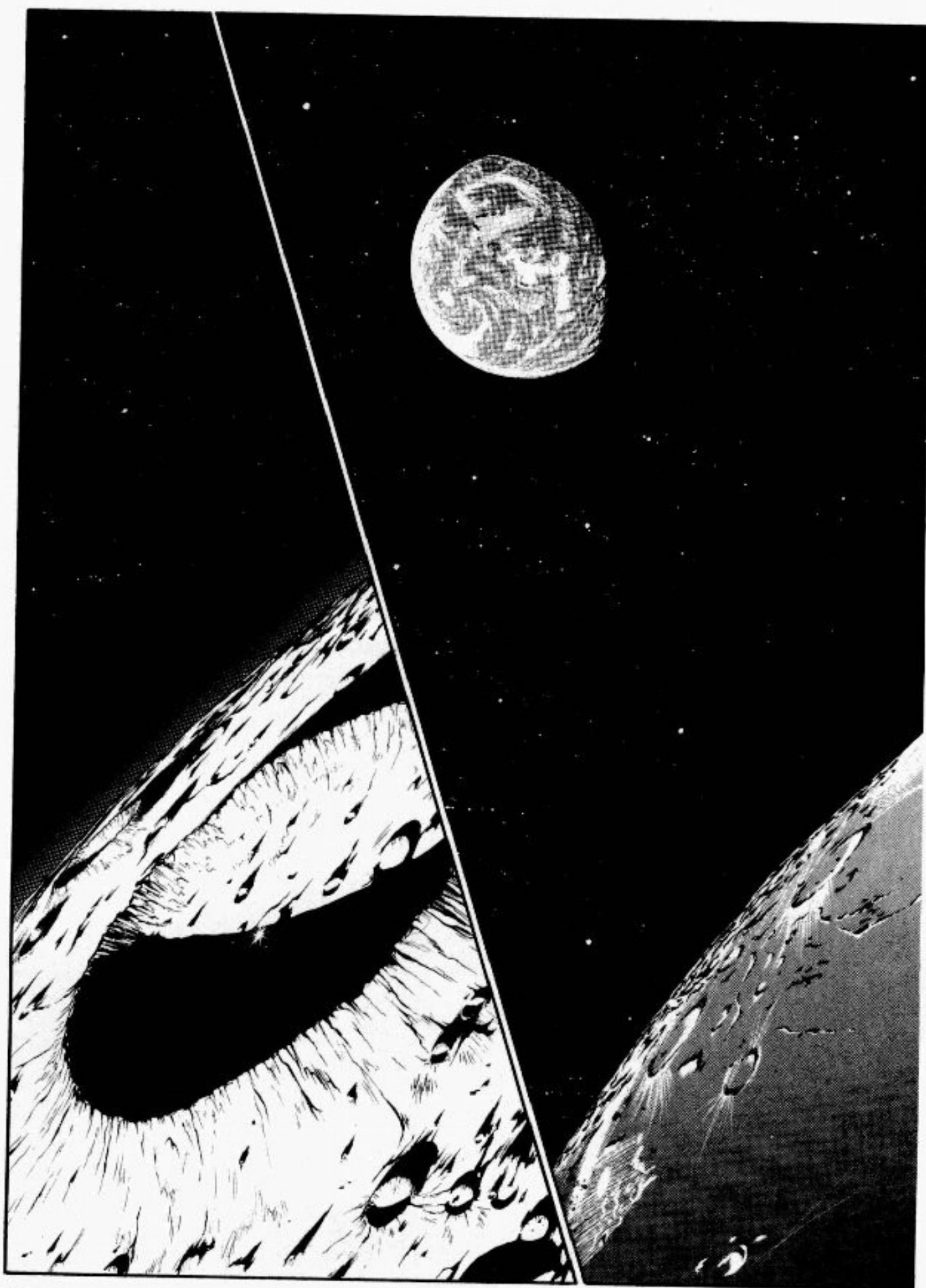


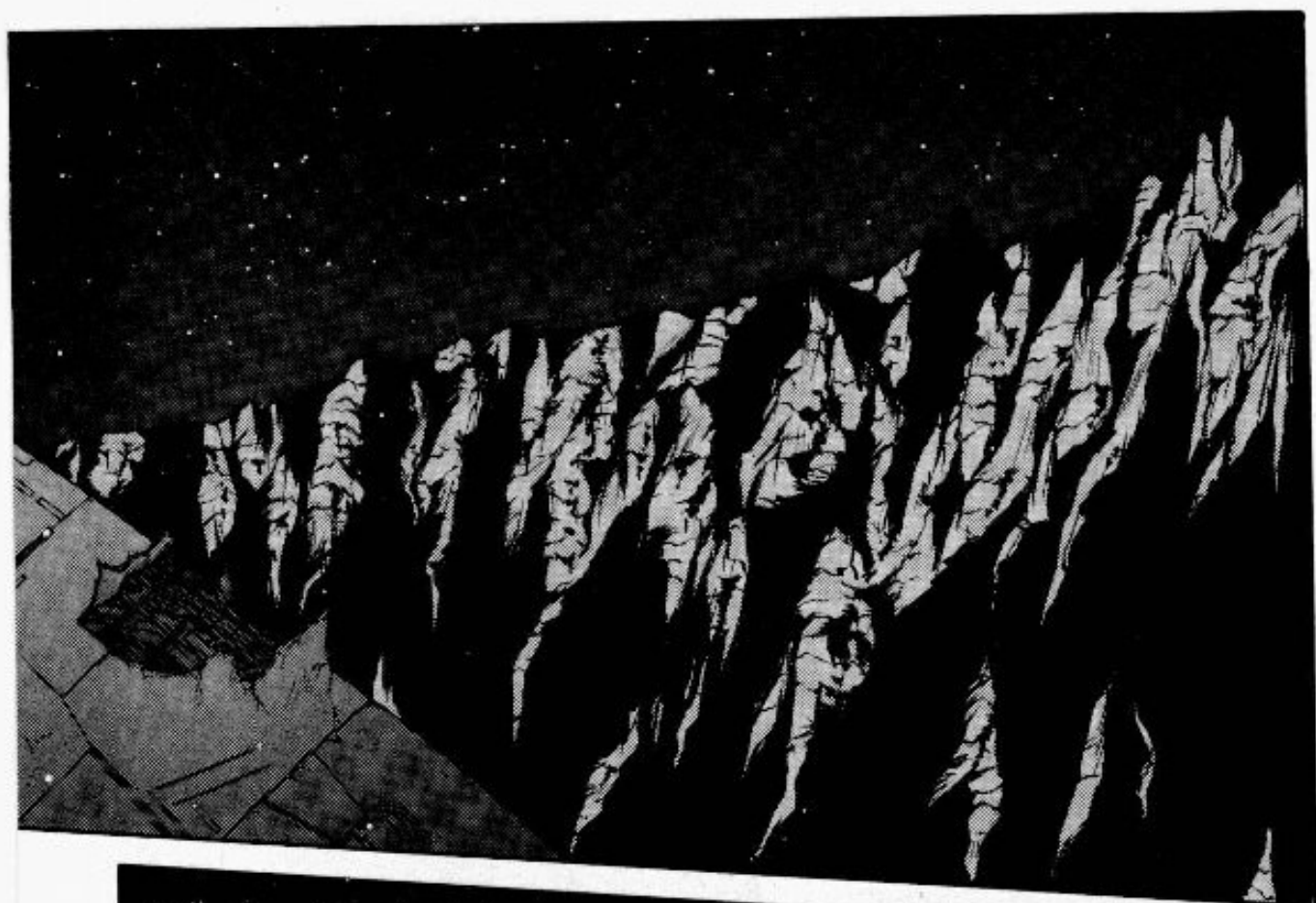


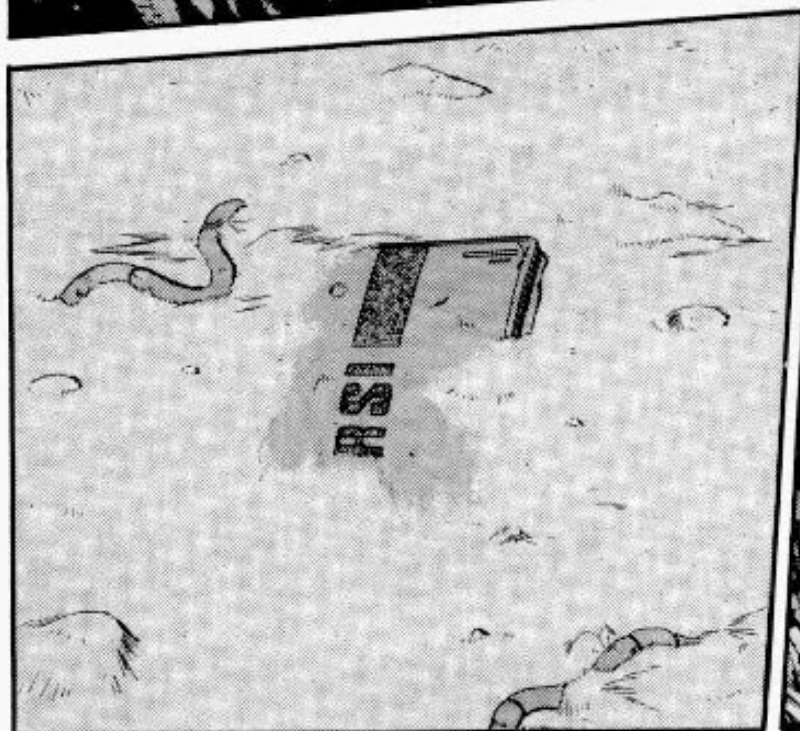


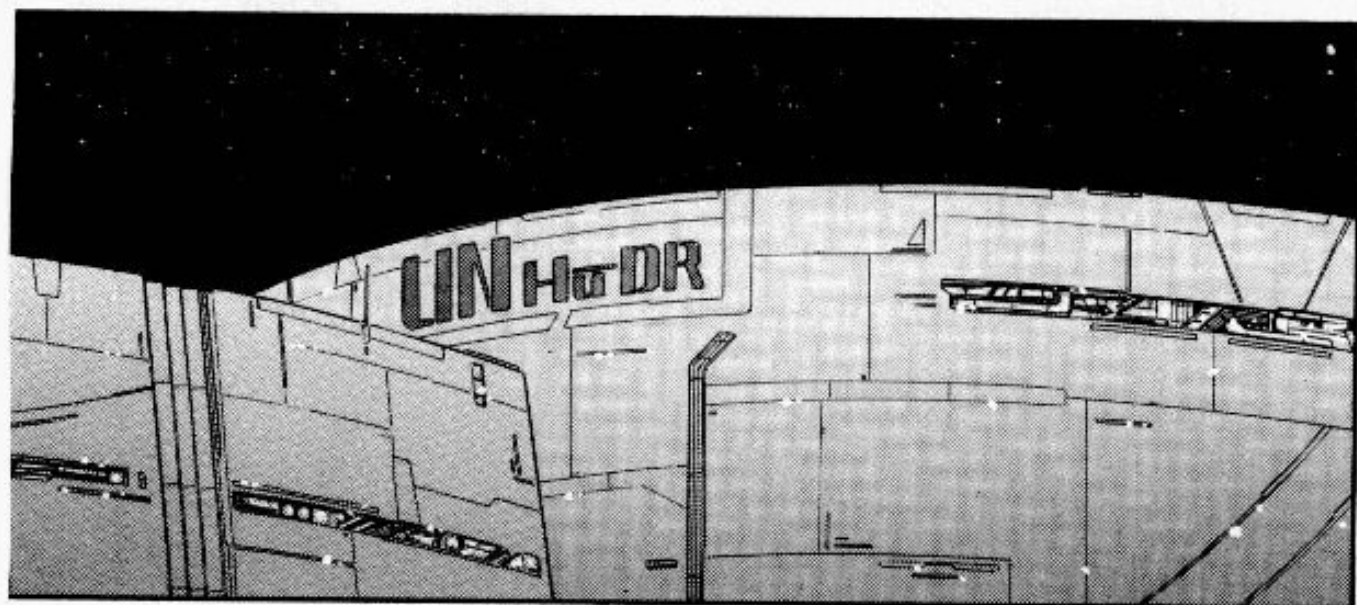
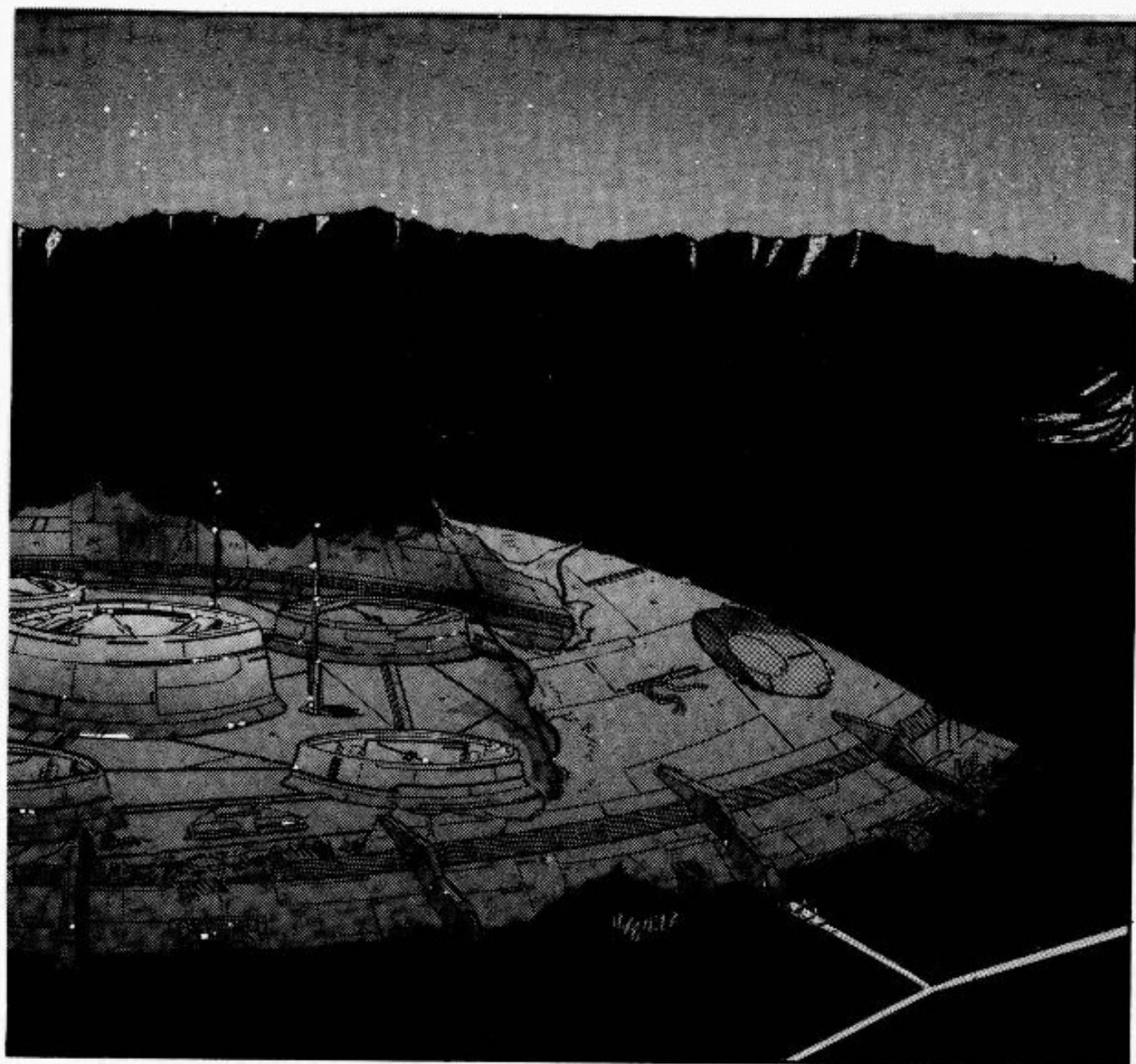


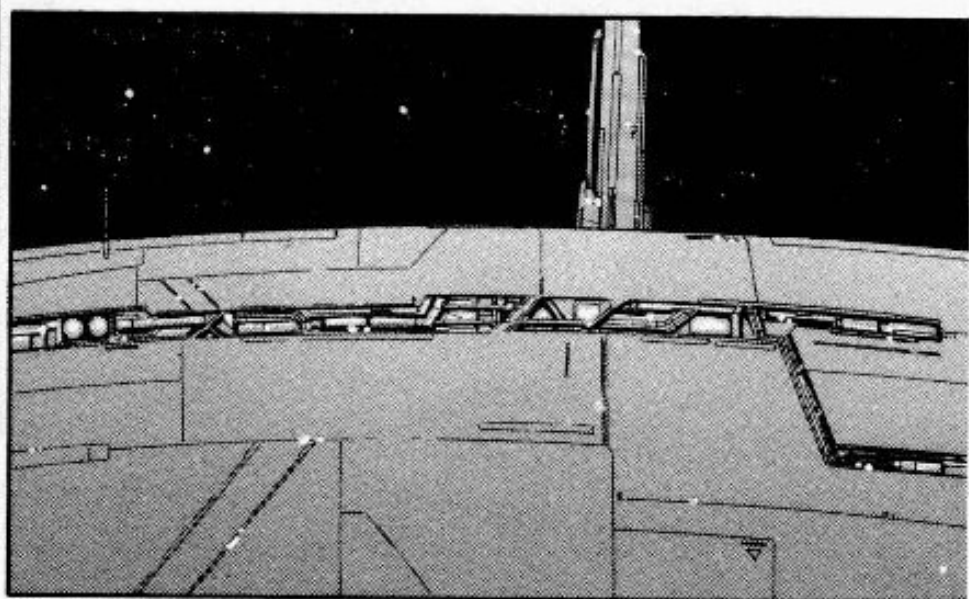
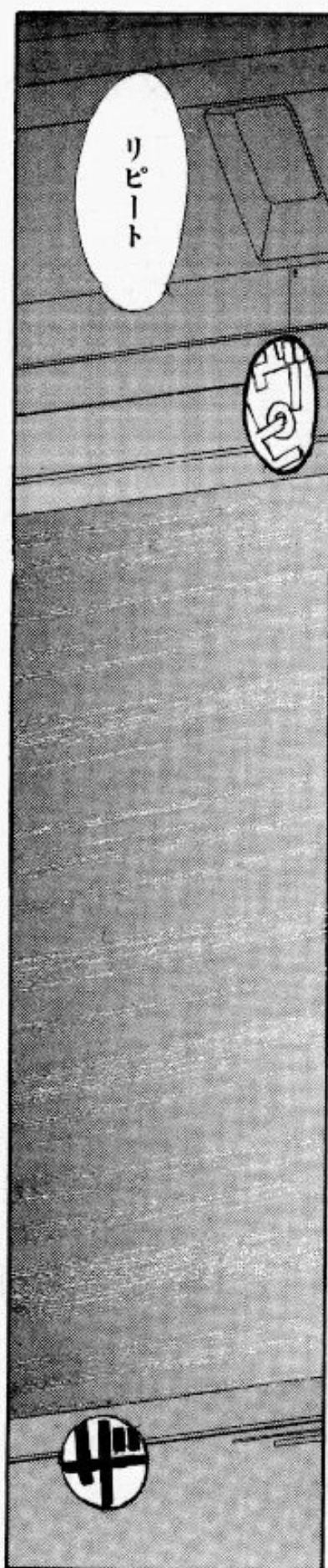


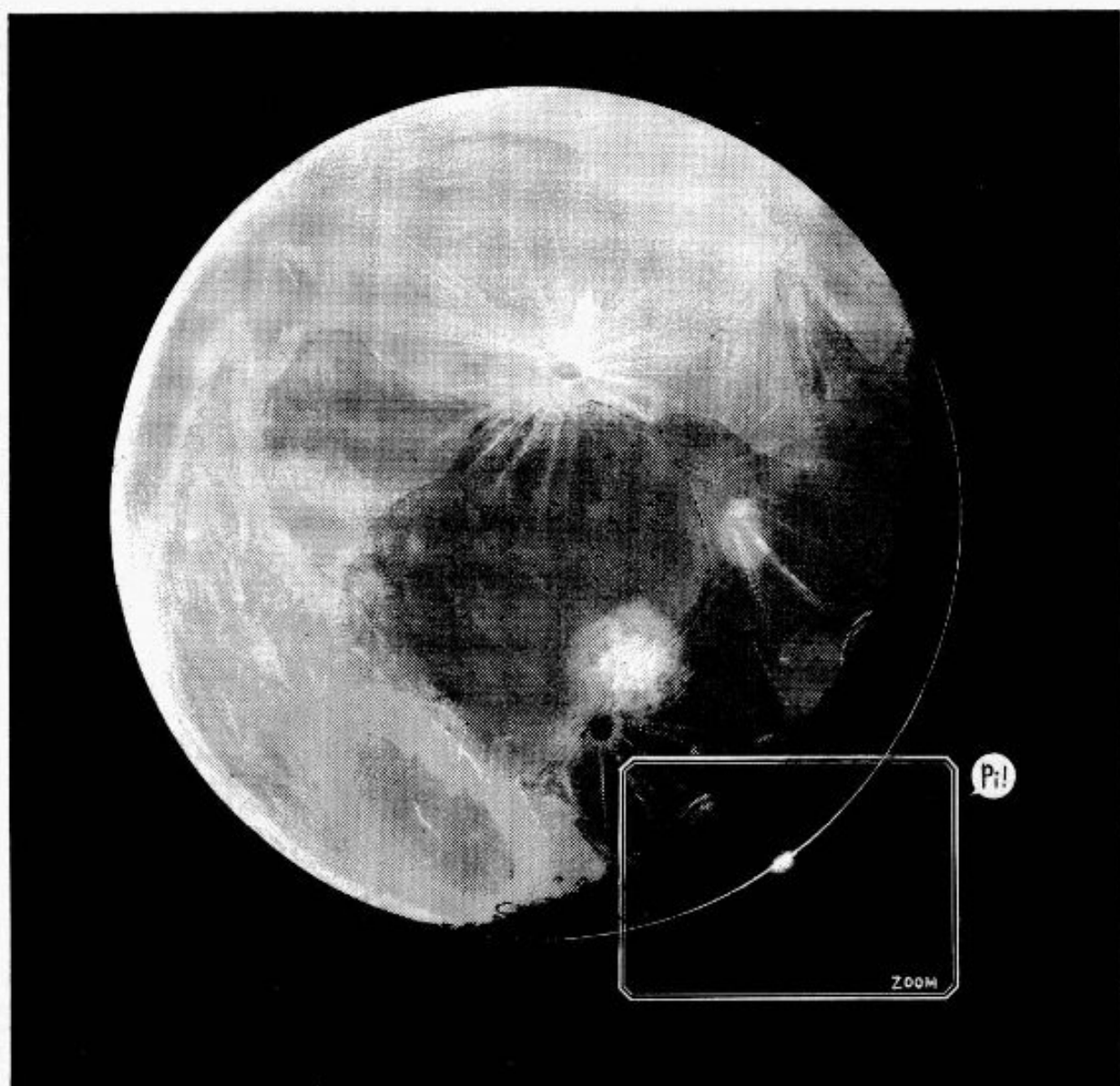


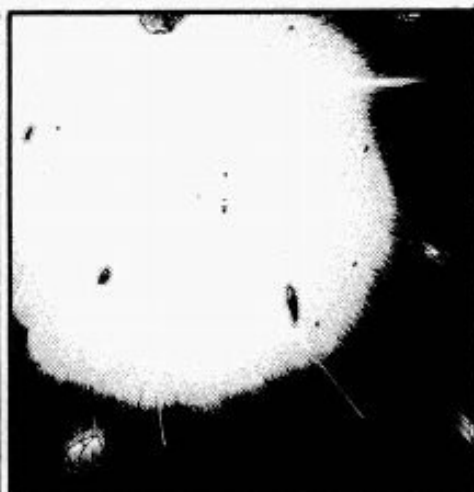
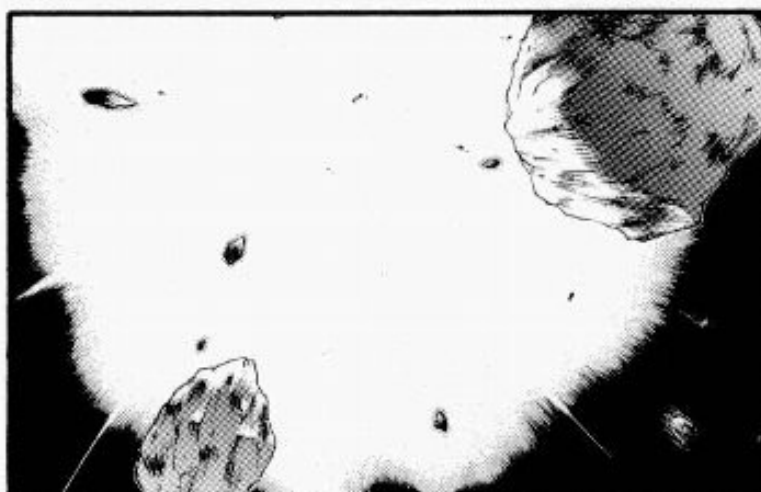
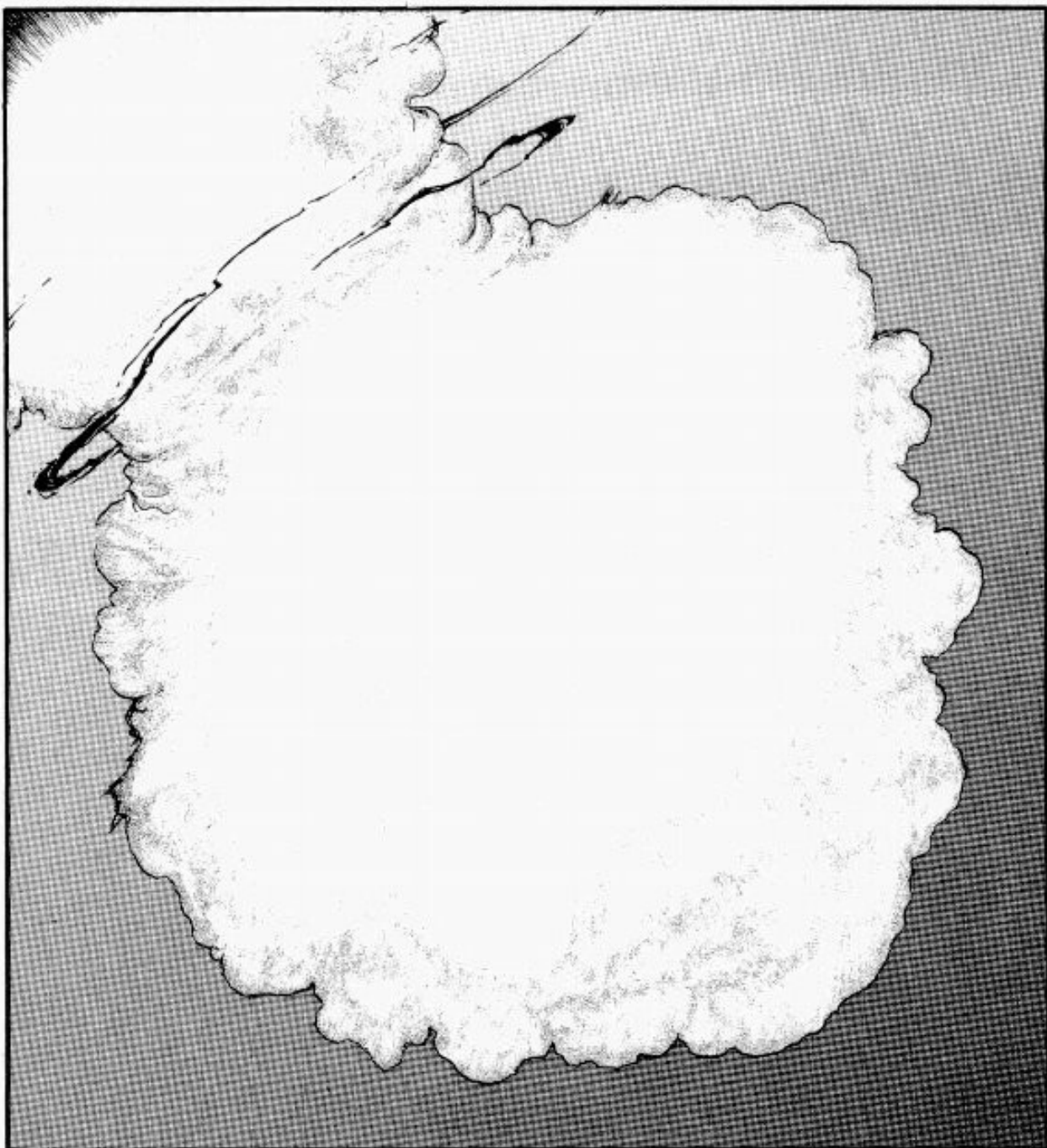


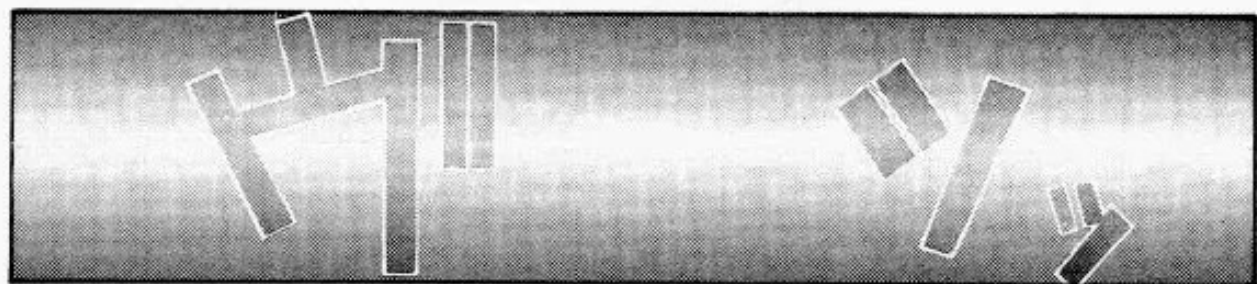




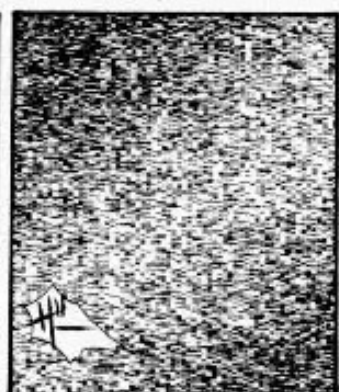








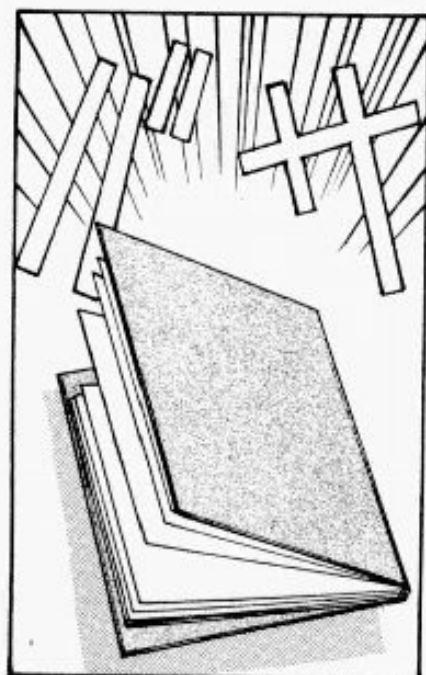
リピート



あら



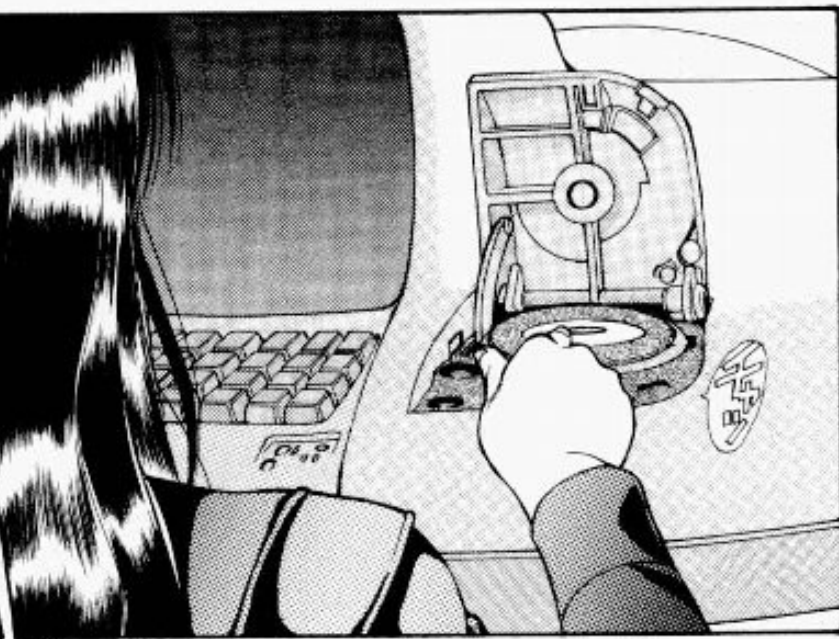
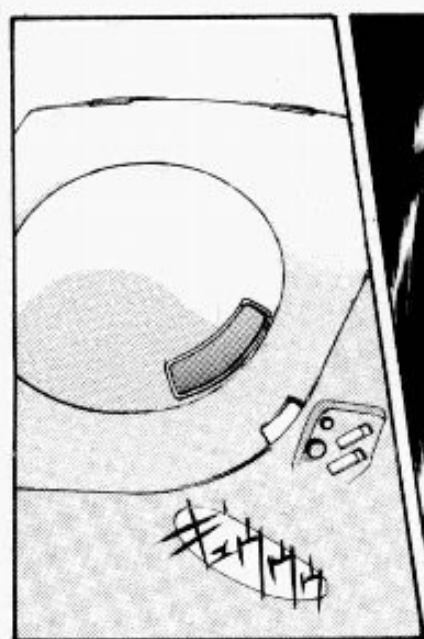
またあの
事故の資料？



ずいぶんと
ご執心なこと

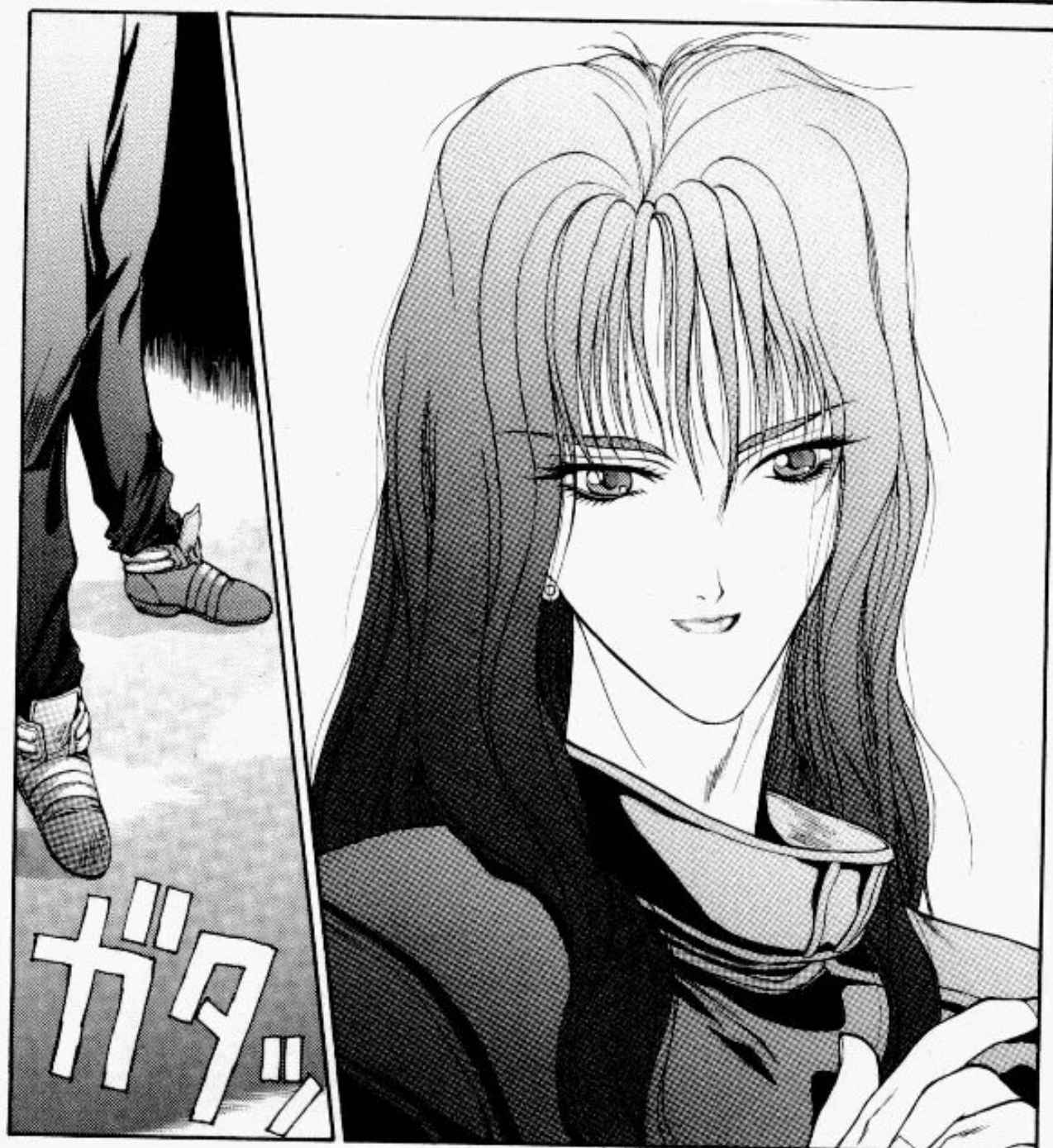


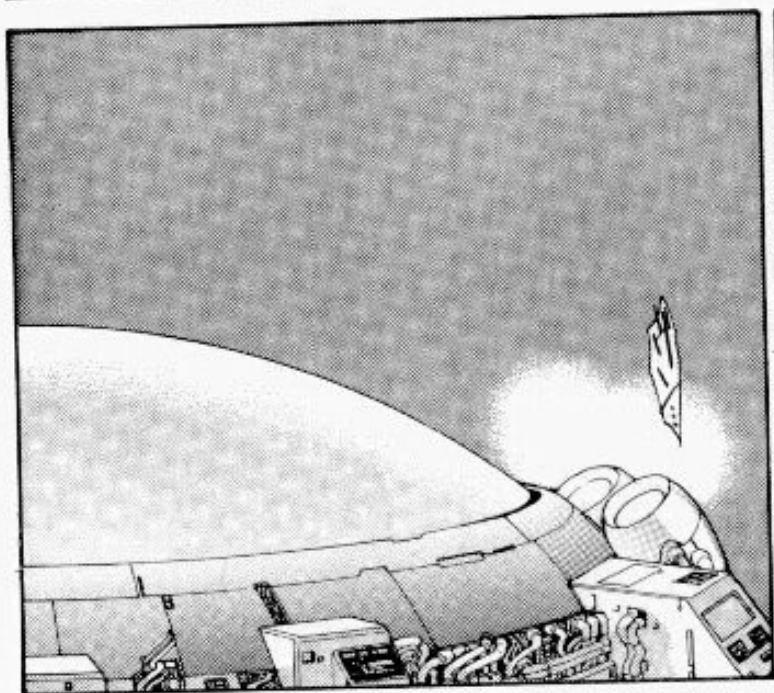
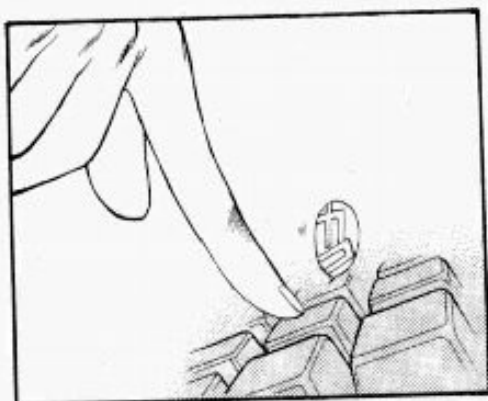


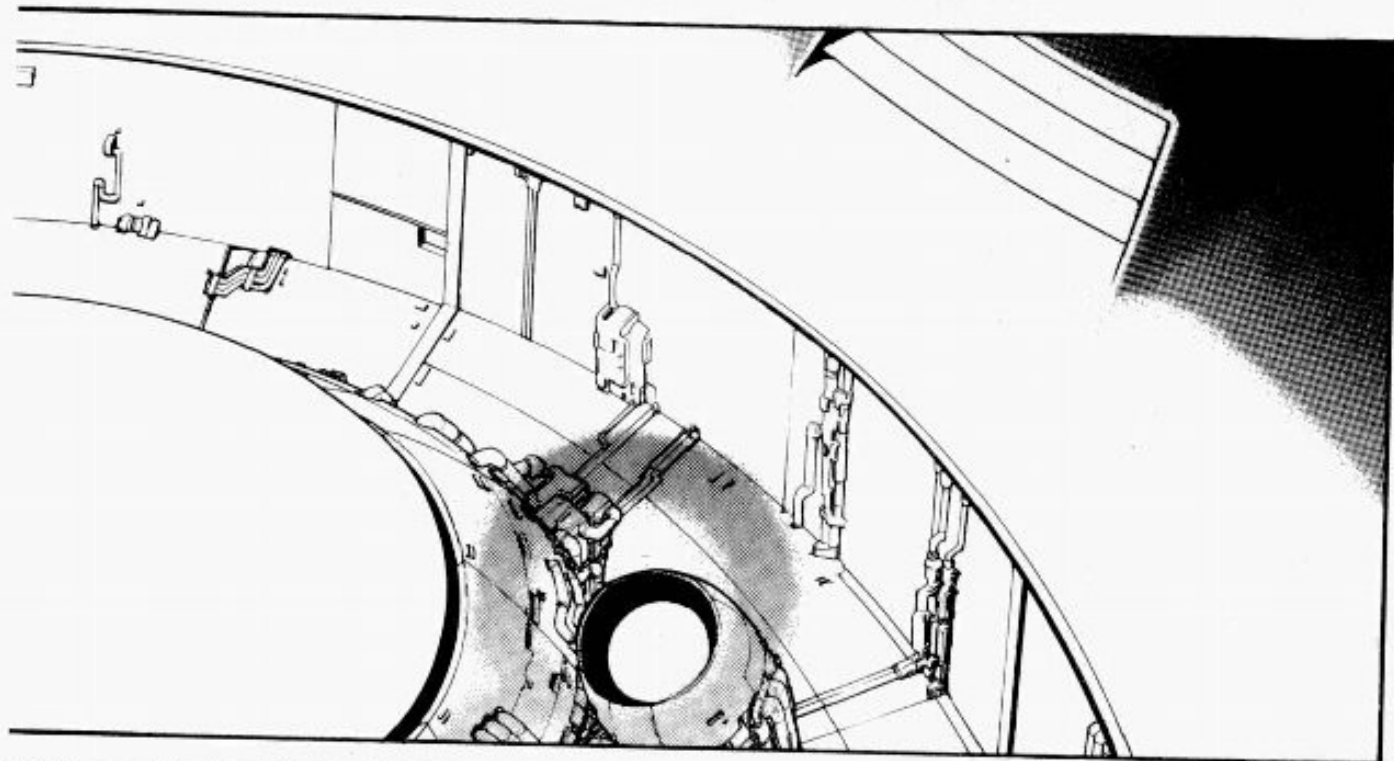


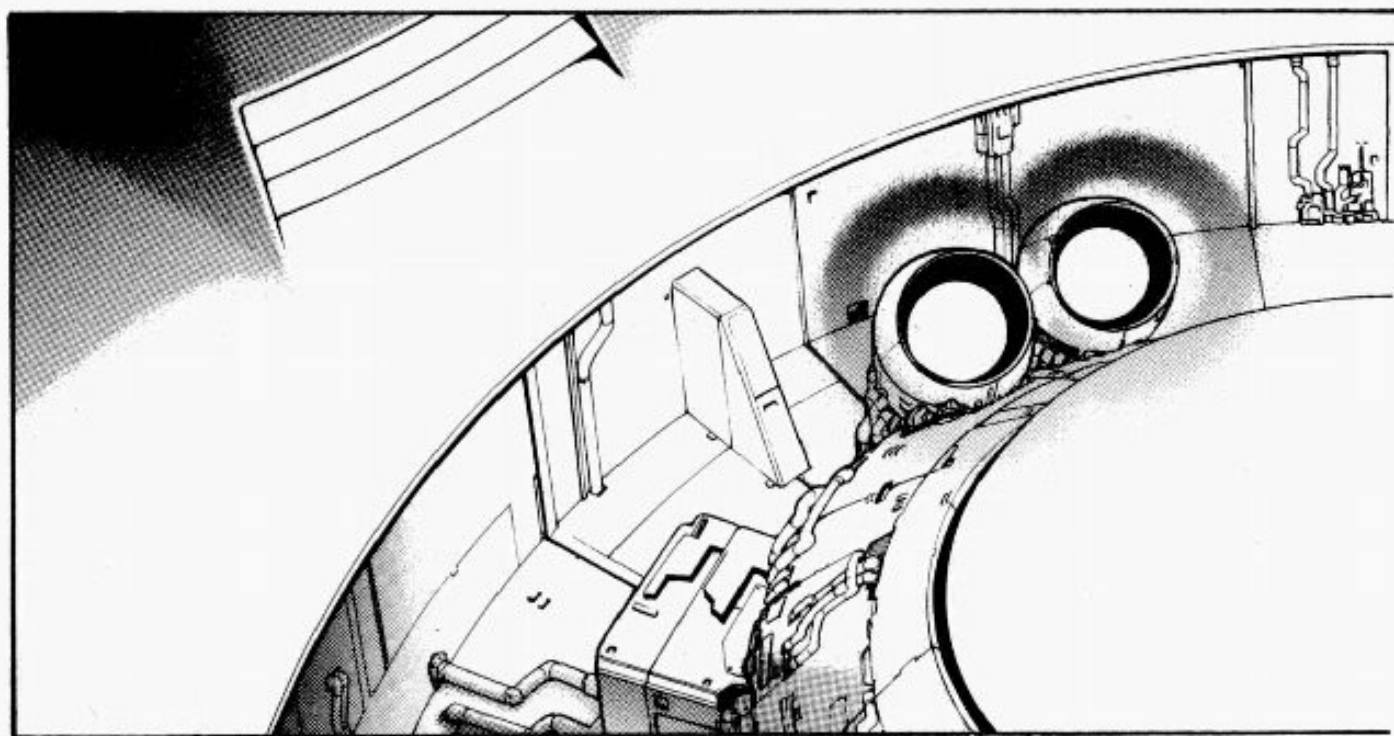
フアーン





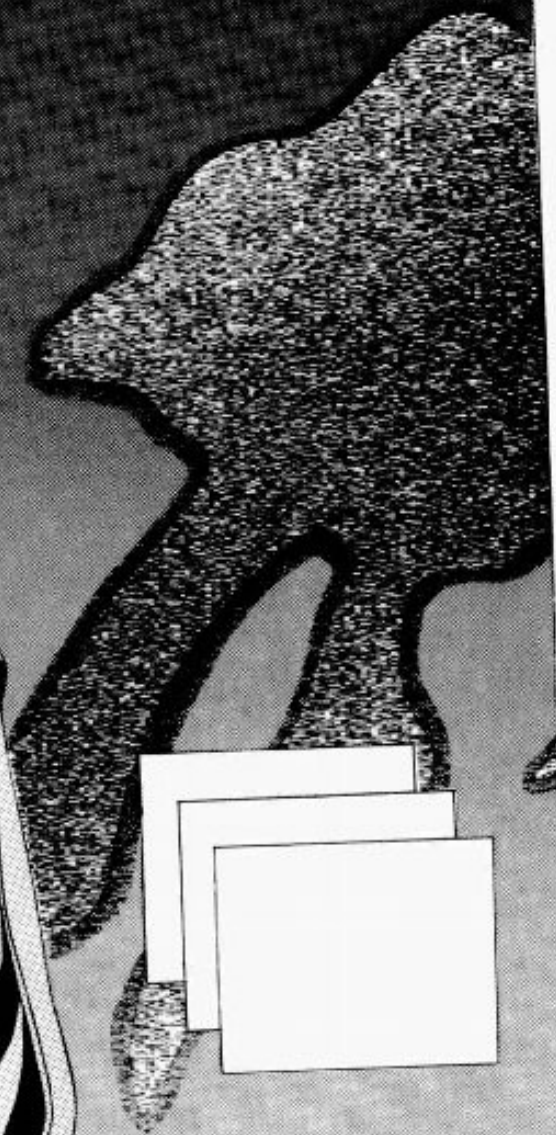


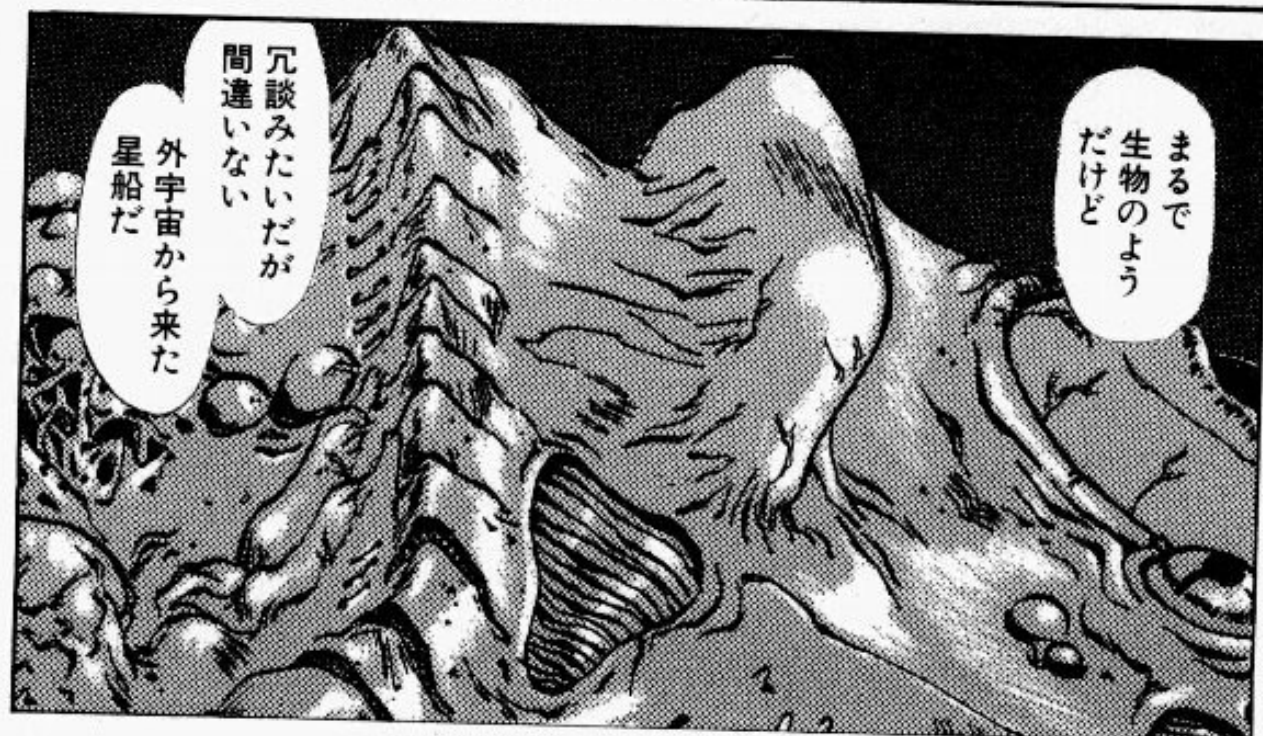






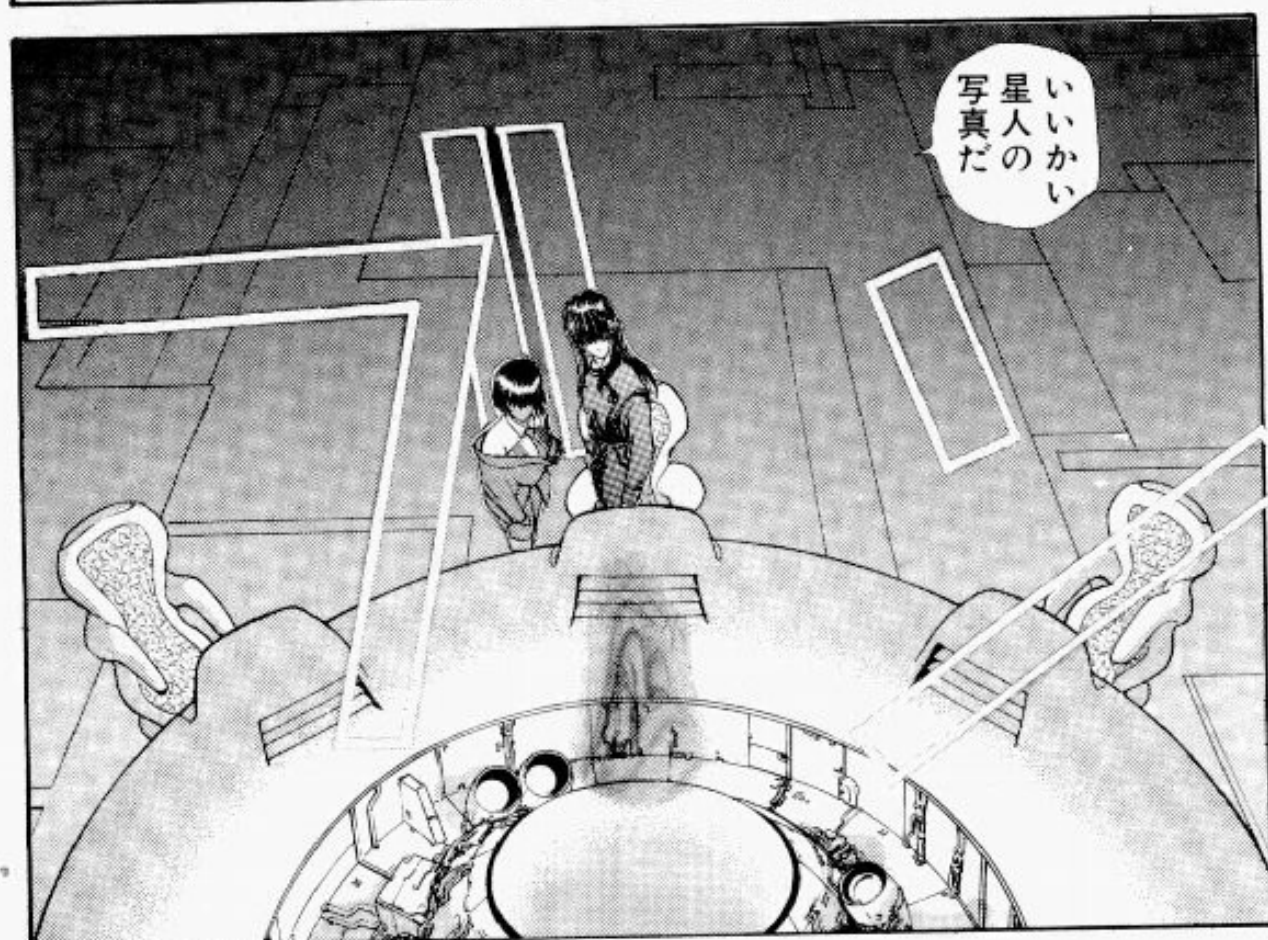
星船……

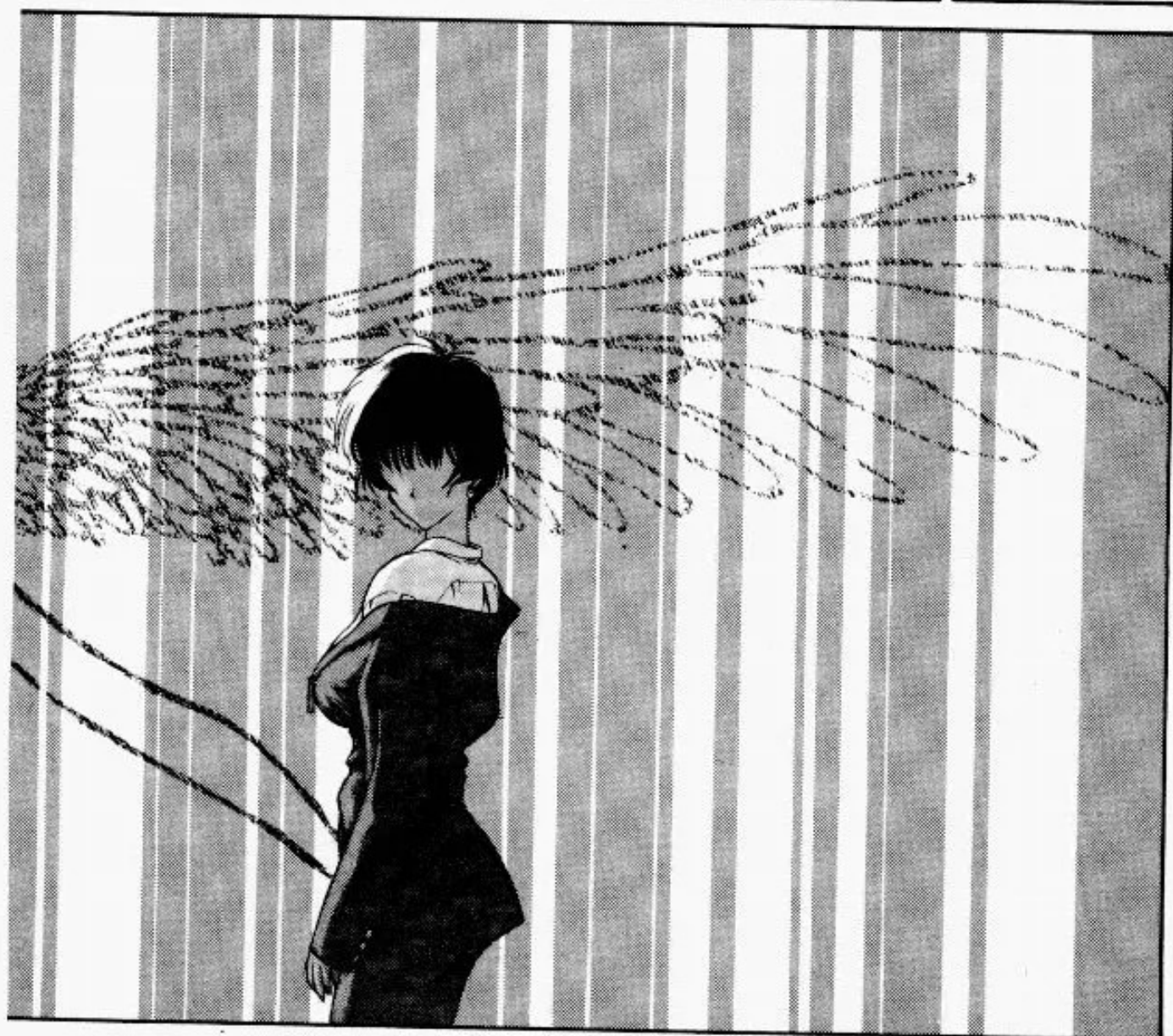




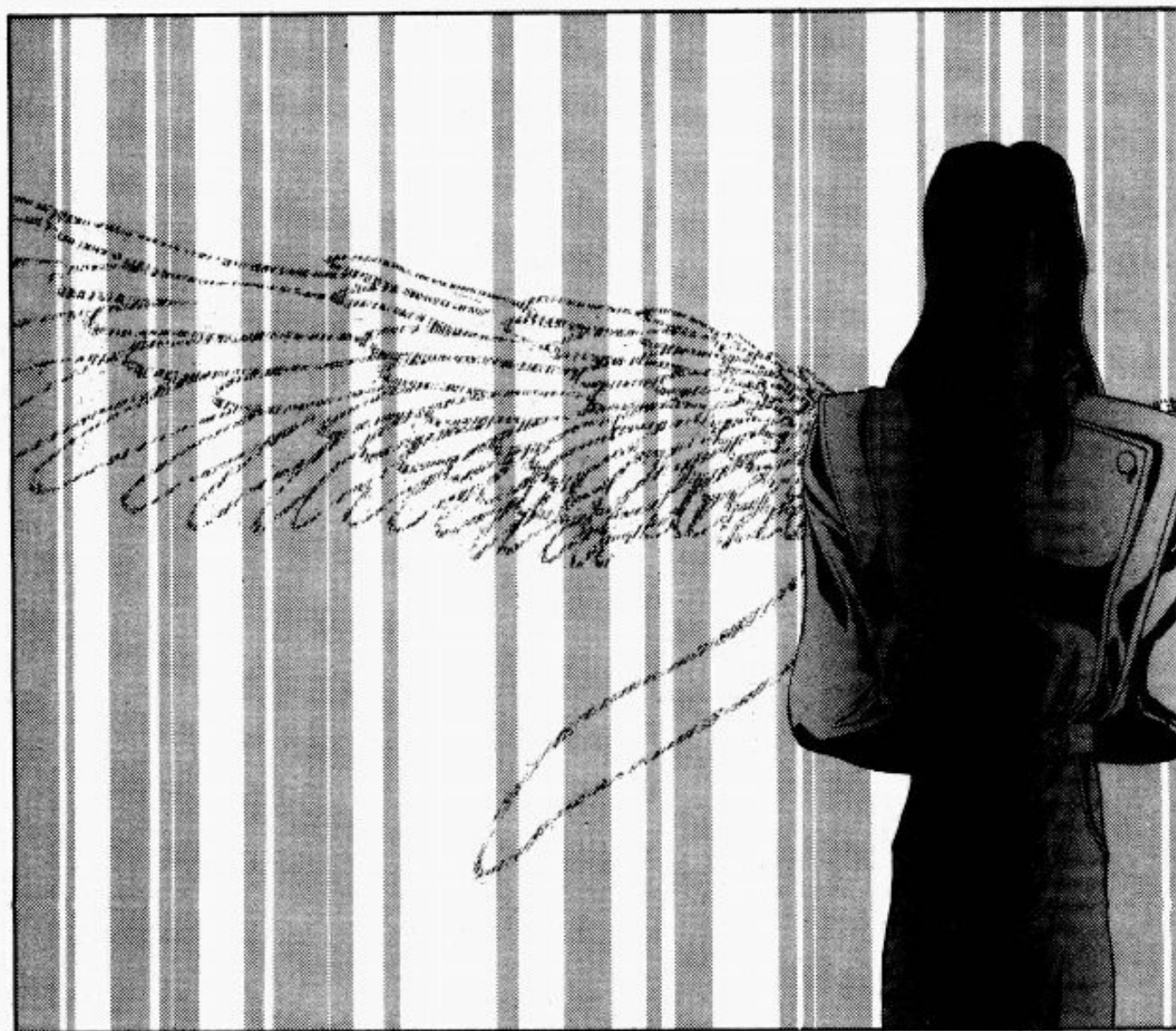




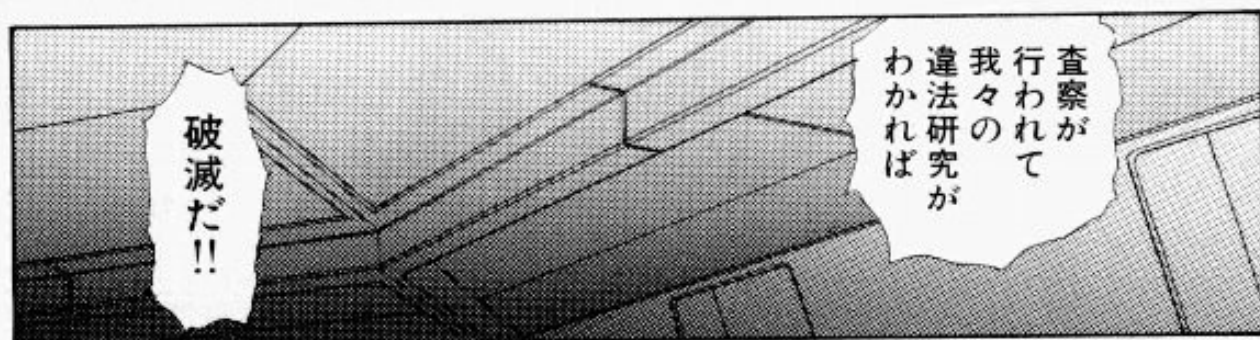




いったい
何が
ですか？







— 情けないな

所長
破滅はあなた
だけです

責任を
押しつける
気か

— き
貴様！

な

所長がやったと
いう証拠が
コンピューターには
記入されています

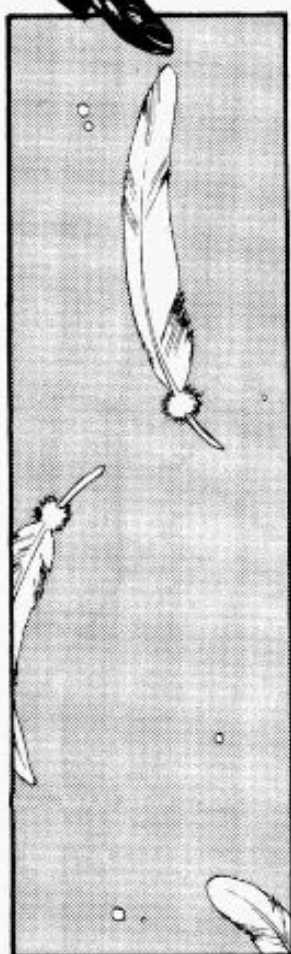
私の

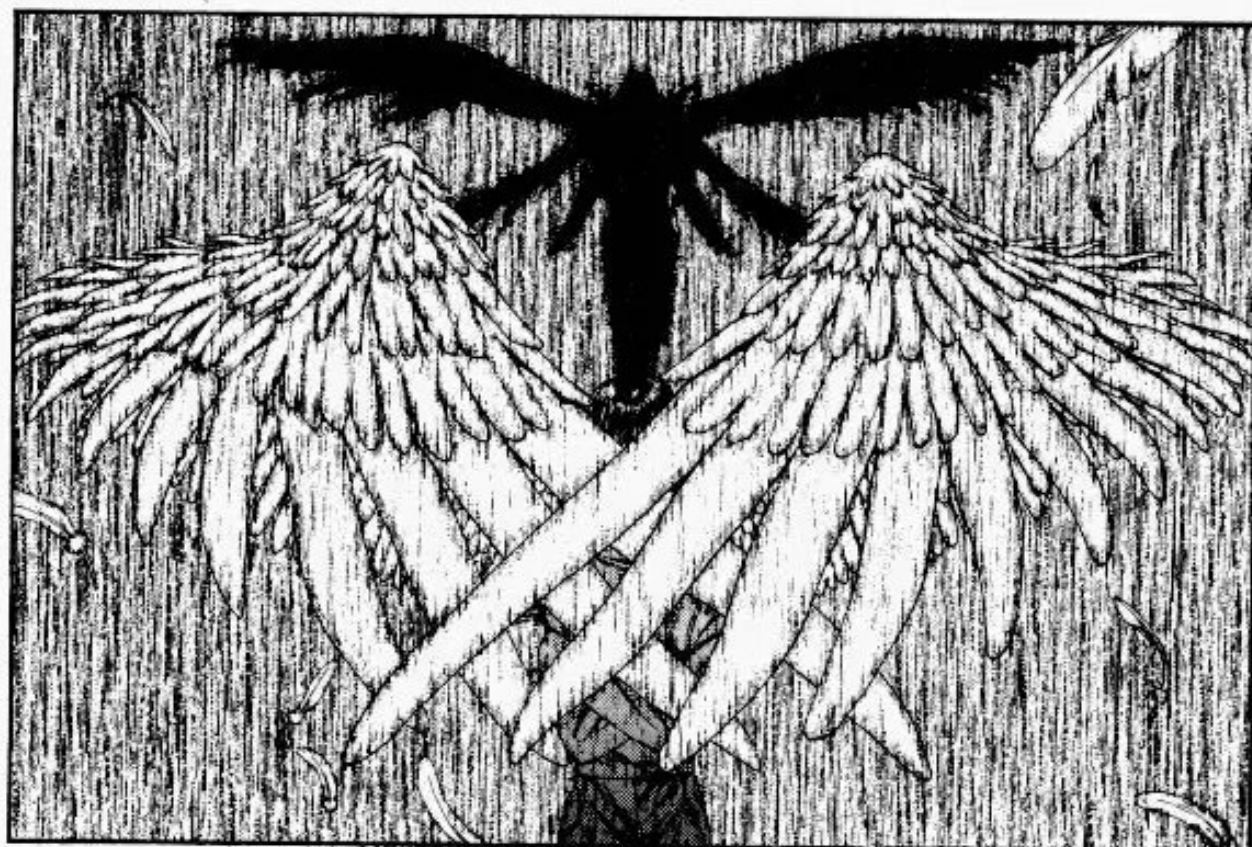


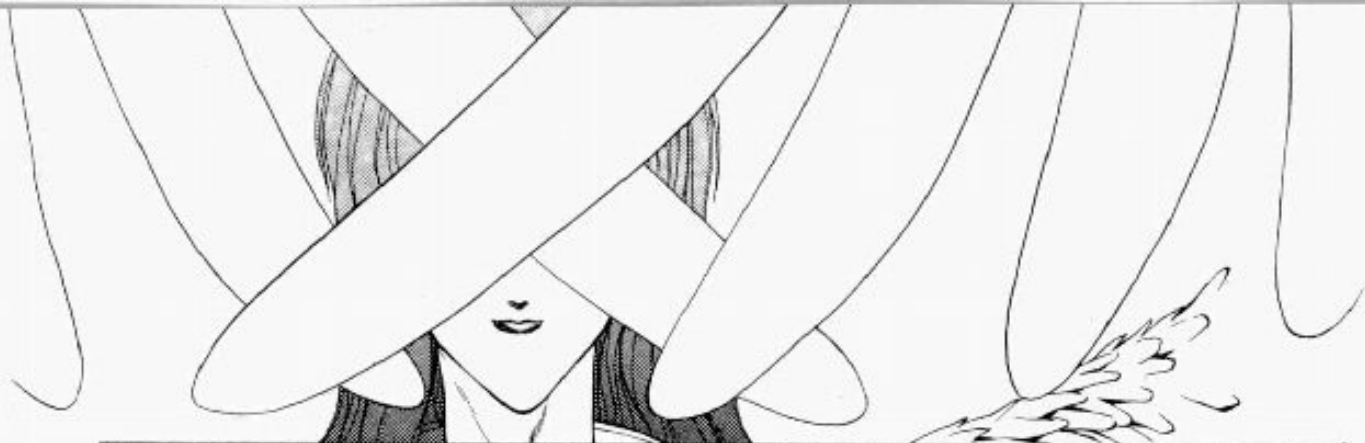
たいへん
残念です

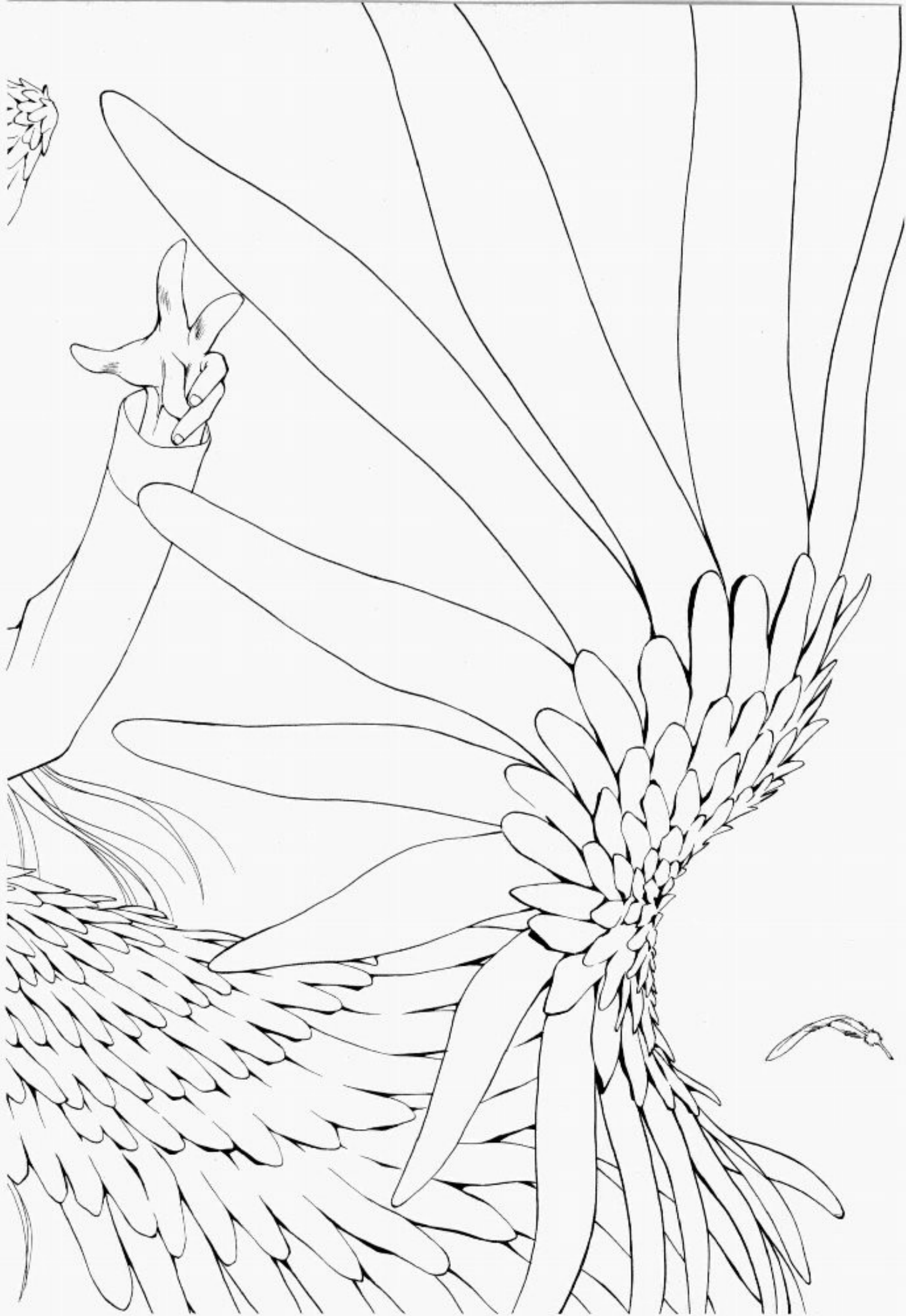
所長



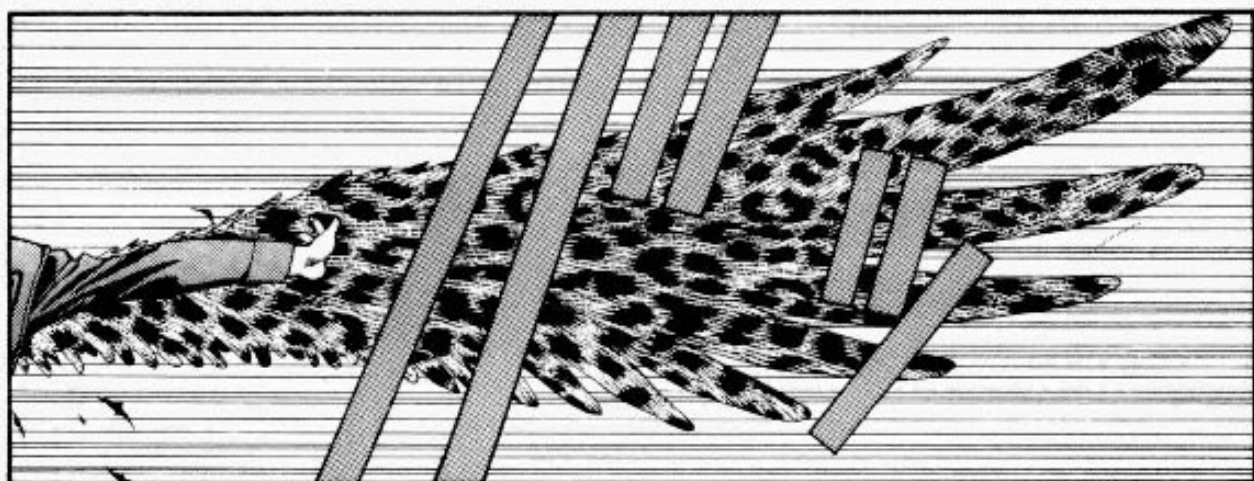










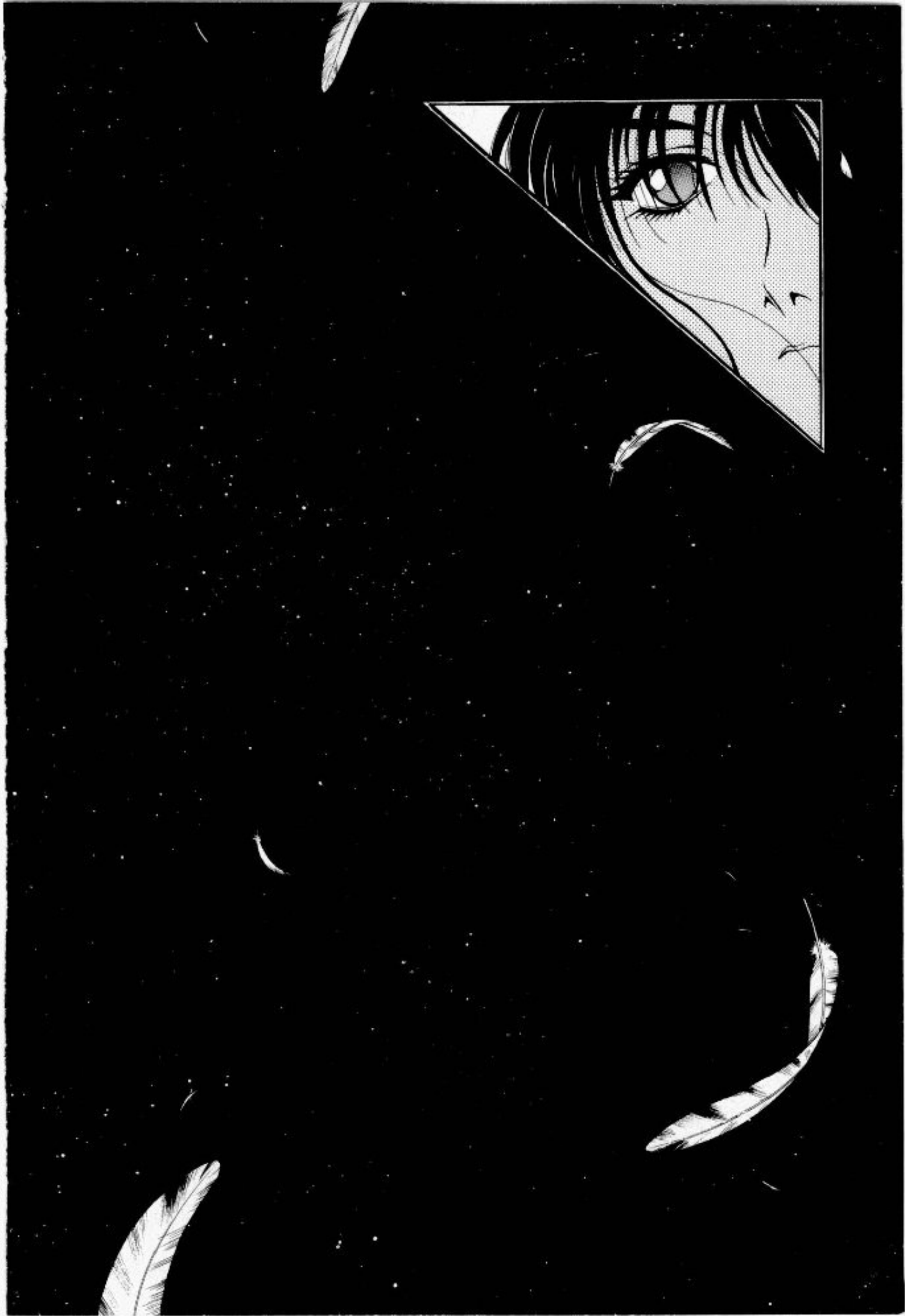


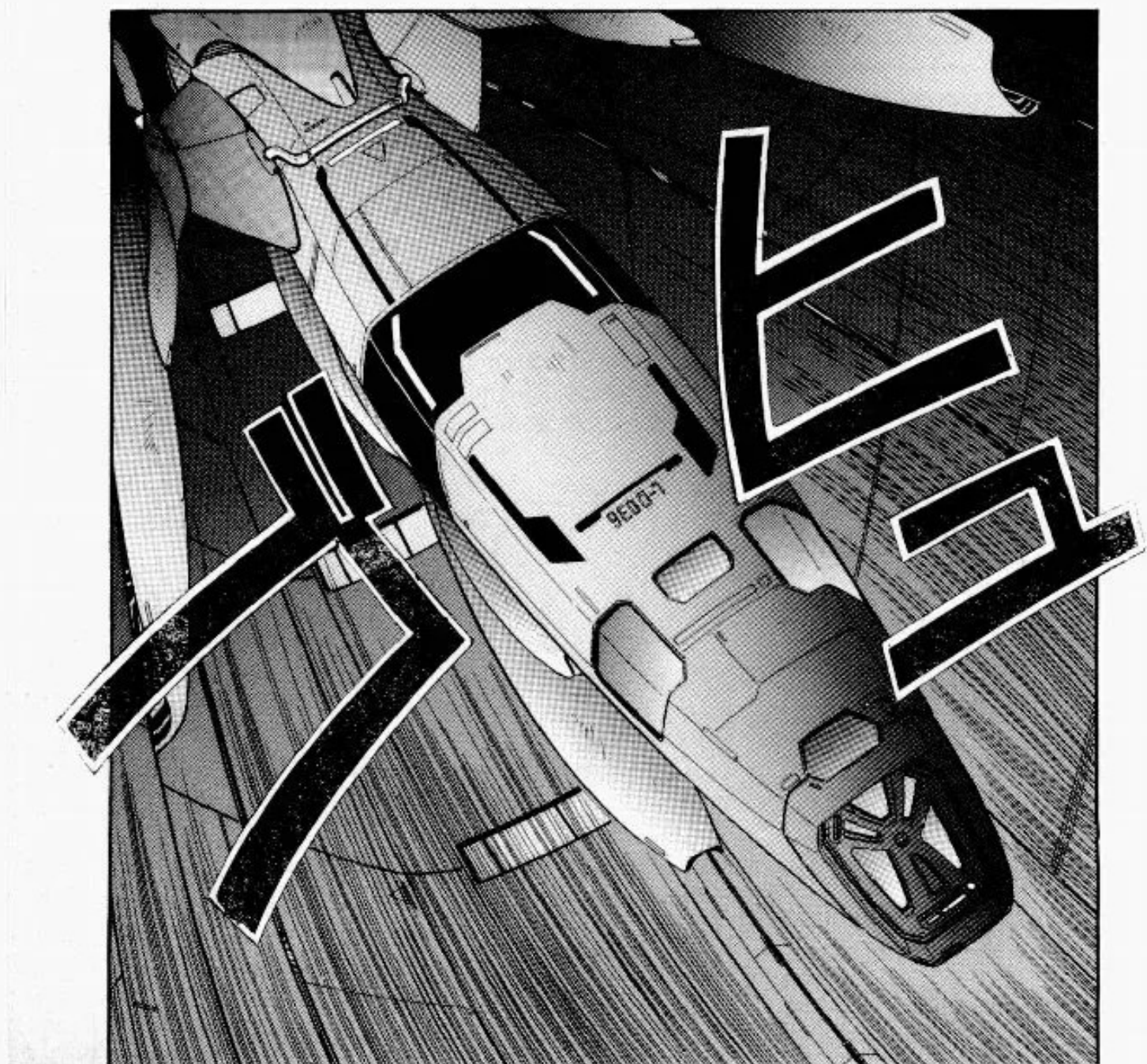
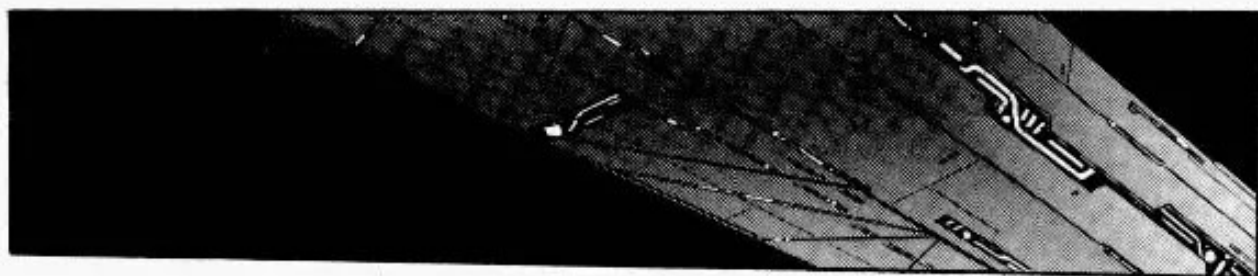
所長……
星人の力は
すべて
私のものだ

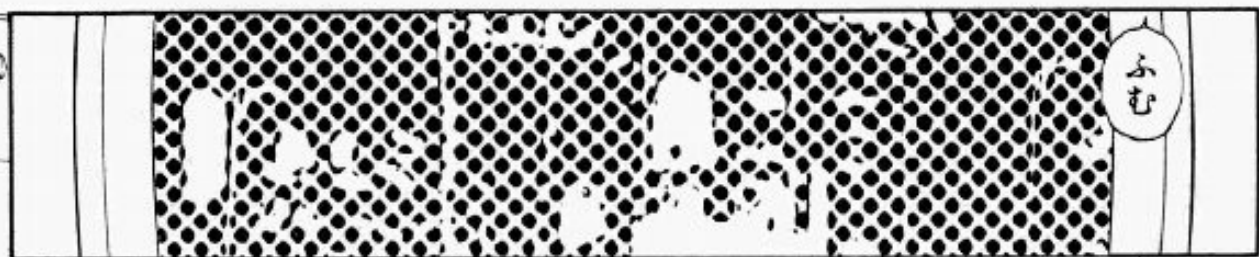
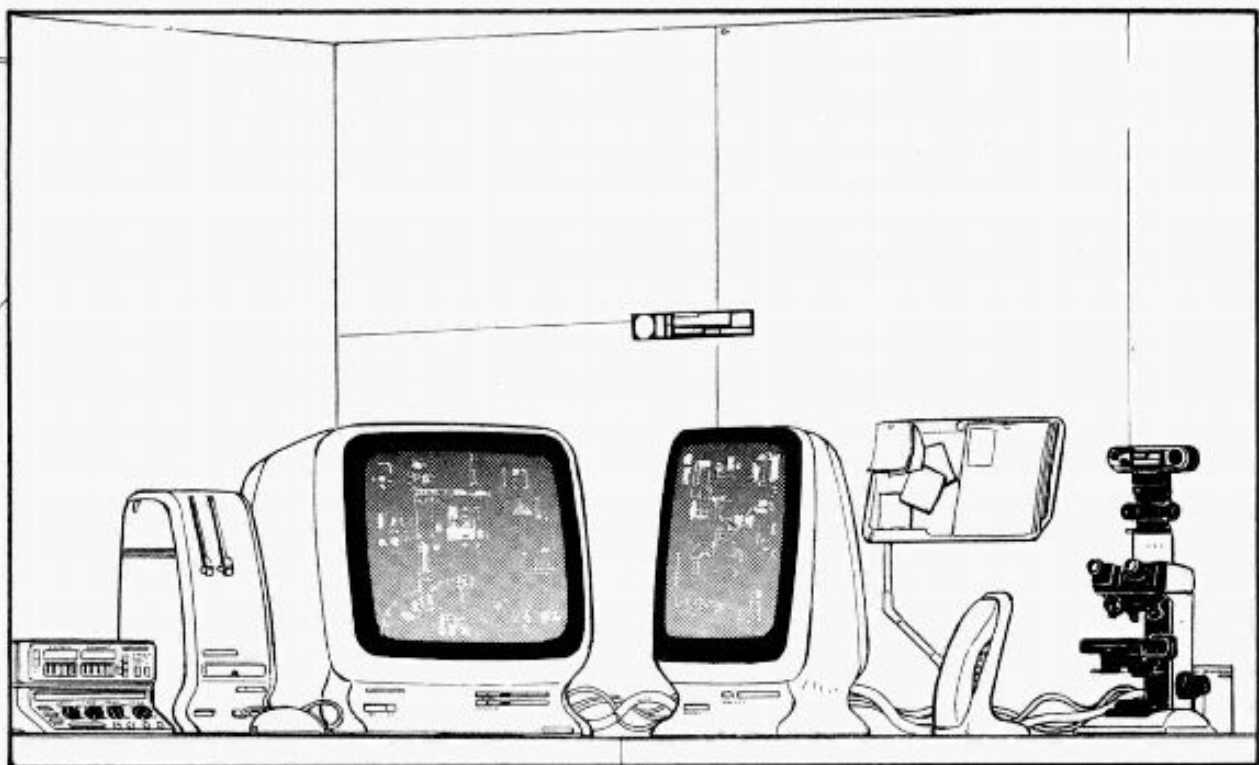


誰にも
邪魔は
させません

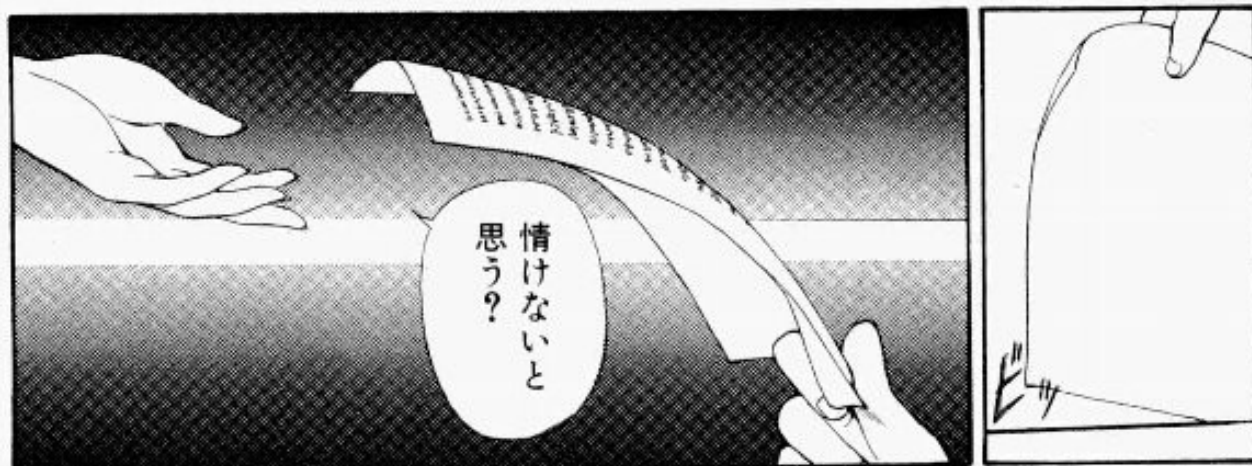


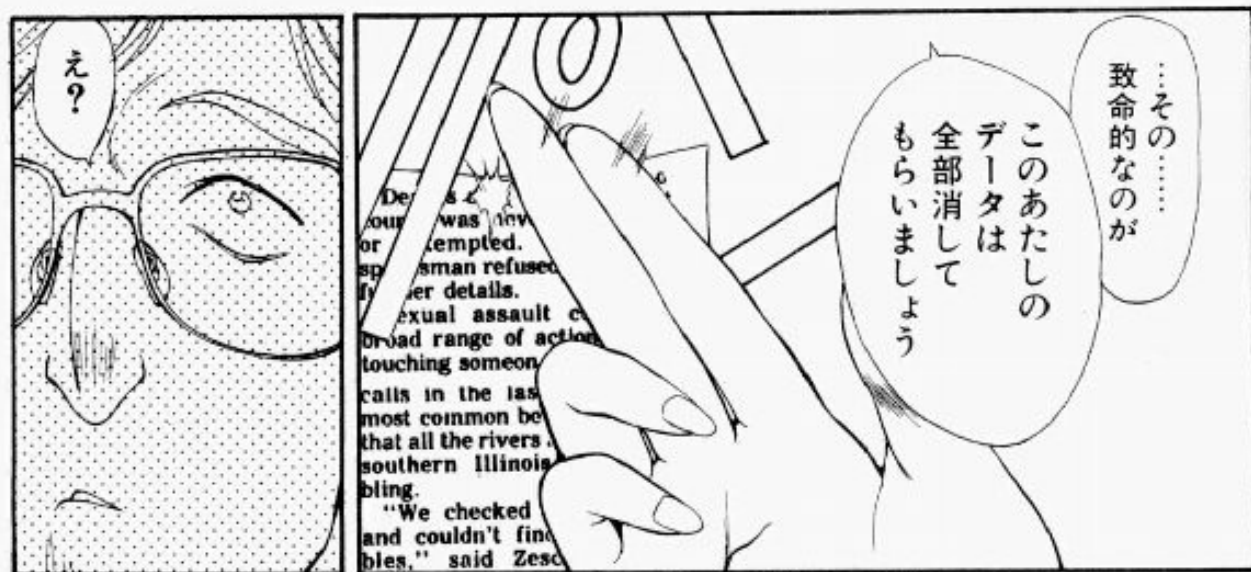


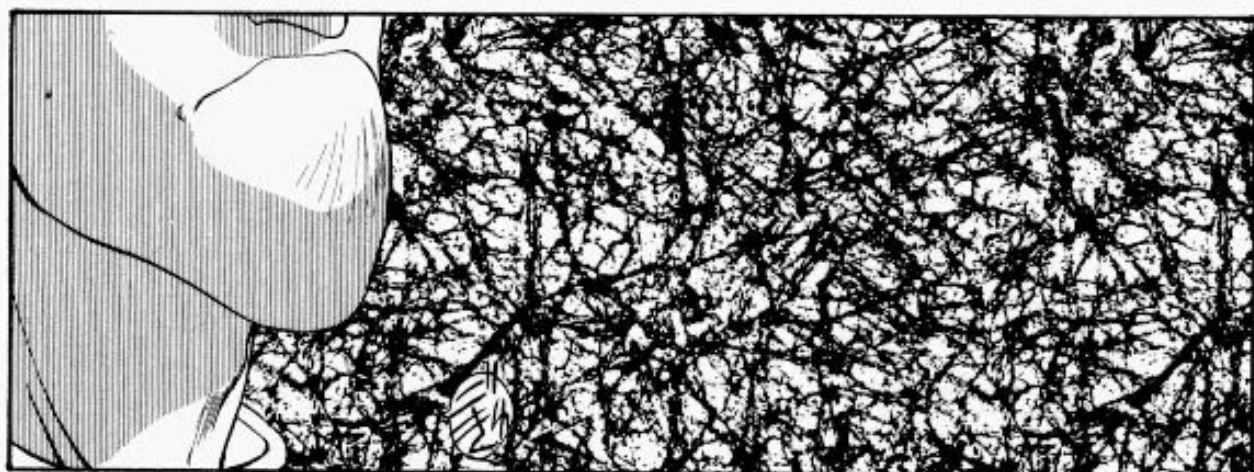


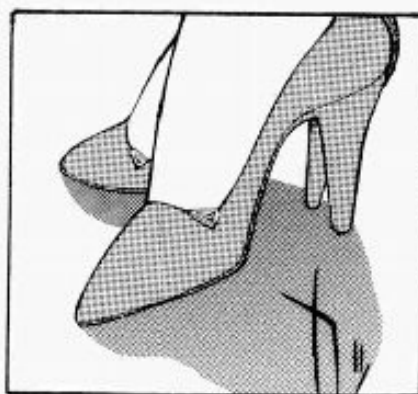
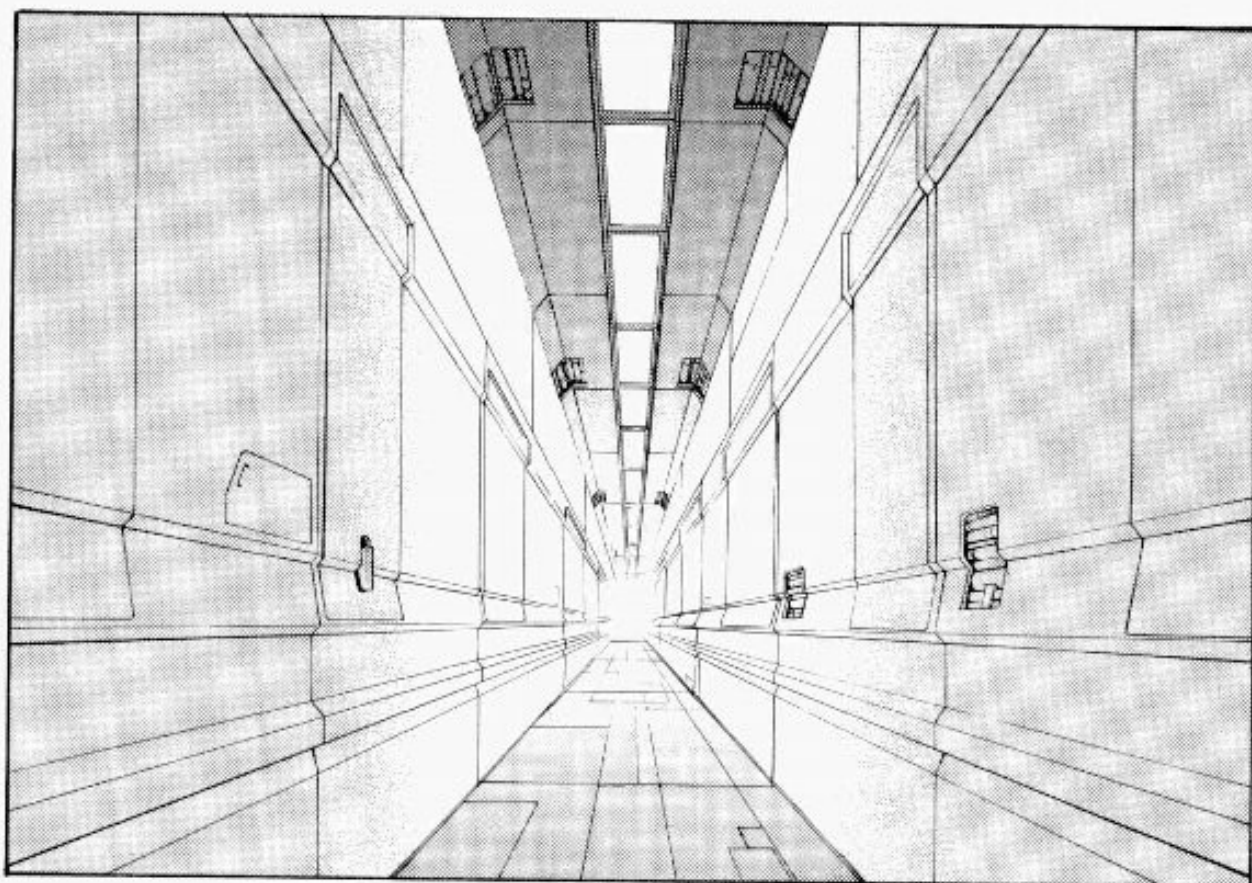












……まいったな

あと5年
くらいか

あたしの寿命は

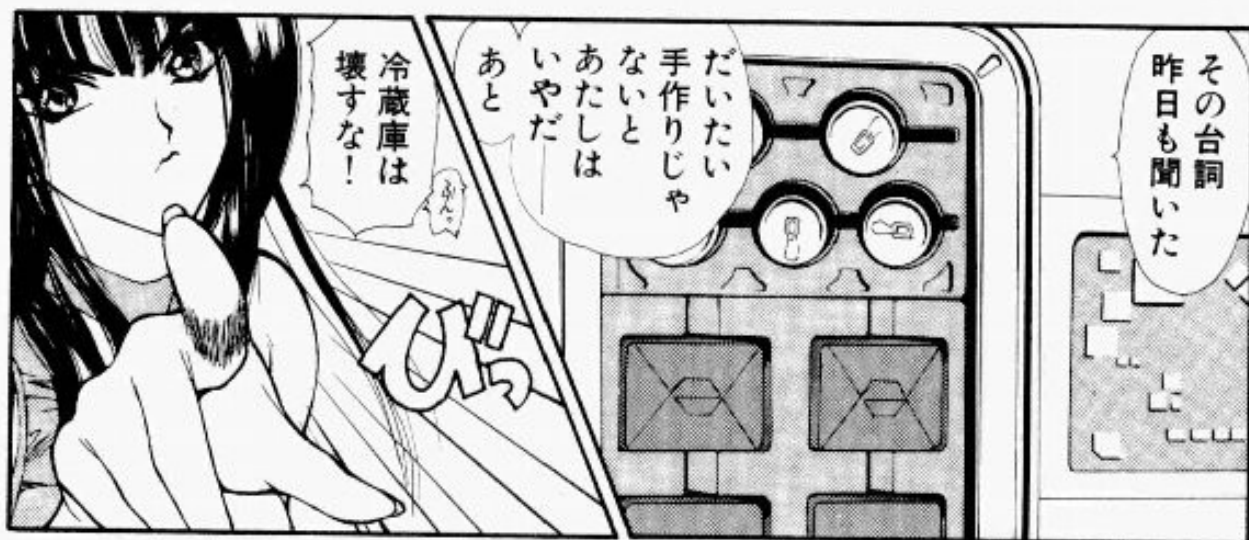
あ！
ねえねえ
マザクさん！
月！



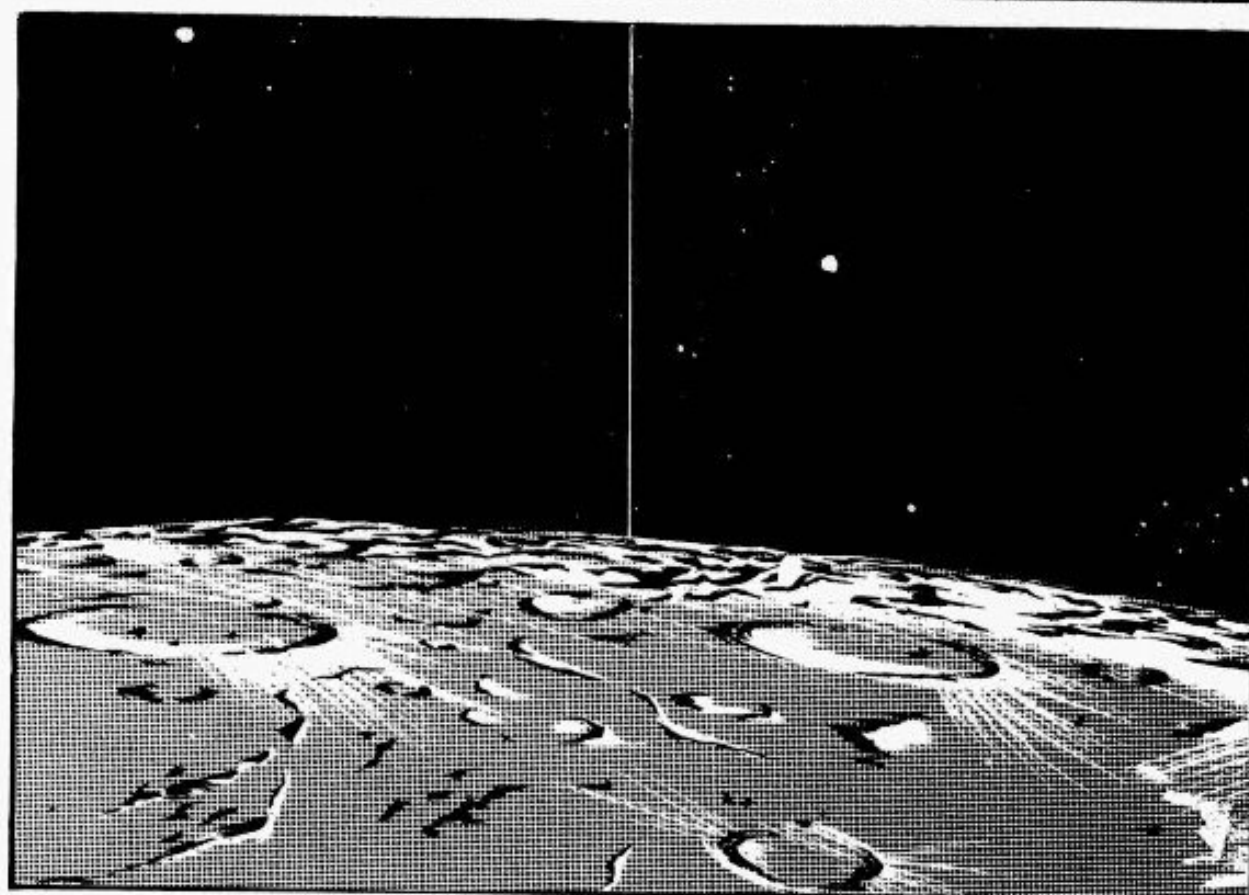
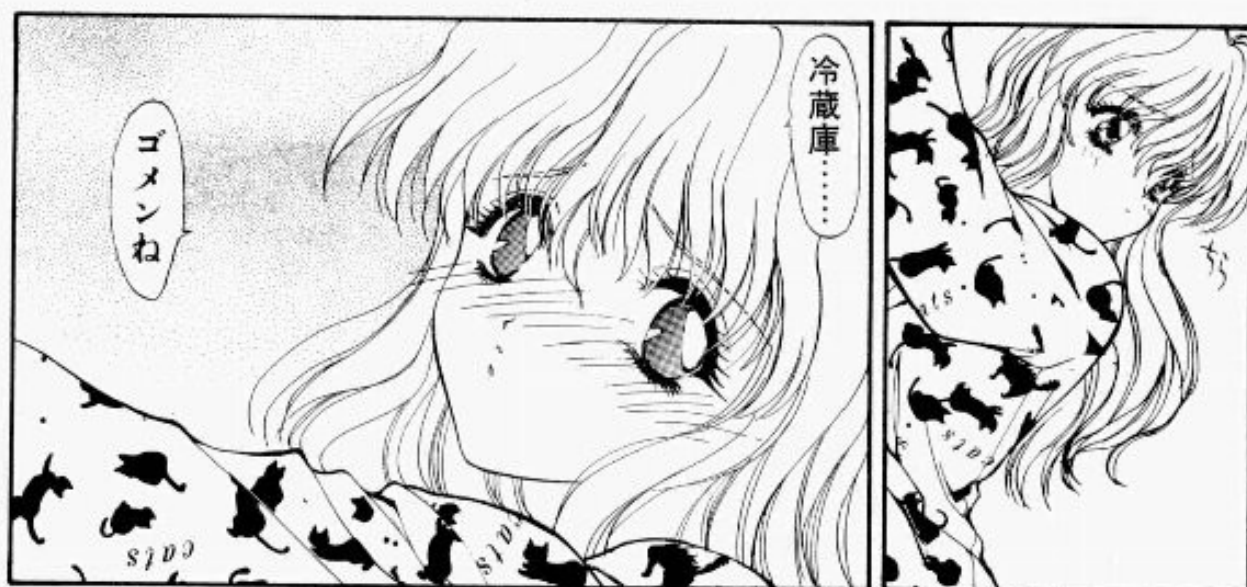








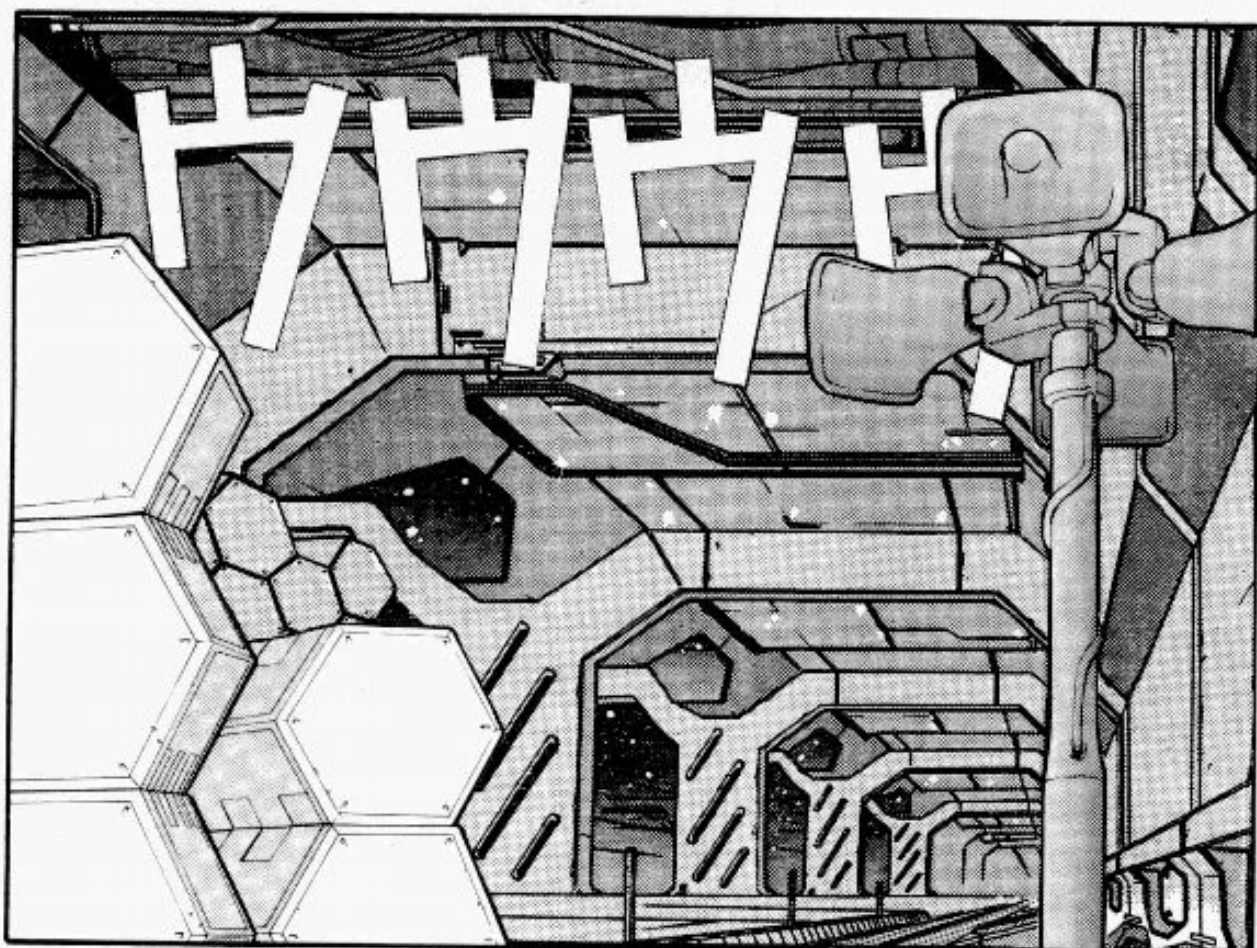


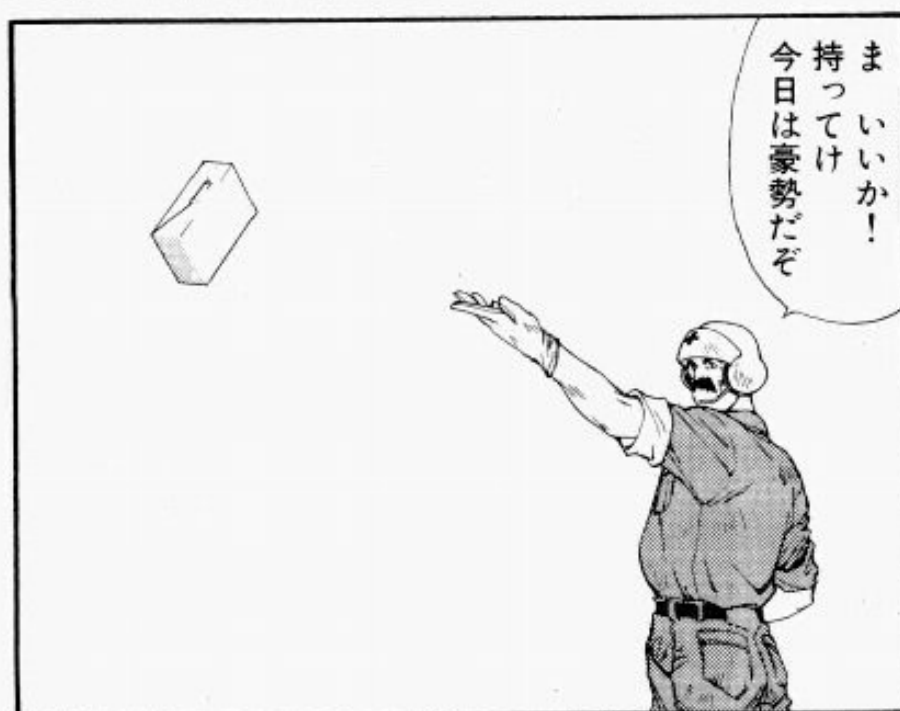


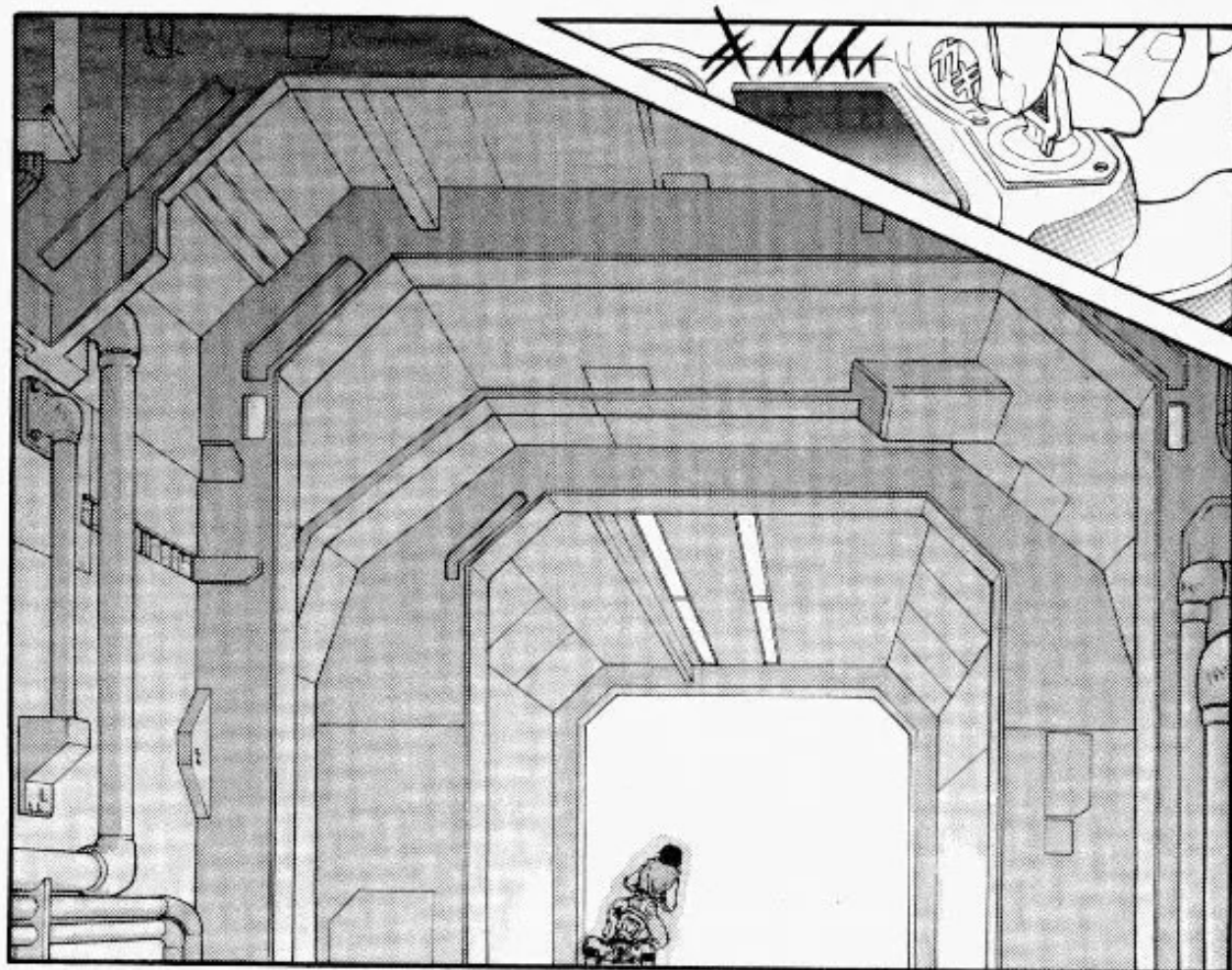
ACT.1 → END

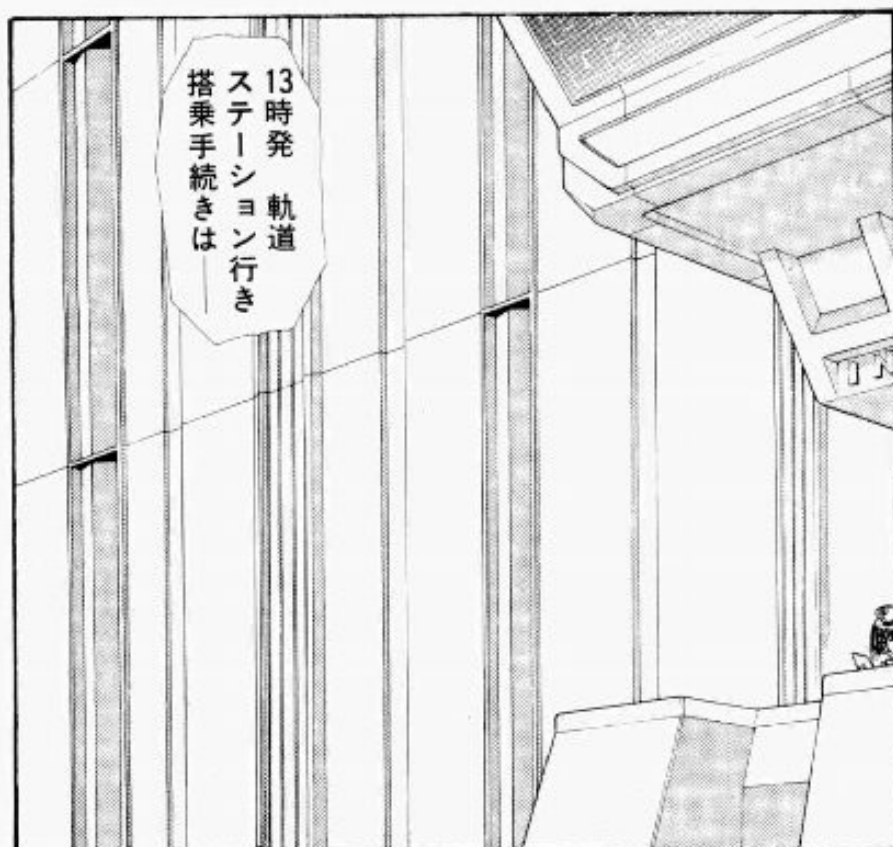
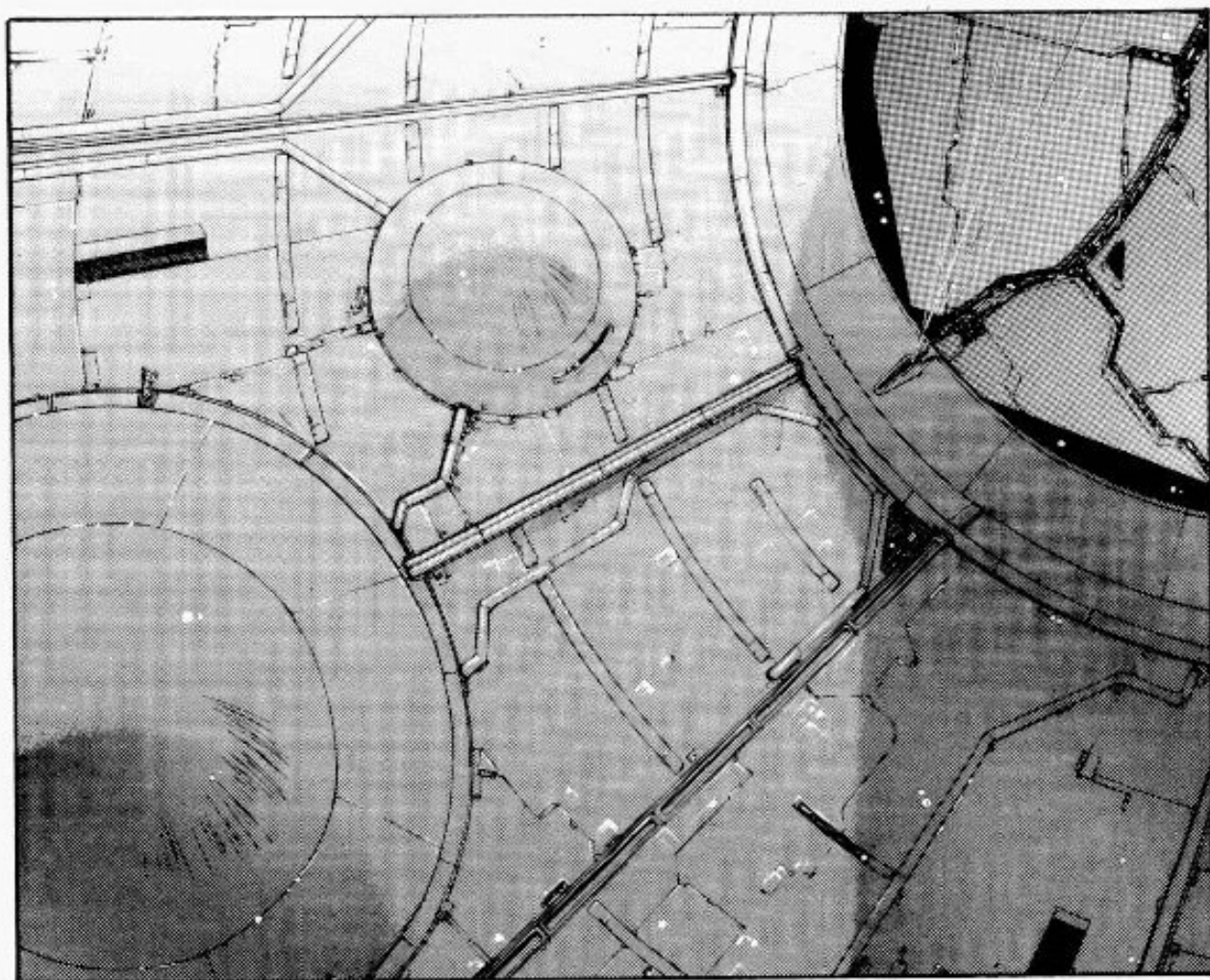
ACT.2





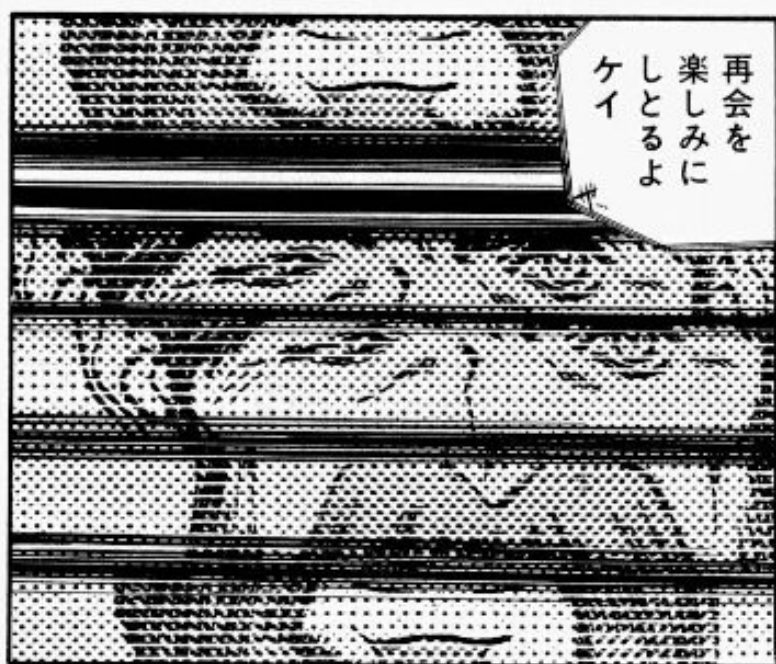












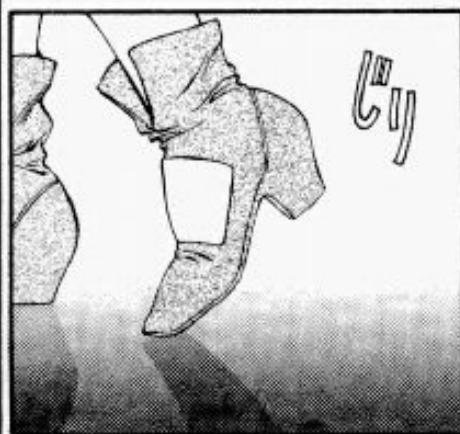
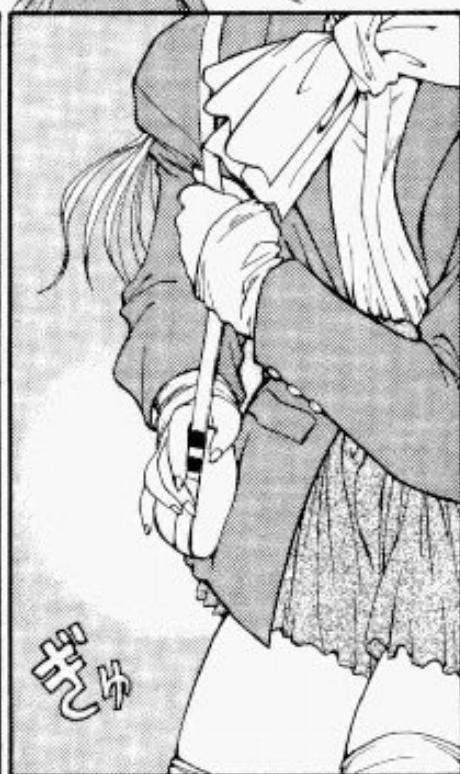




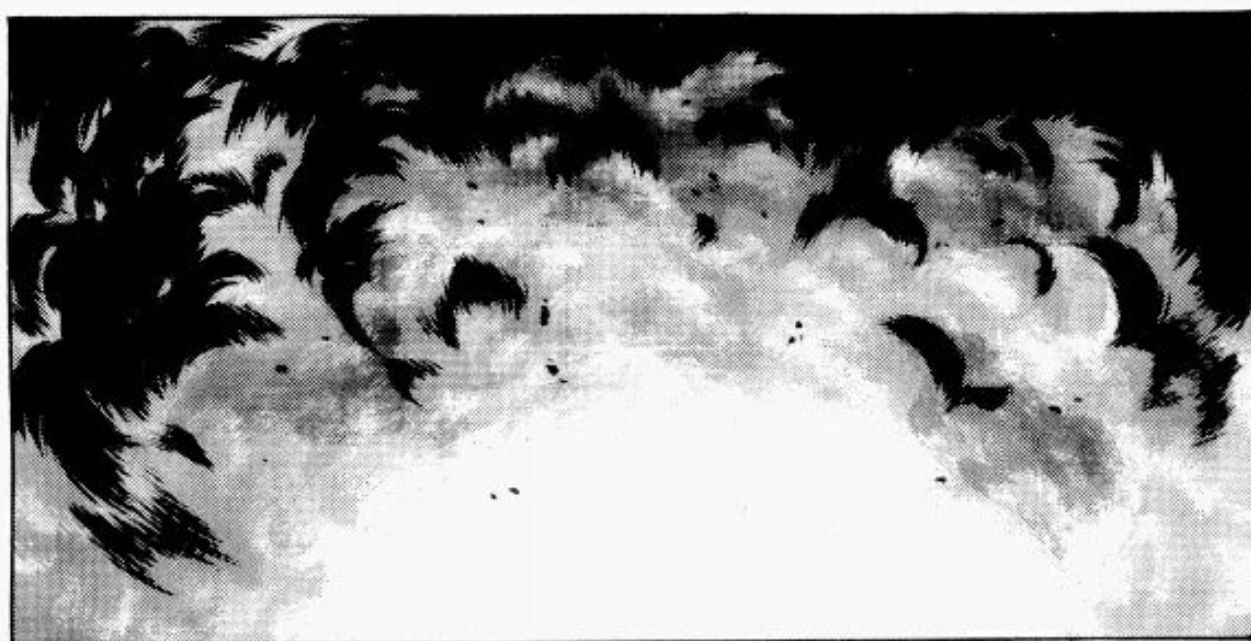


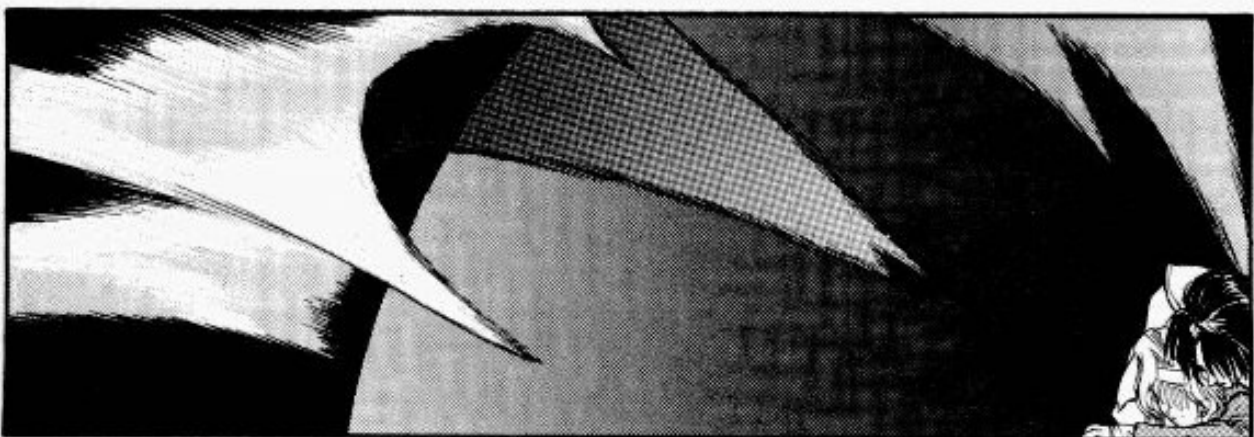


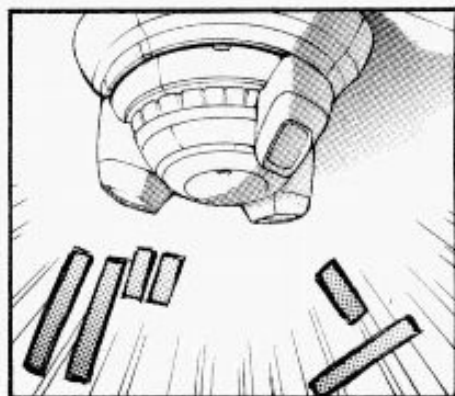
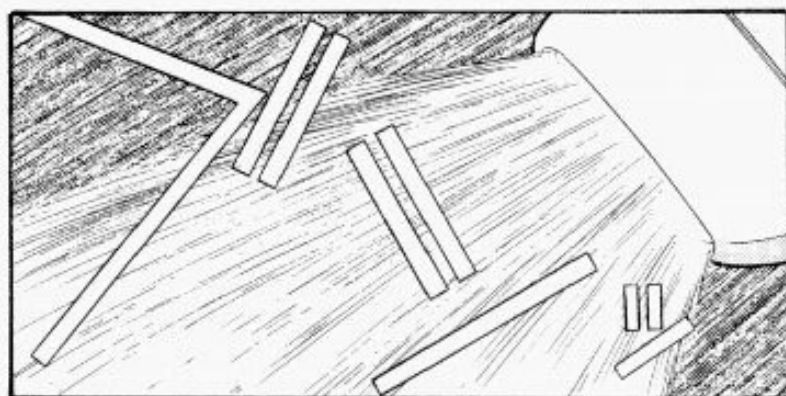




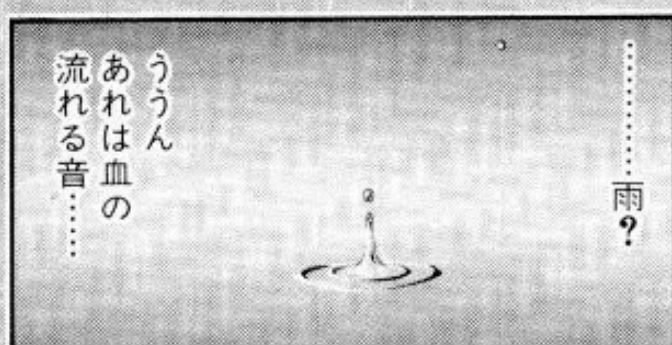








サアアア







手を離して
下さいっ

うわっ



あの……
離れてくれ
ません!?
……そのっ

もぞ



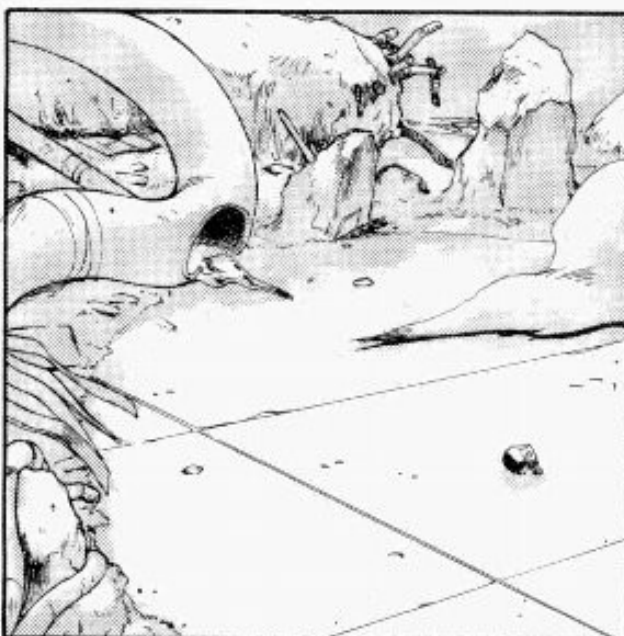
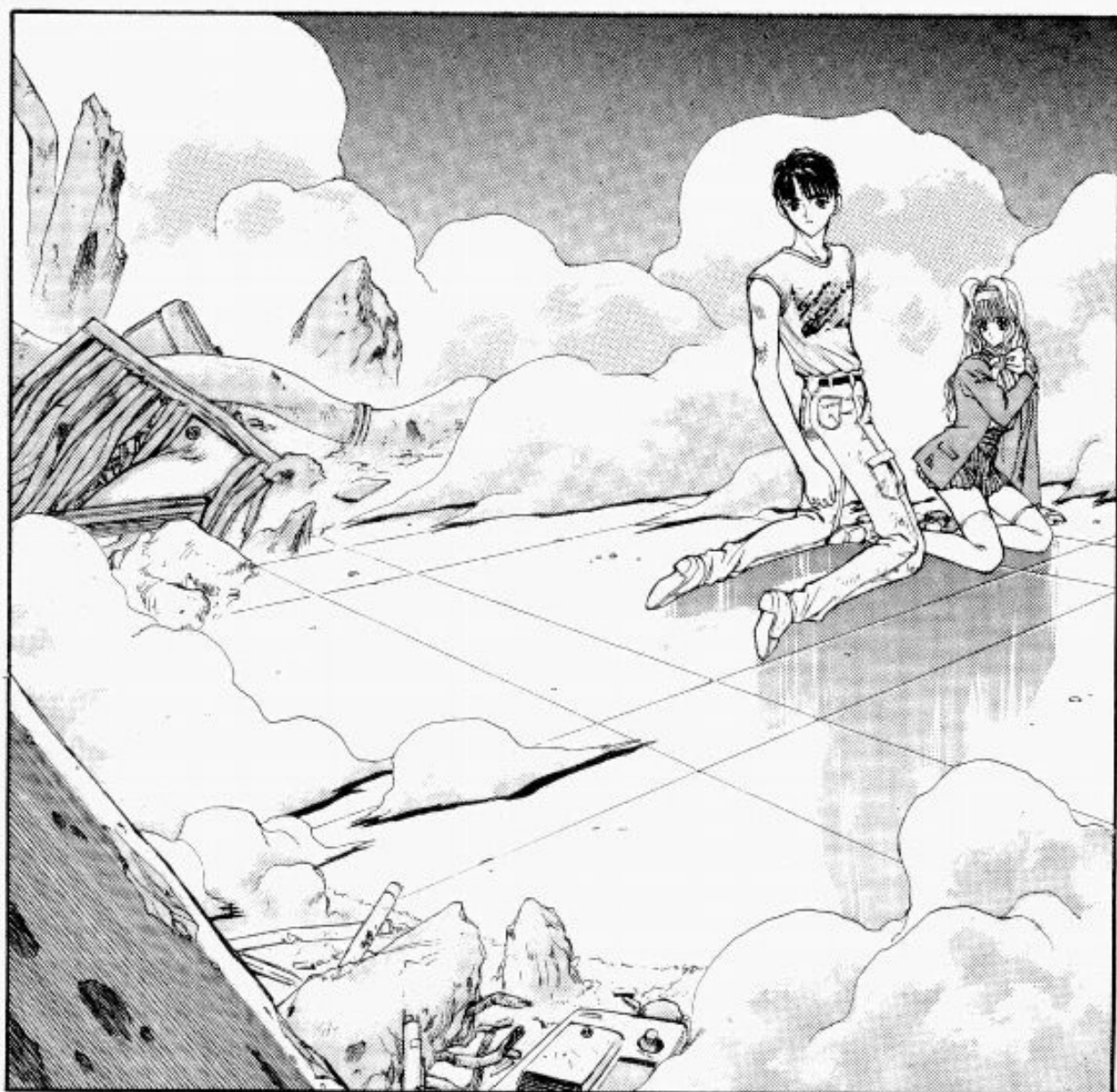
変だ?



!?

ご……
ごめんっ!
そのっ 胸に
触るつもりは
……別に……

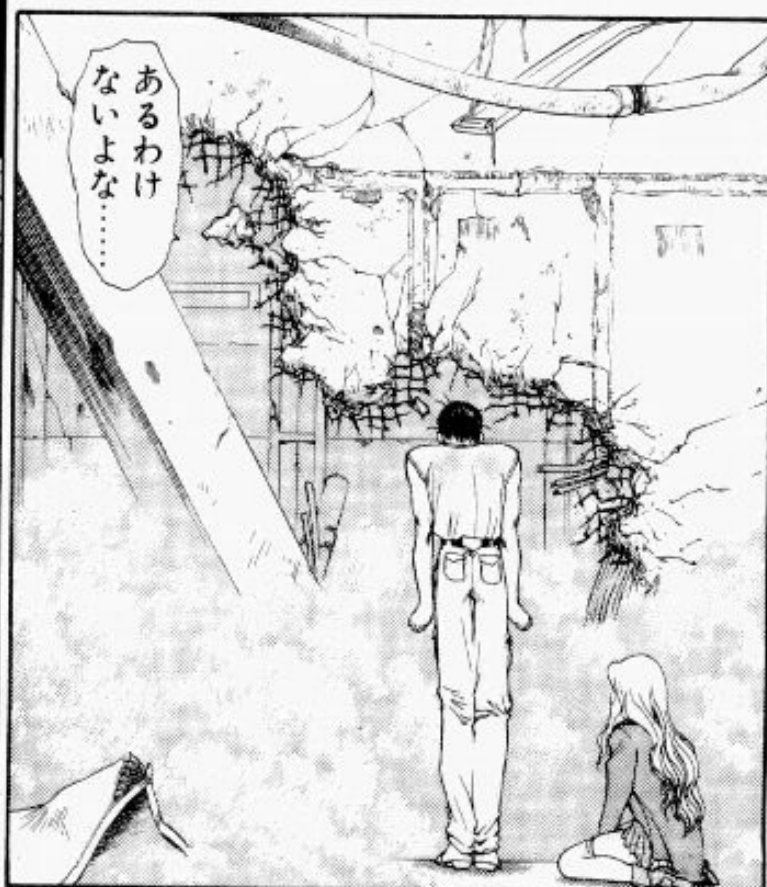
もぞ

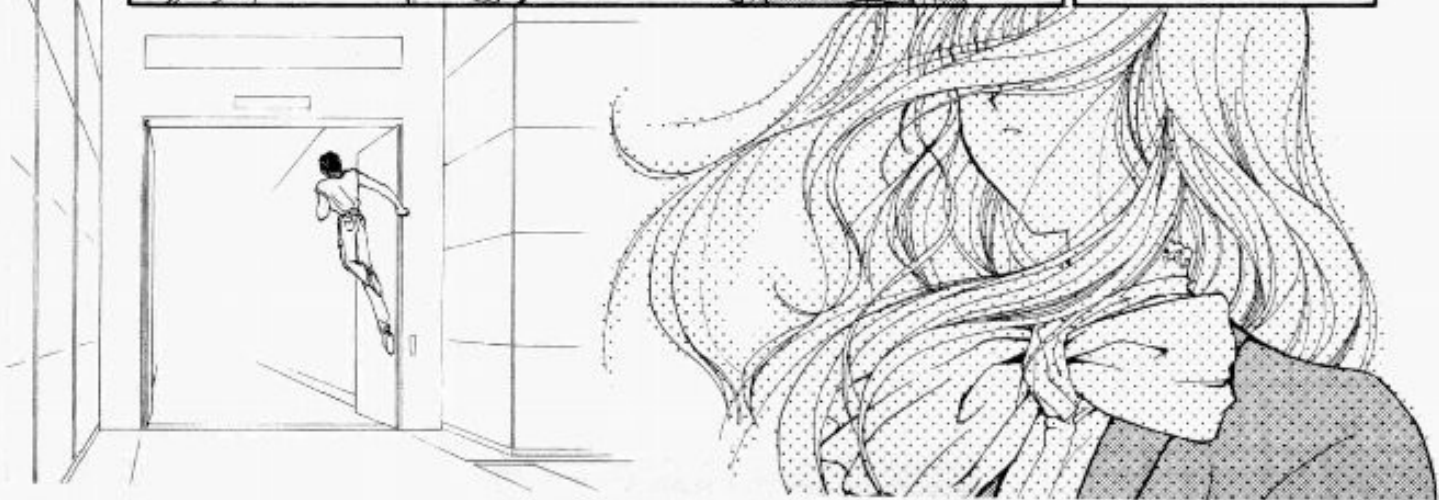








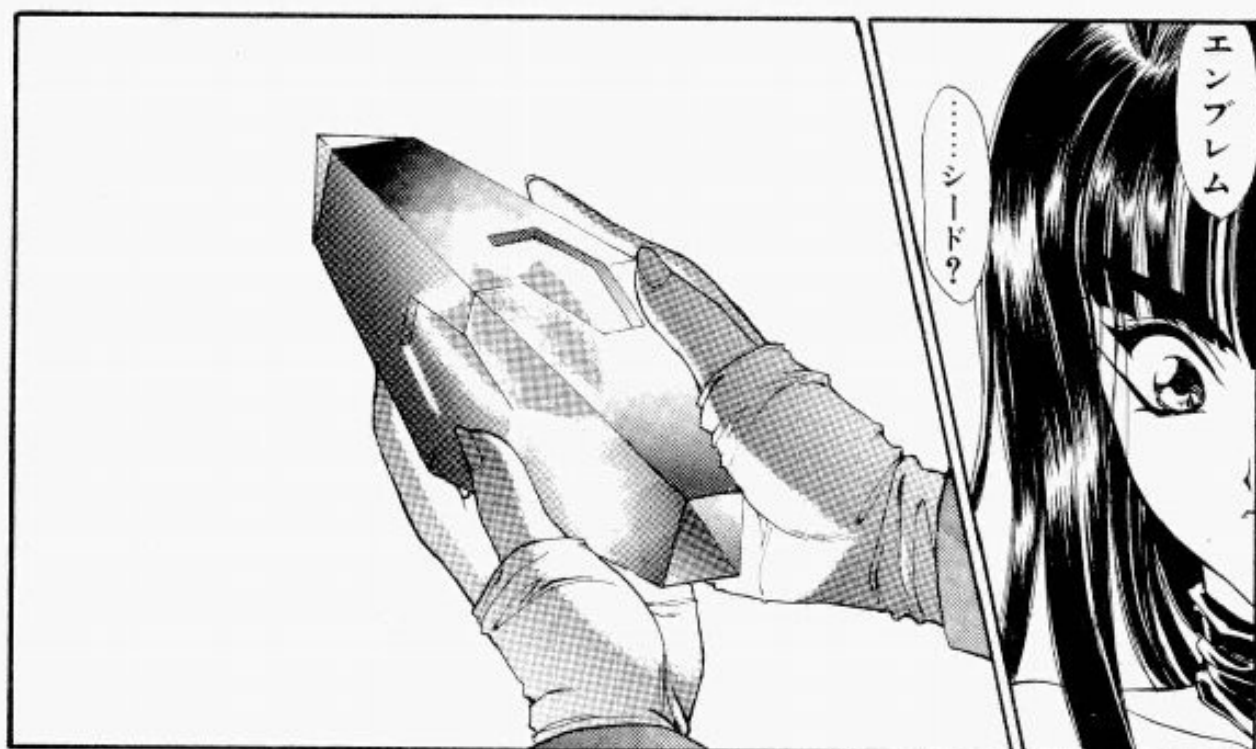








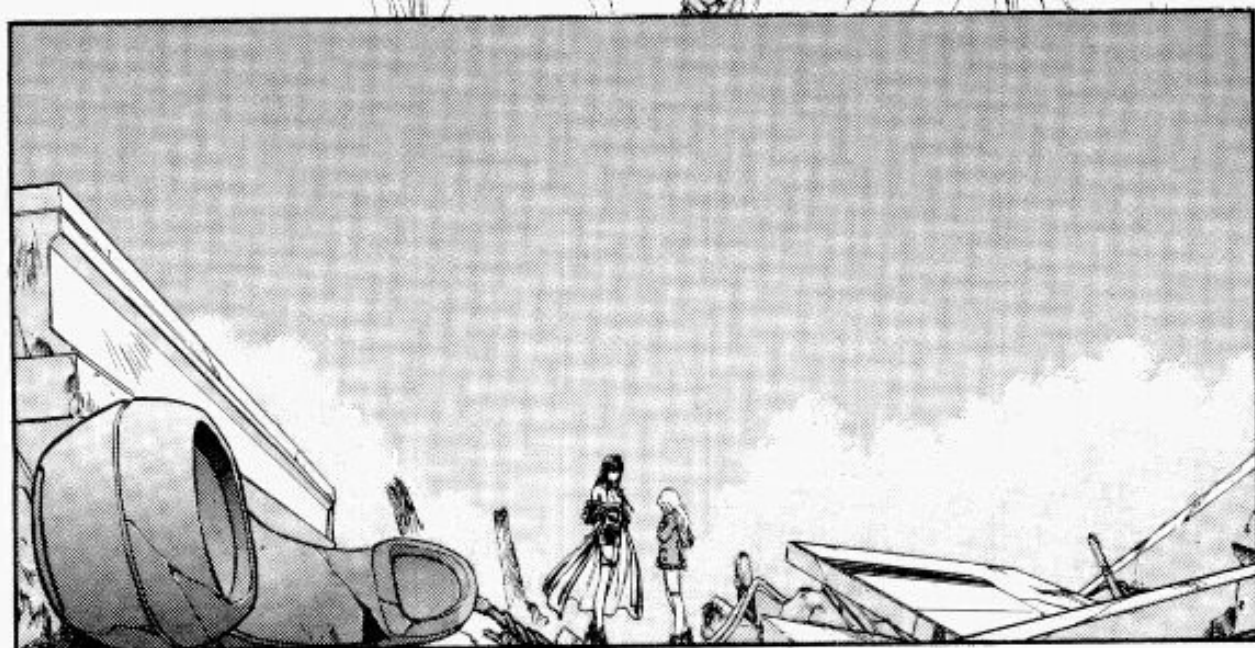






わたしの
気持ちに

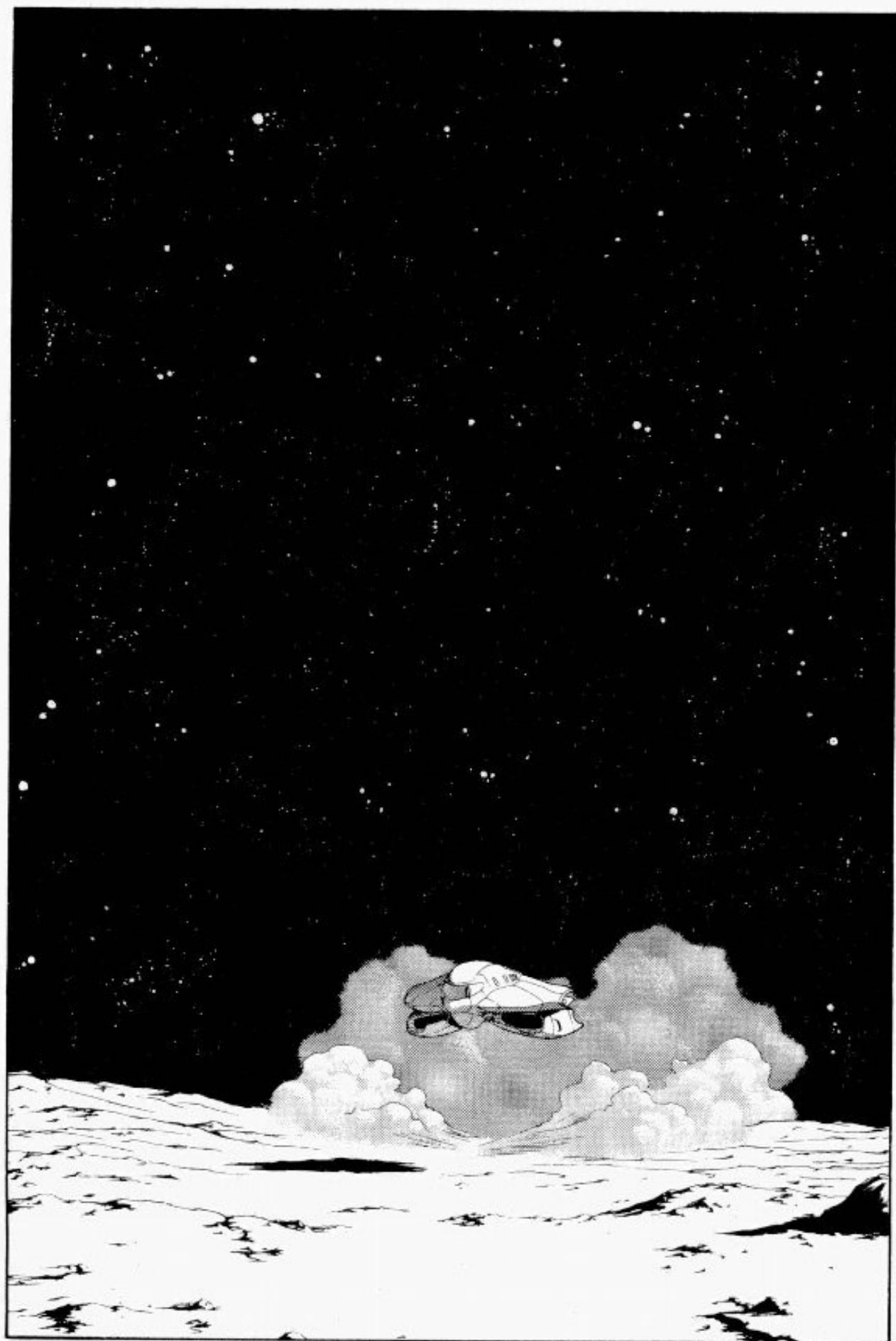
反応している——？



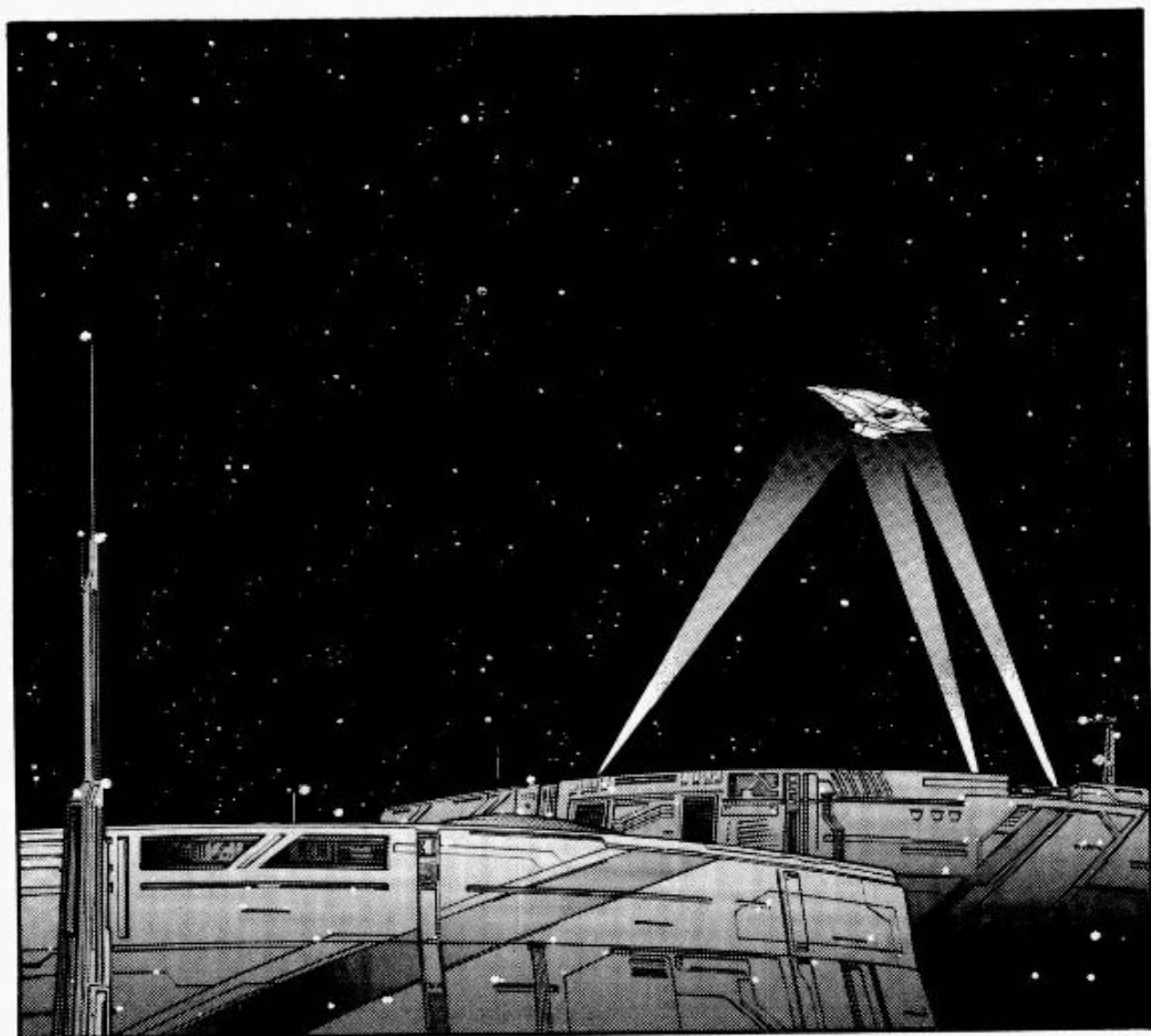
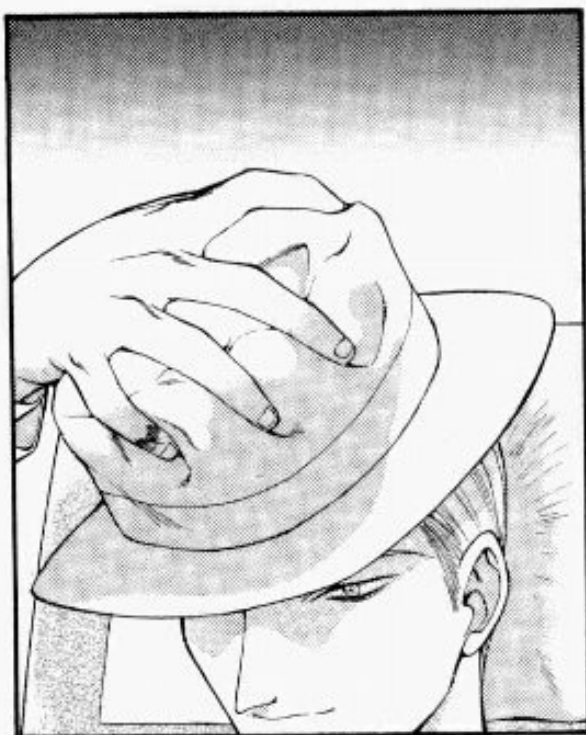
ACT.2→END

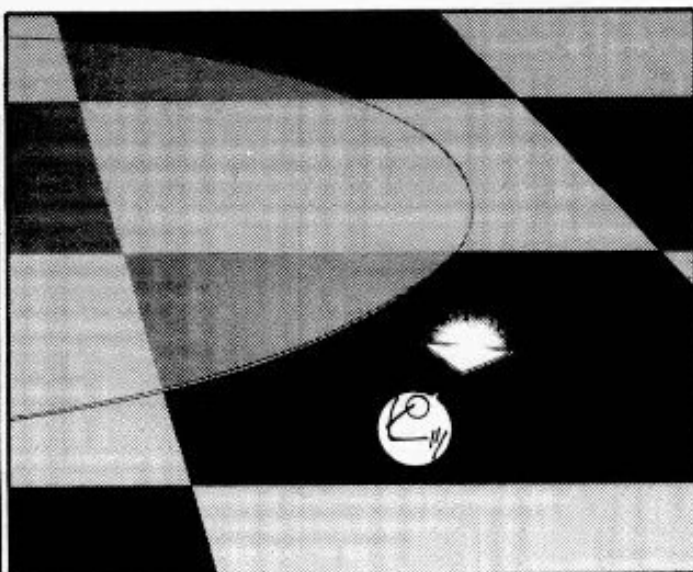
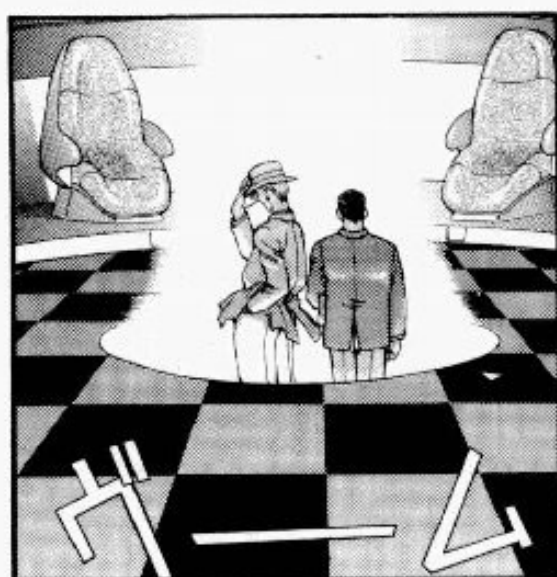
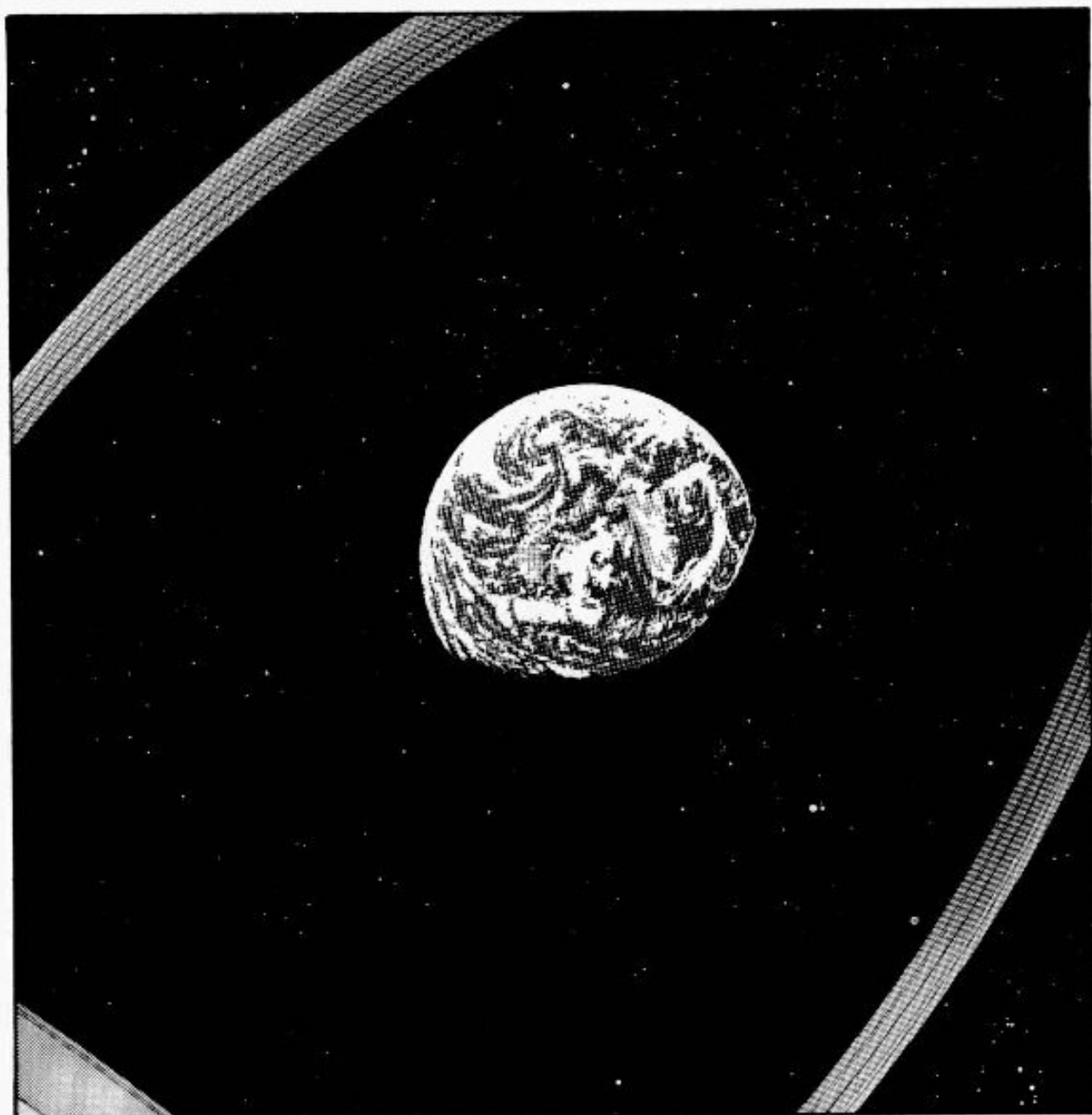
ACT.3



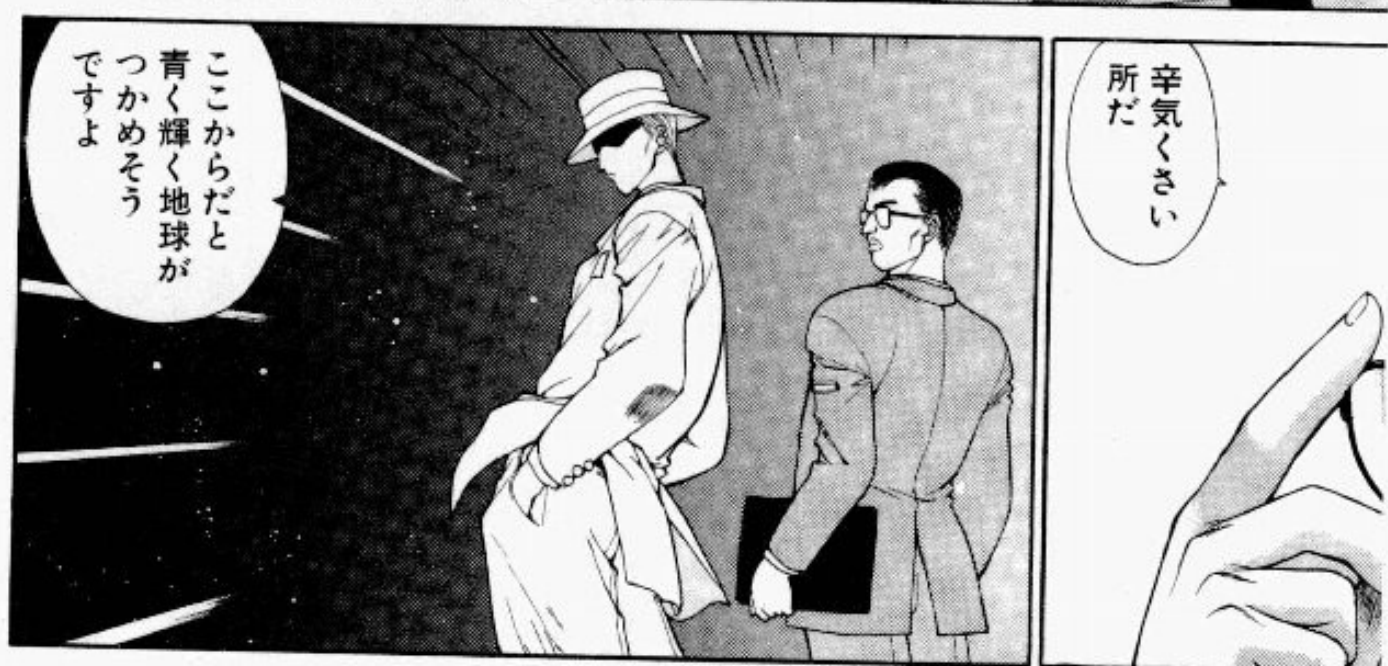
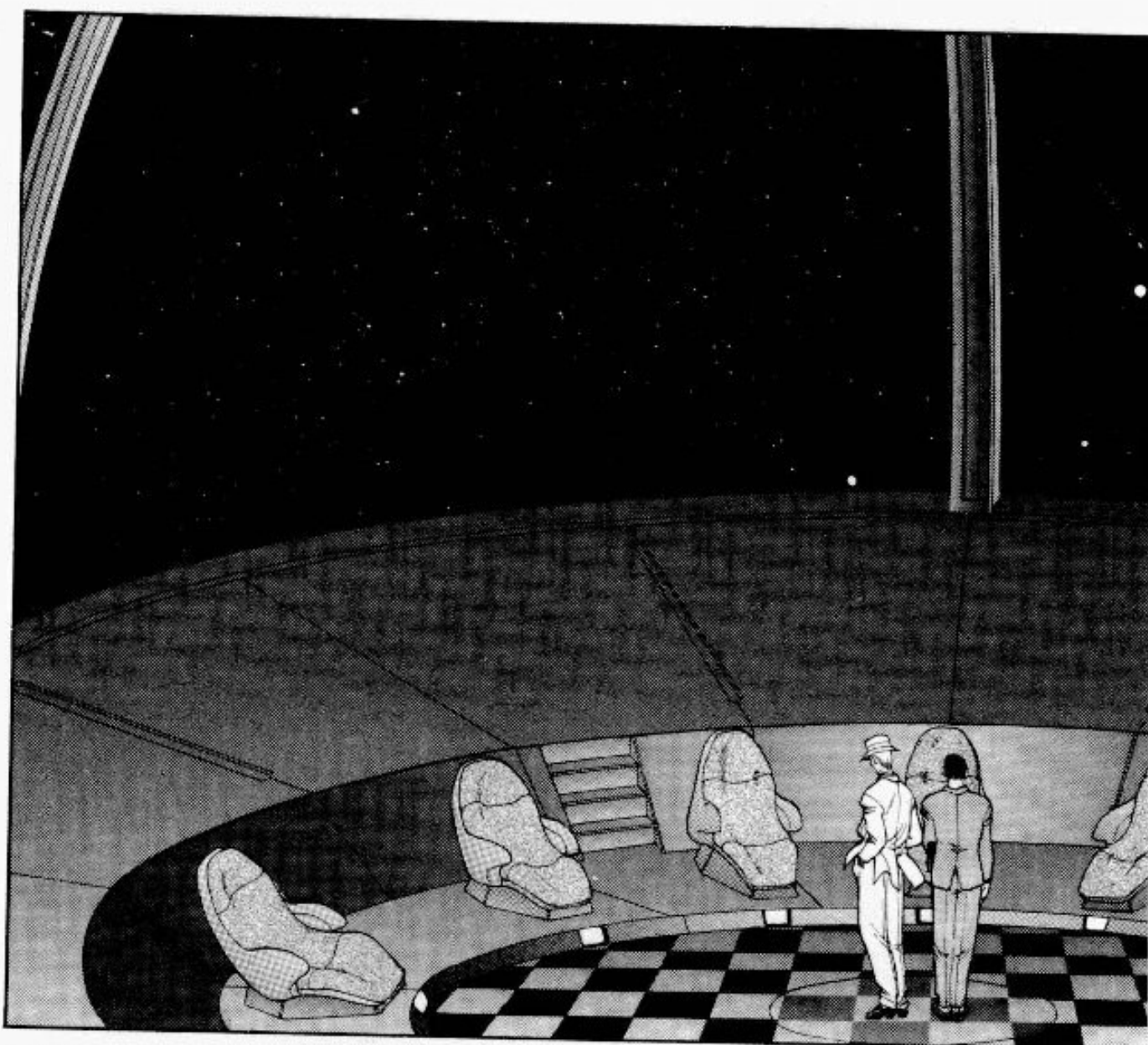












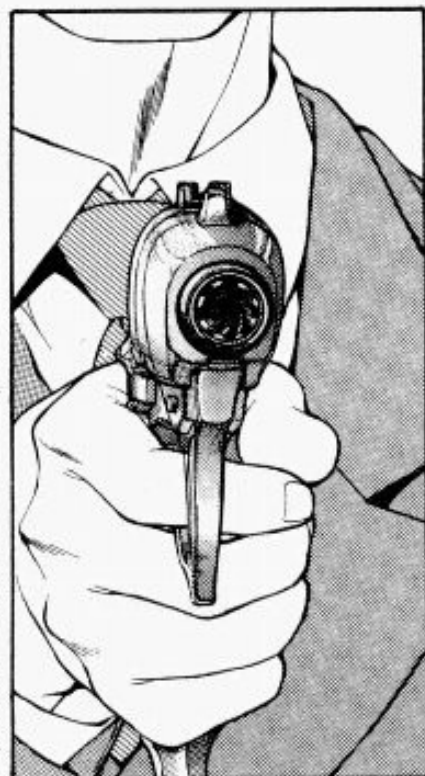
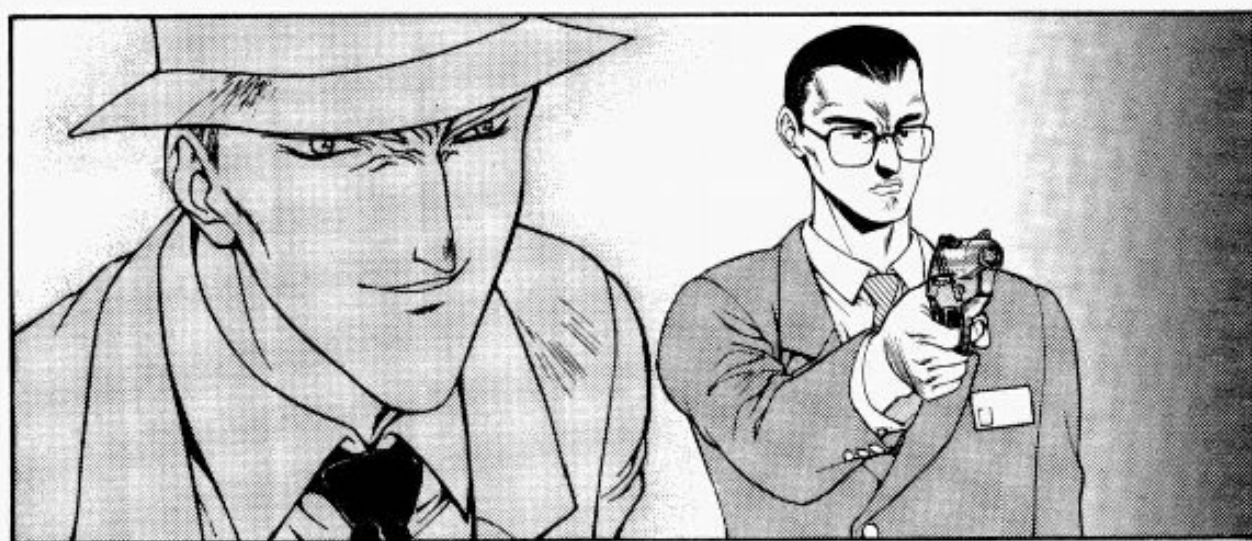


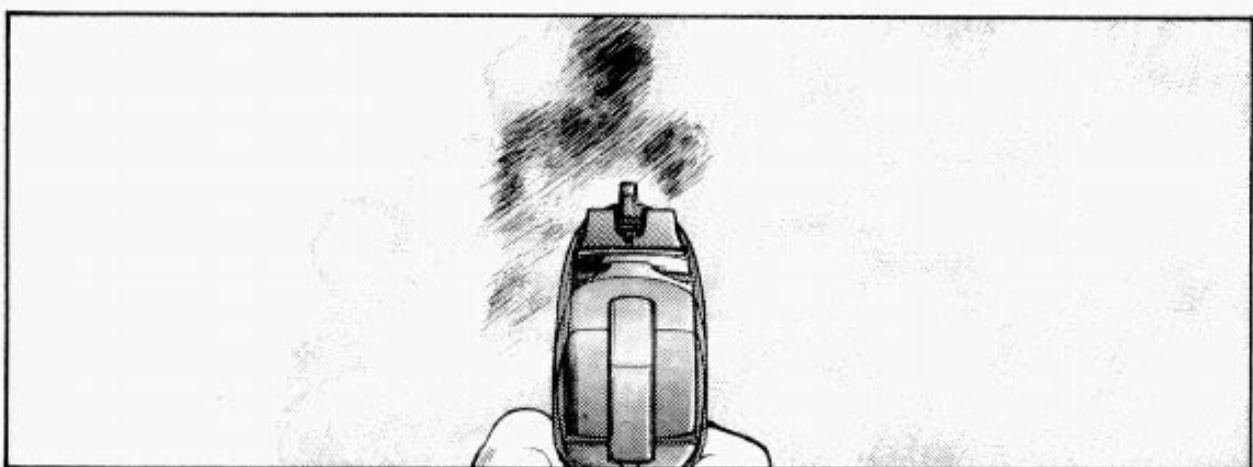
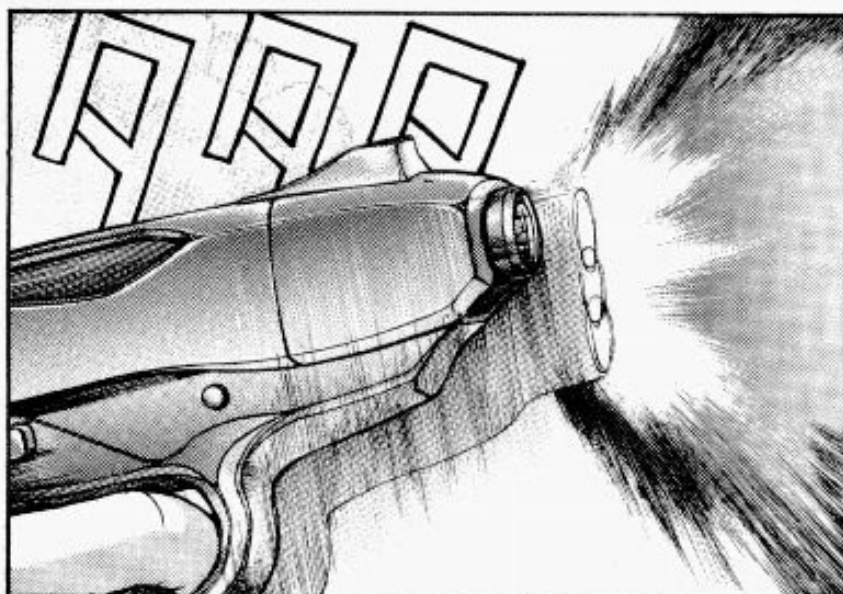
あんたが
アペプ
ハイデマン?

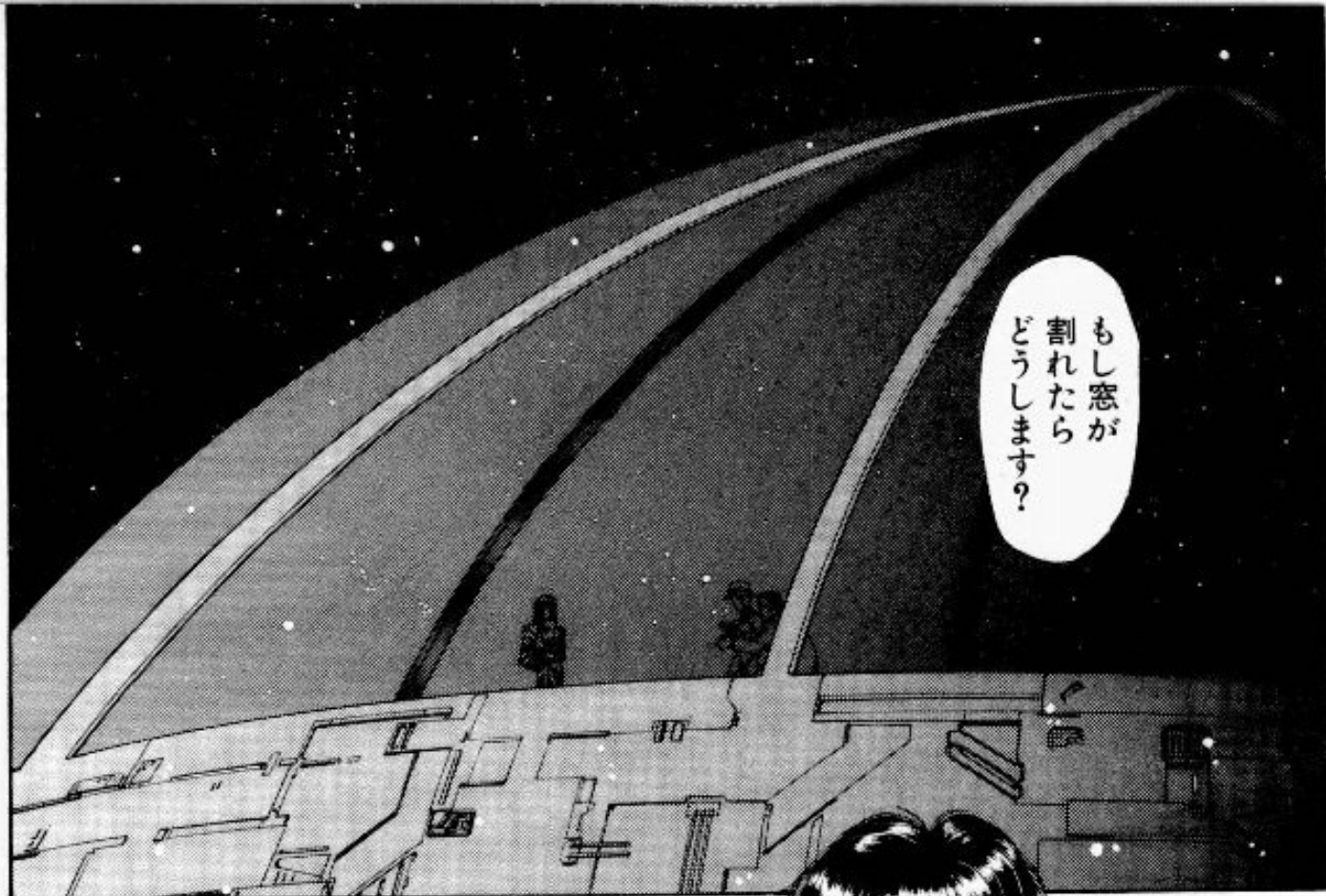






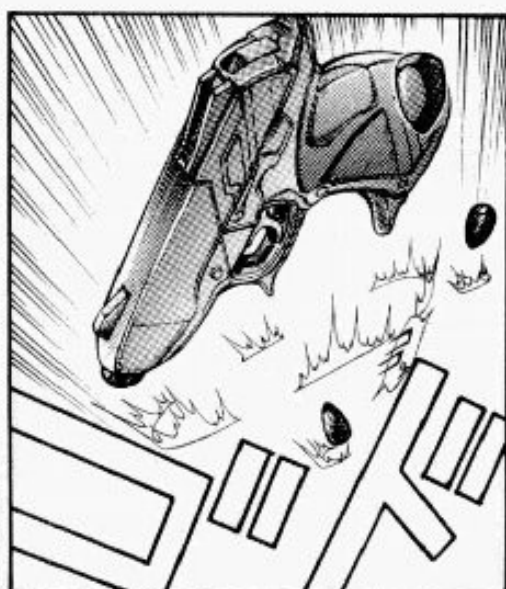




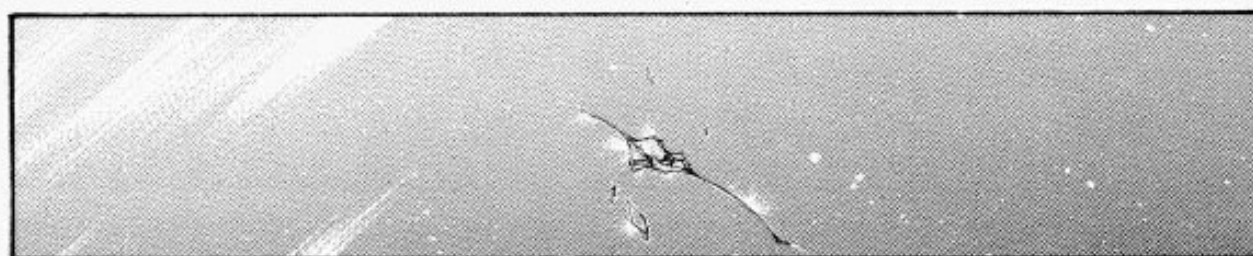


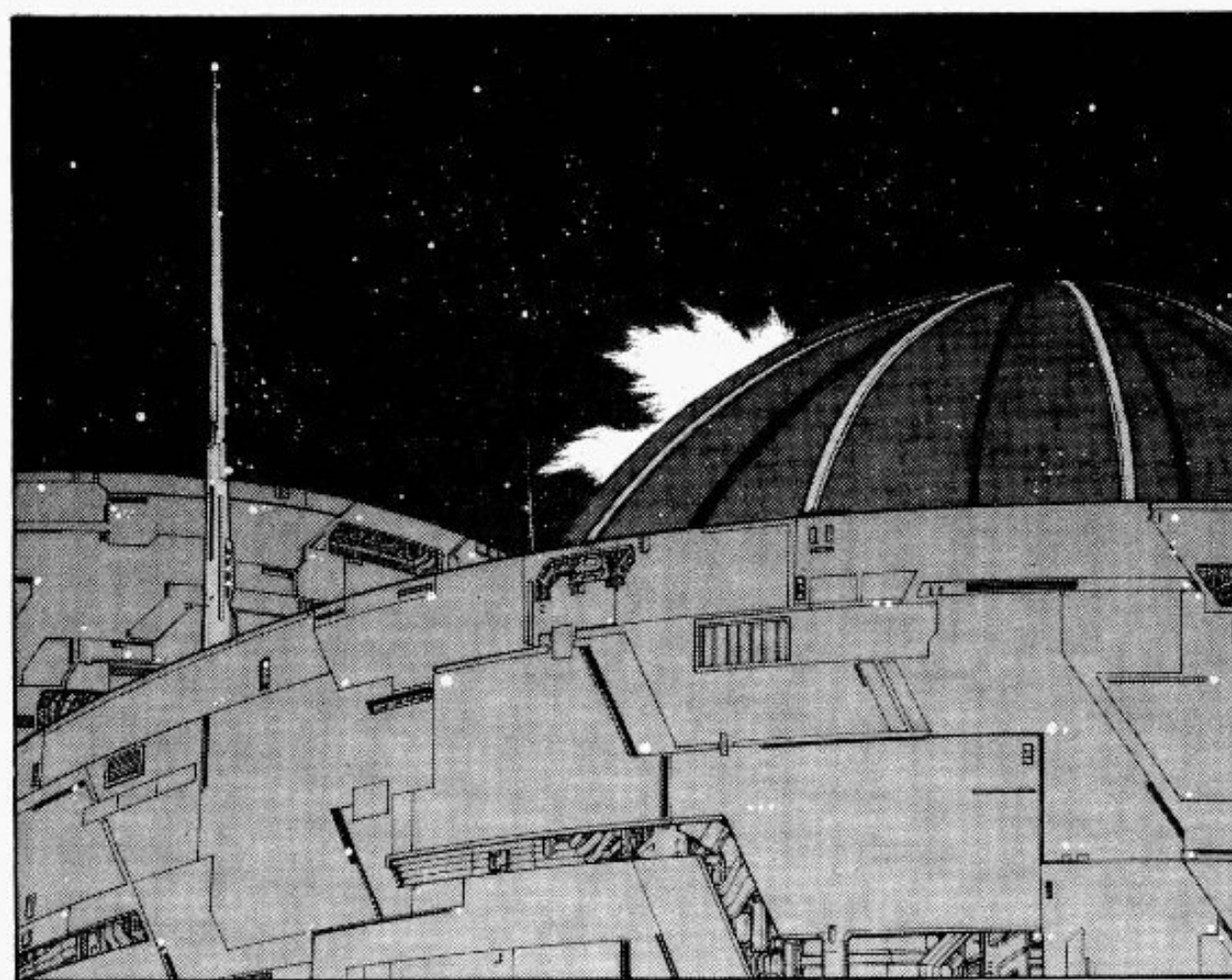
もし窓が
割れたら
どうします？







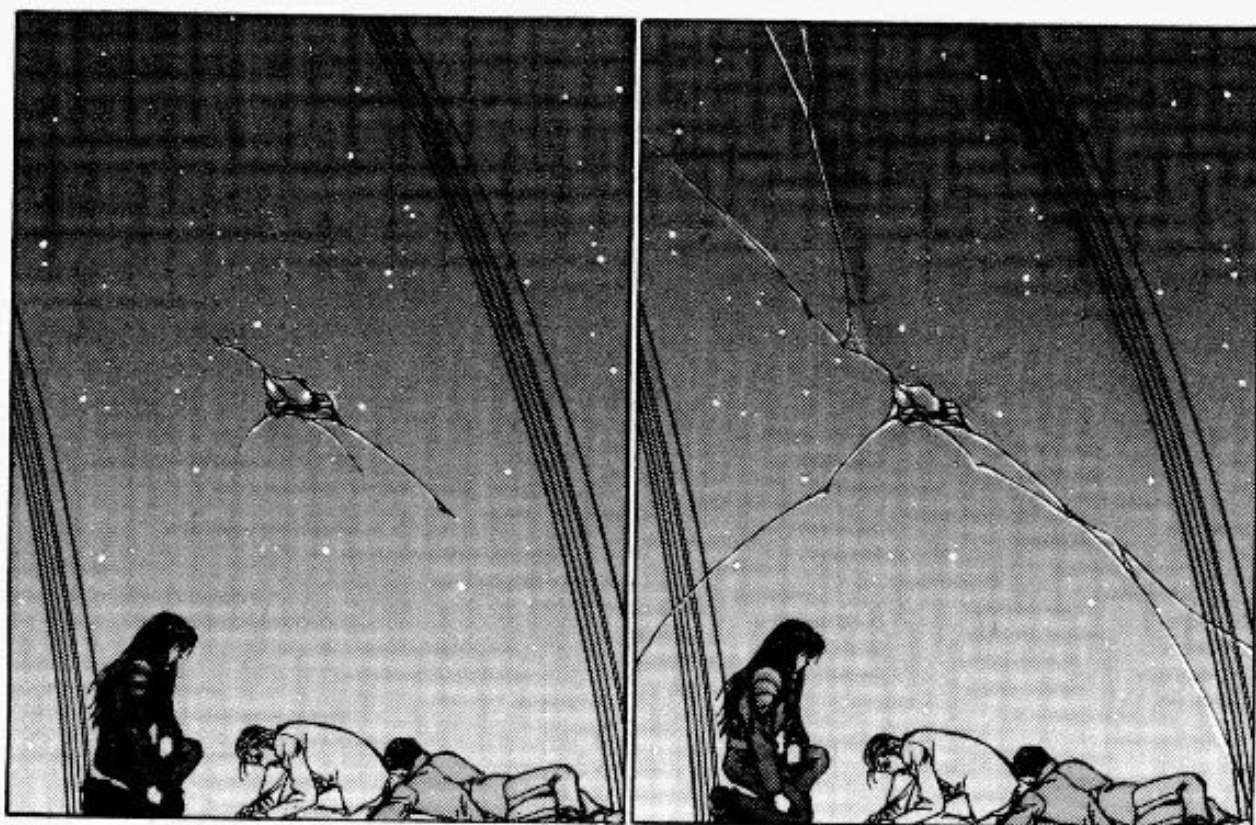
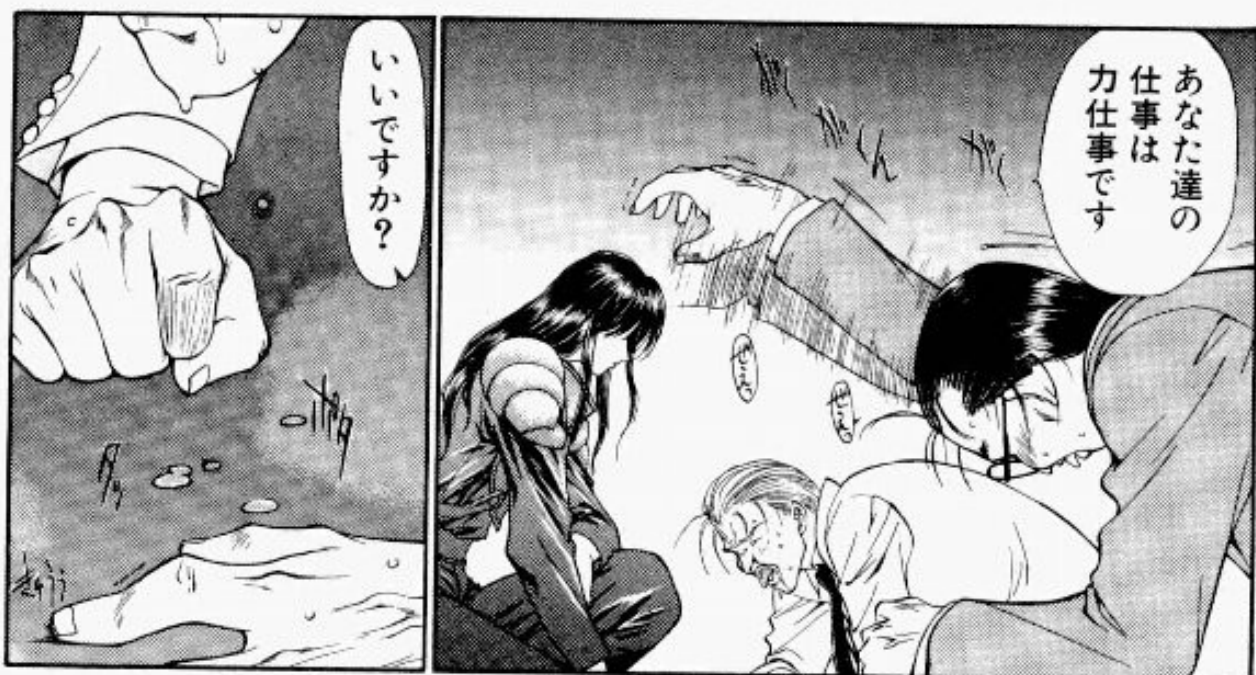






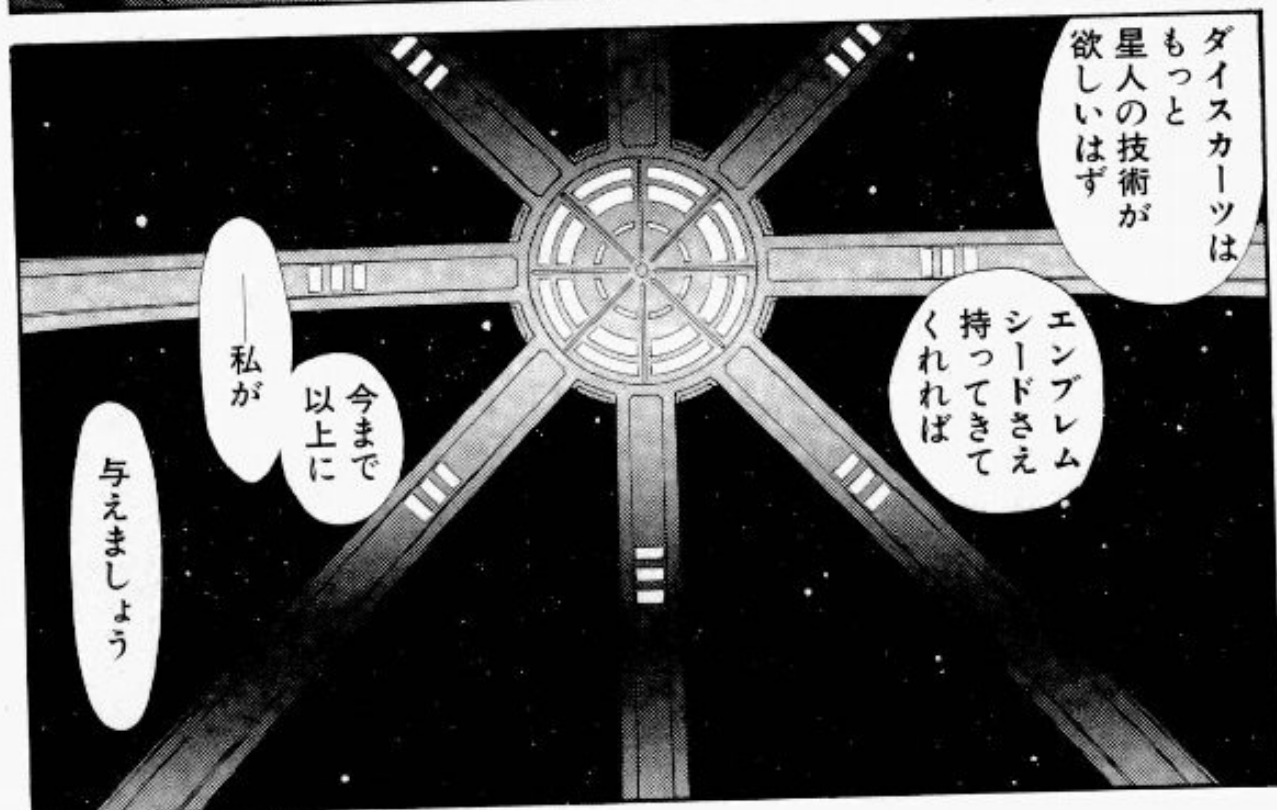






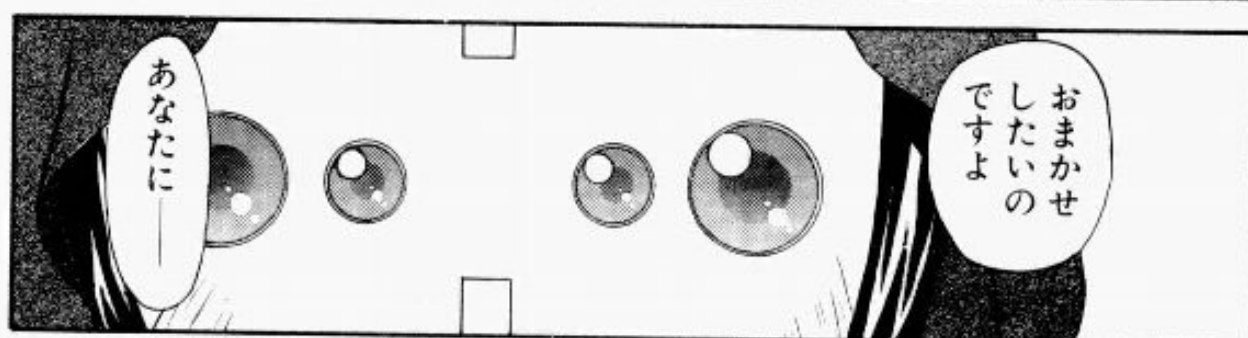








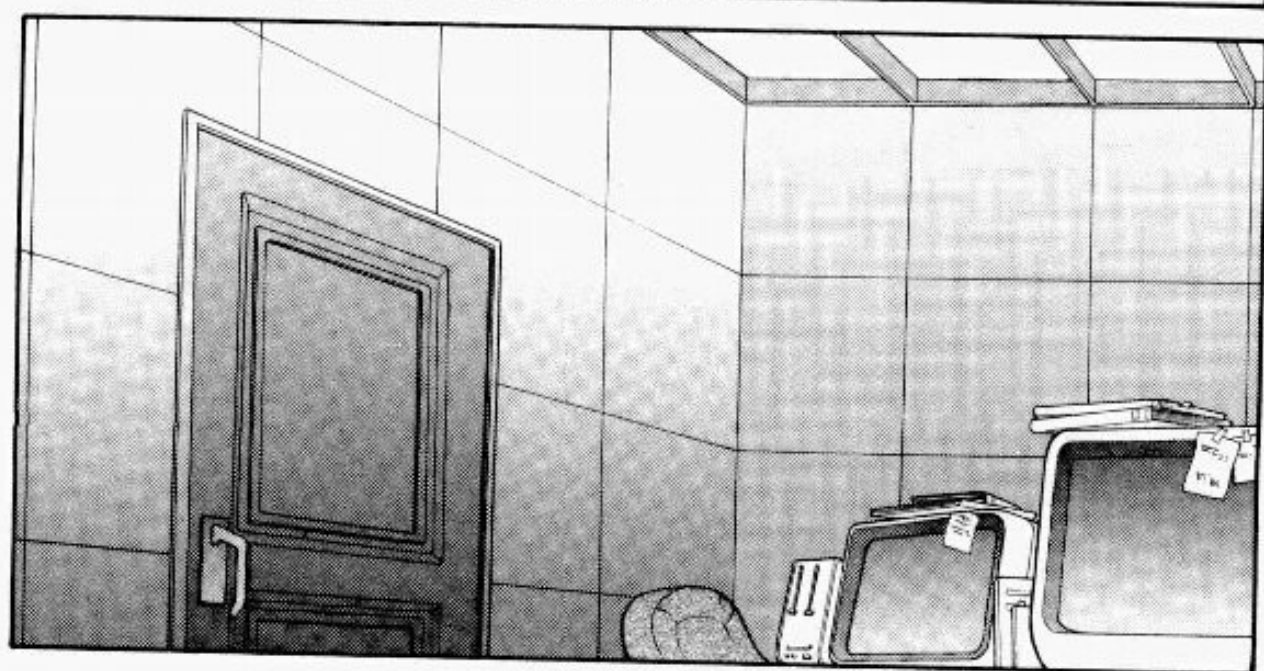
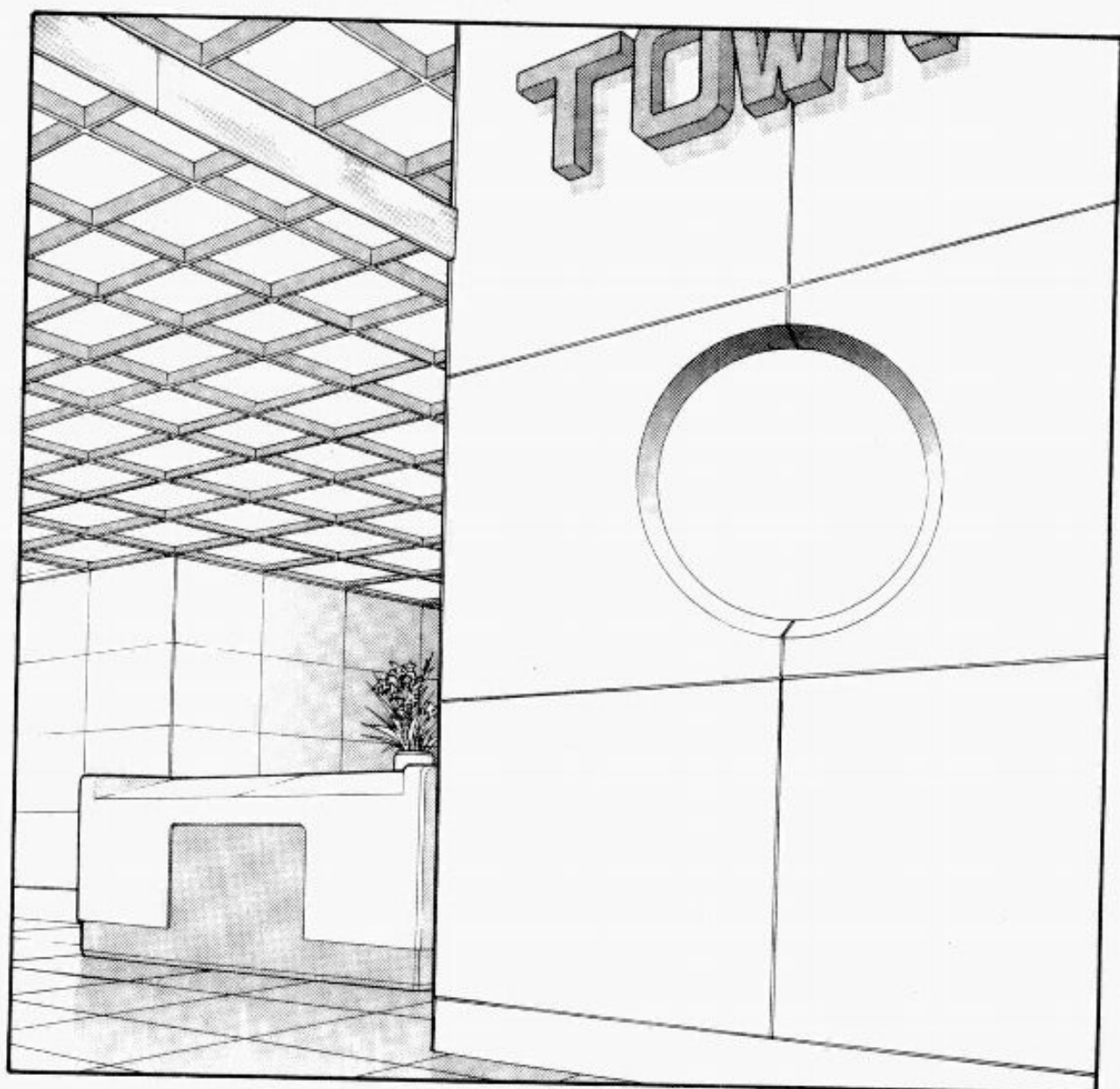


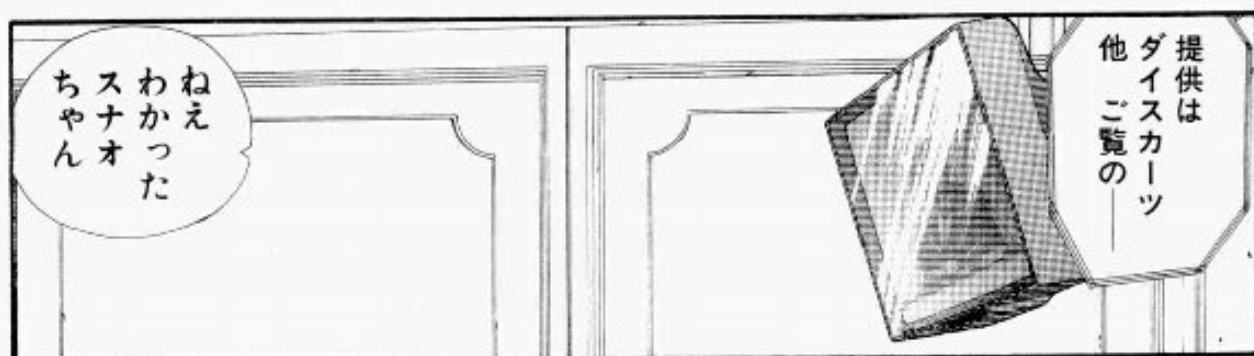


ACT.3→END



ACT.4





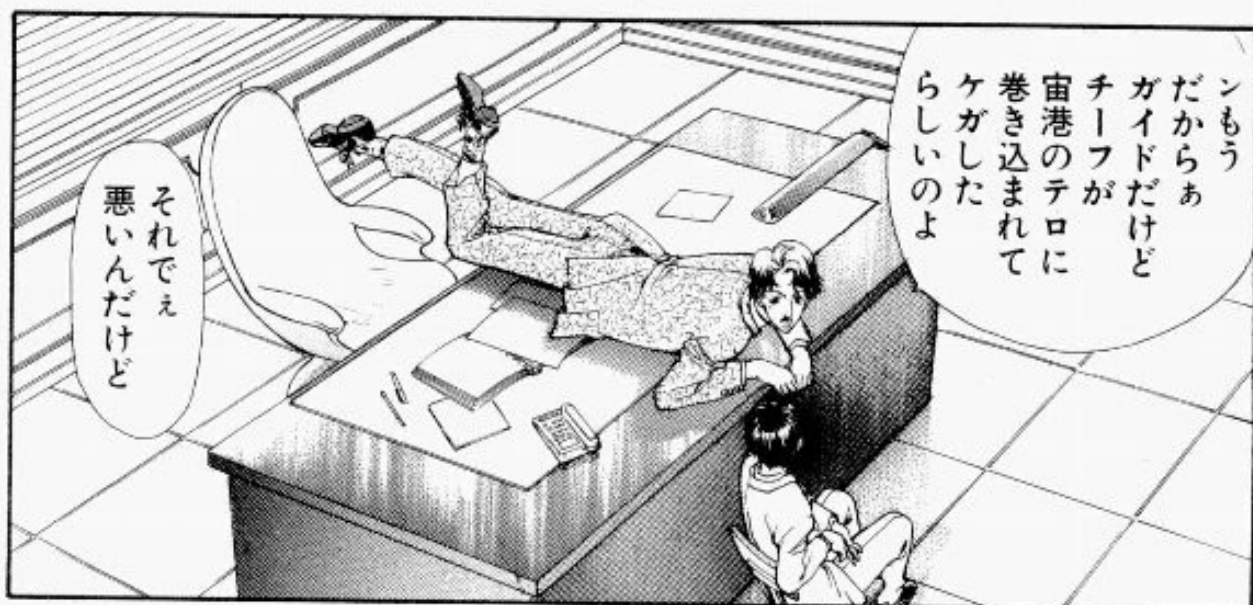




スナオ













どうして



地球に帰る
旅券！
いつぐらいに
入りますか！

ひっ

所長！！

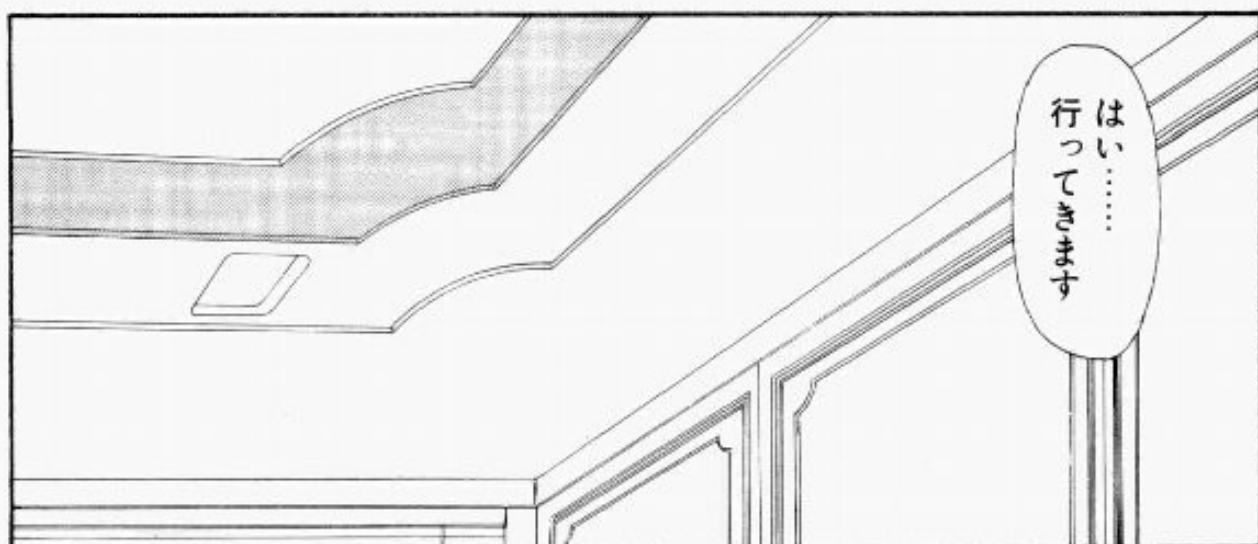
もう
冗談よね
冗だ……

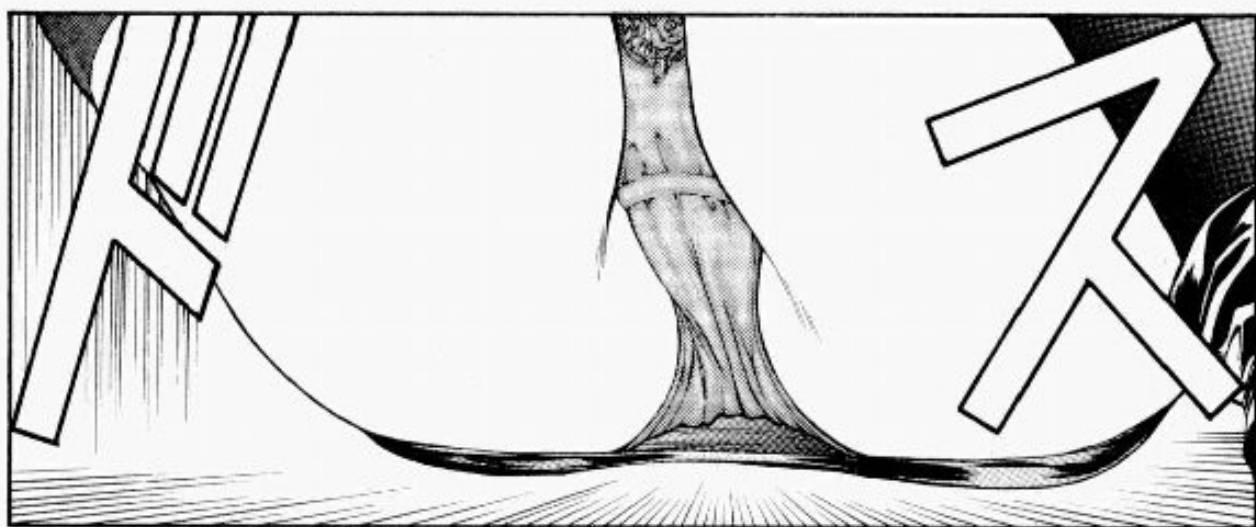


な……なに？
スナオちゃん

そんな
怒らなくても
や……嫌ね
お客さんは
国連の人たちよ



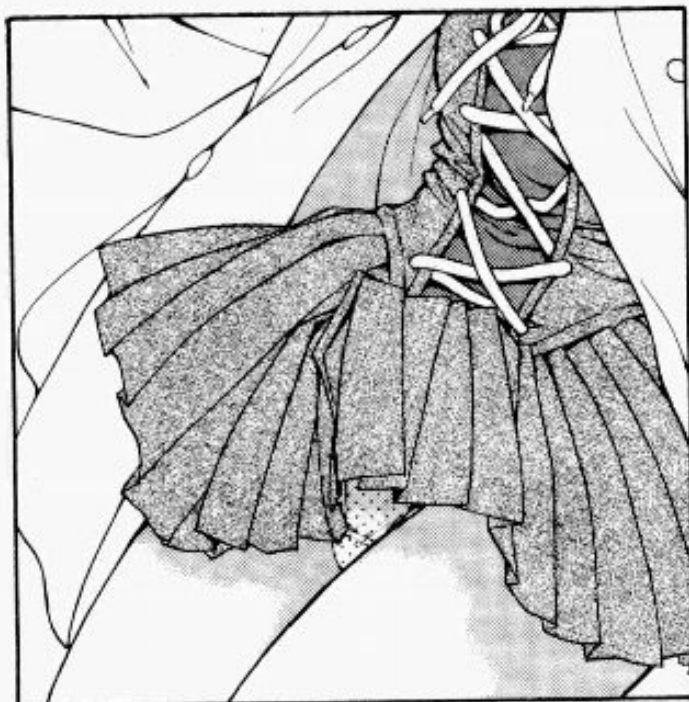














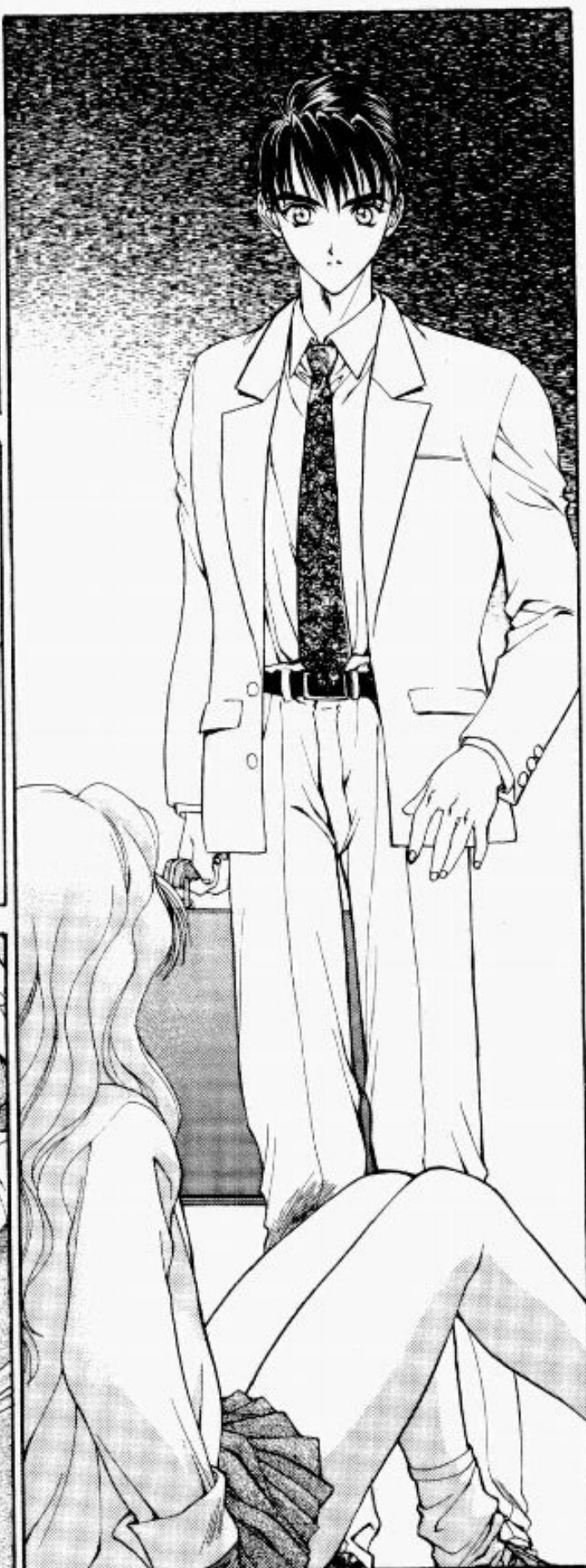
前見て歩けよ

危ないなあ



いたた
そっち
だっ



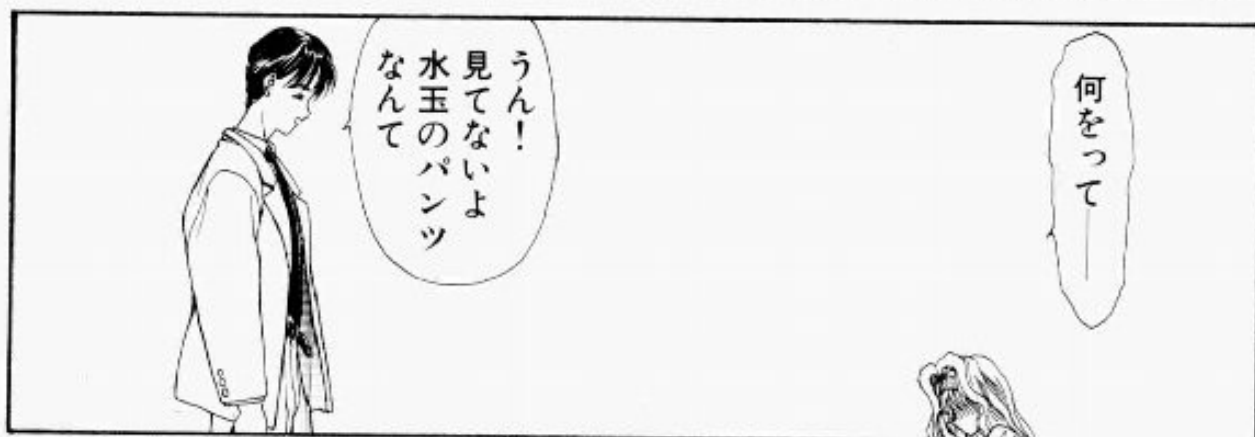




何を?



見たでしょ



何をって

うん!
見てないよ
水玉のパンツ
なんて



マザクさん!
この人嫌い!!

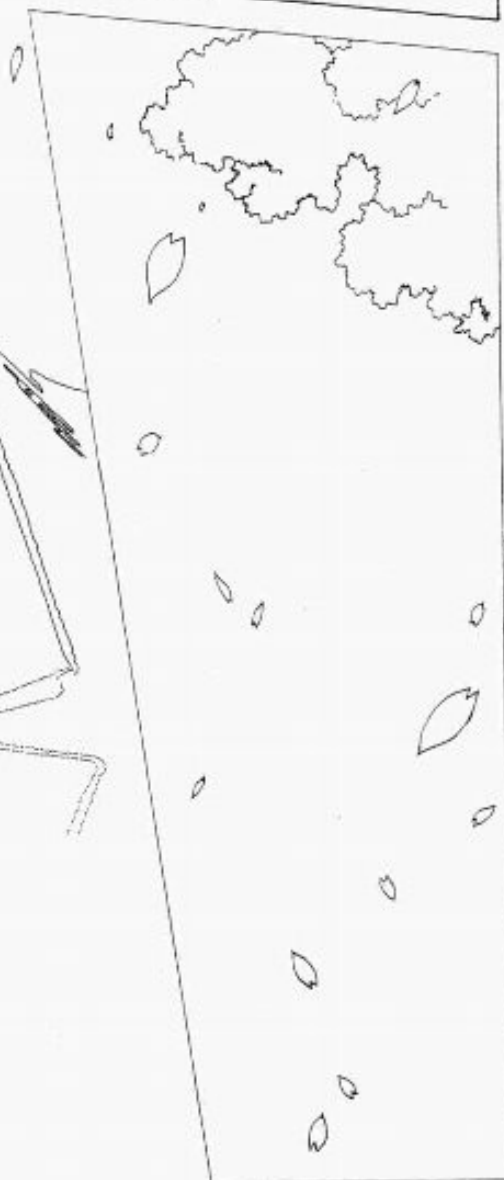


やっぱり
見たんだ



うん？

—この
お花なあに？



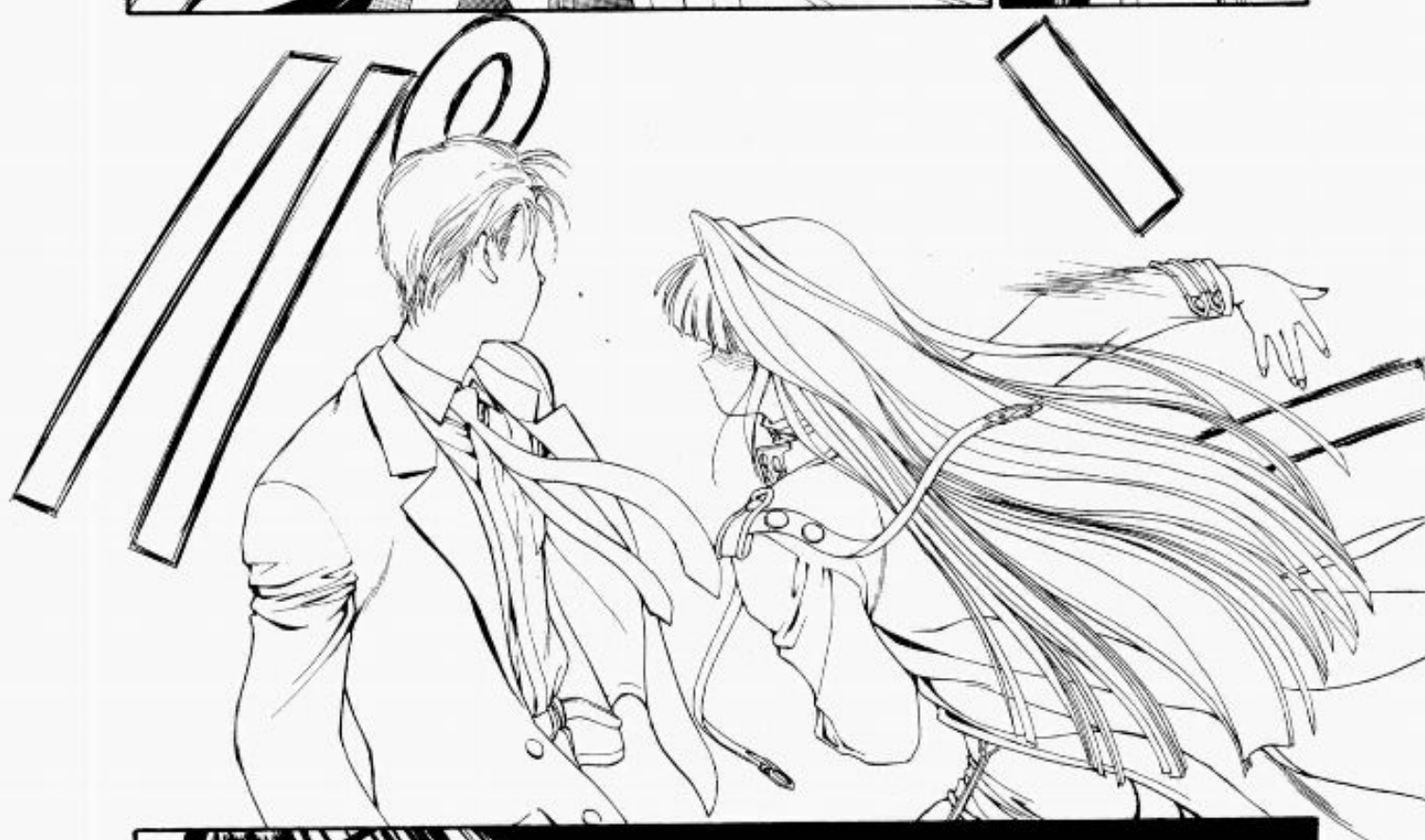
知らない
んだ？

これはね
「サクラ」
だよ



サクラ？



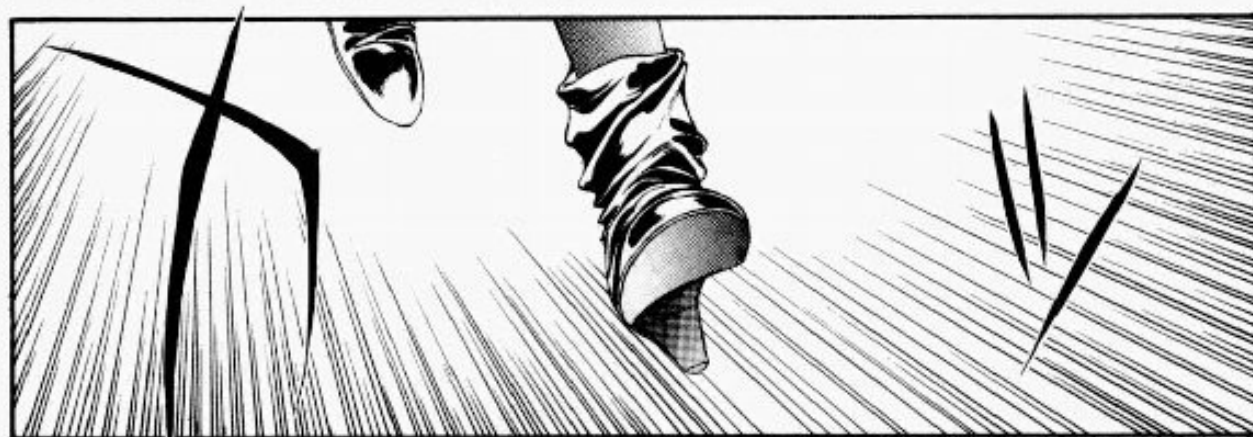


ACT.4…→END

ACT.5













遅れて……
申し訳
ありません
……でした



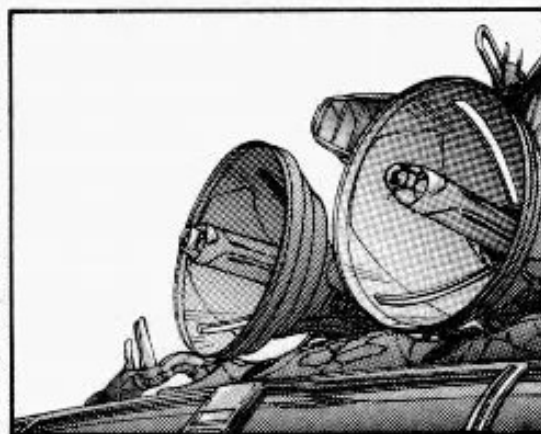
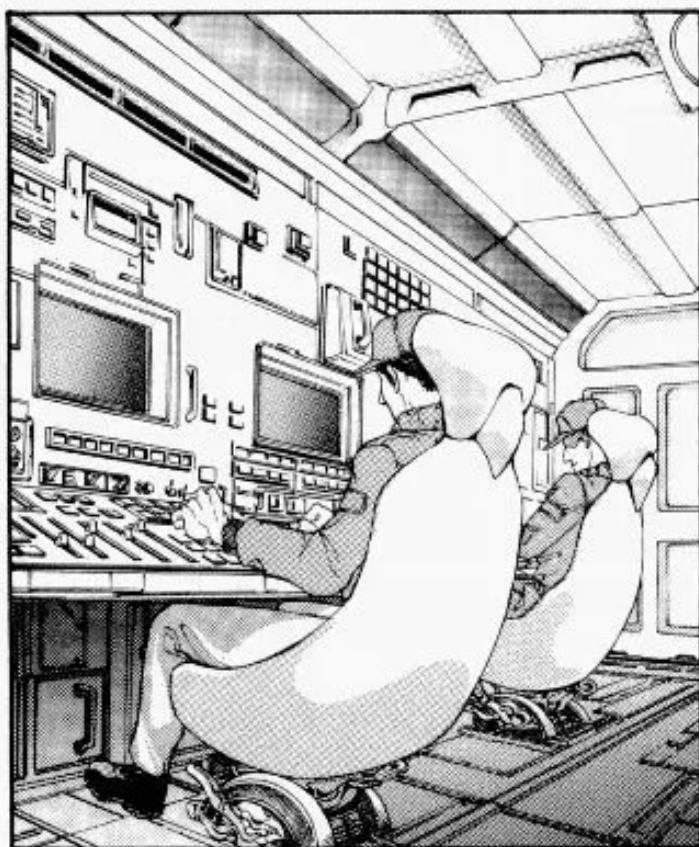
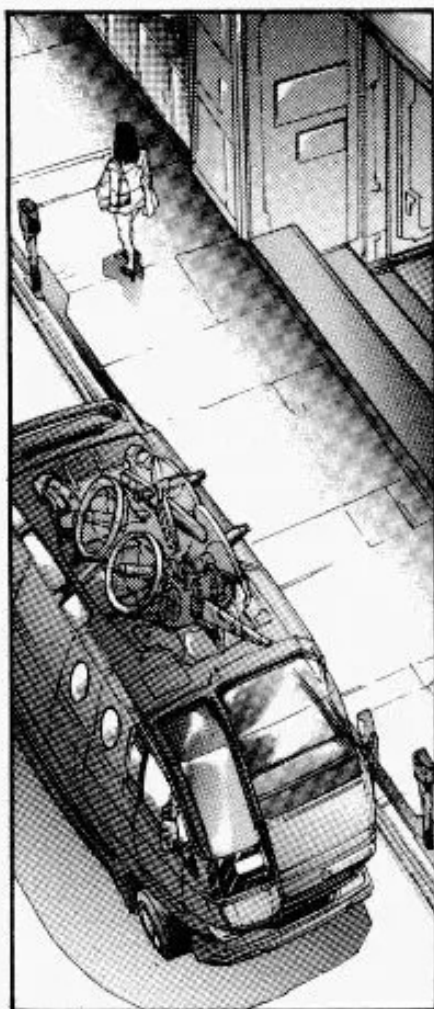




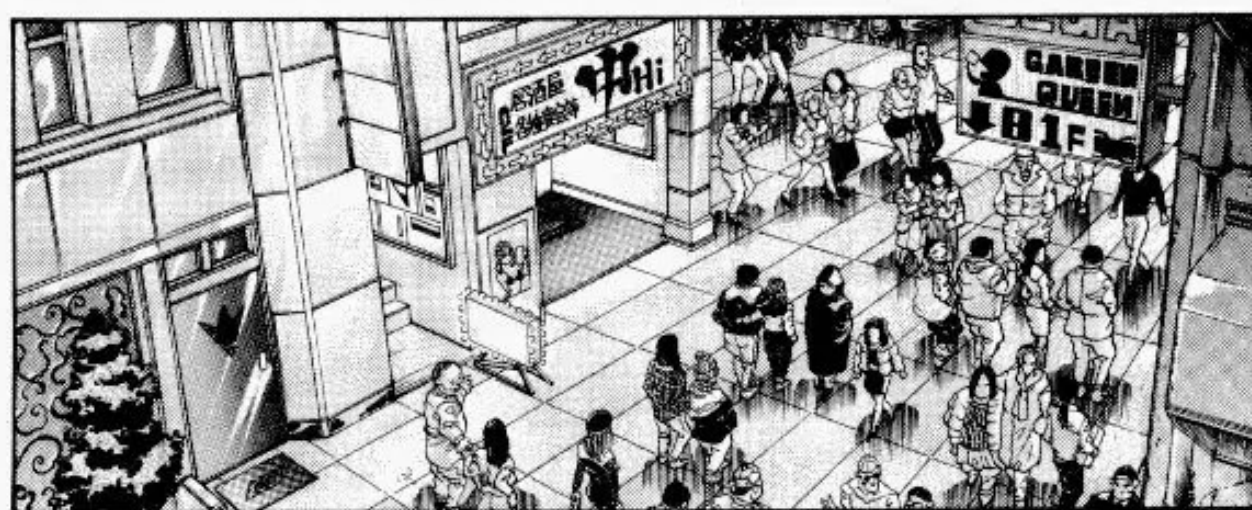


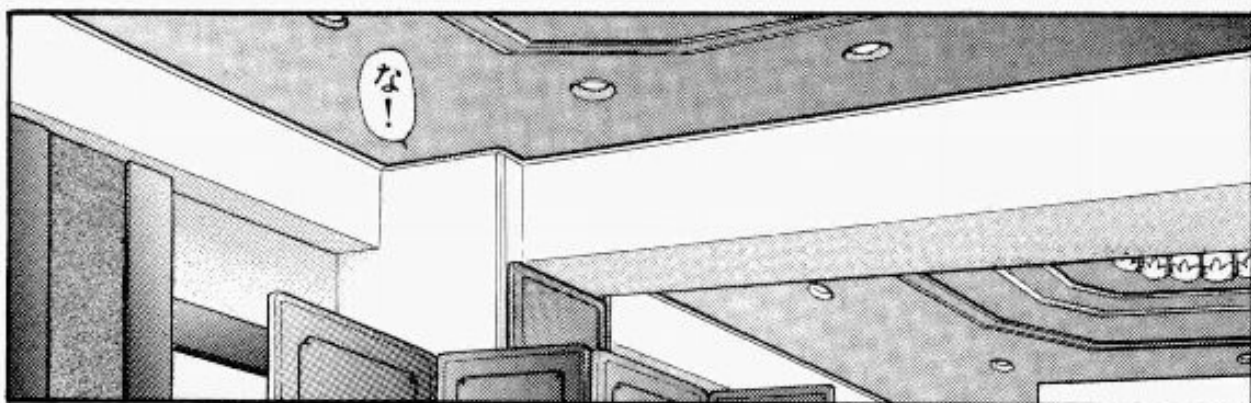
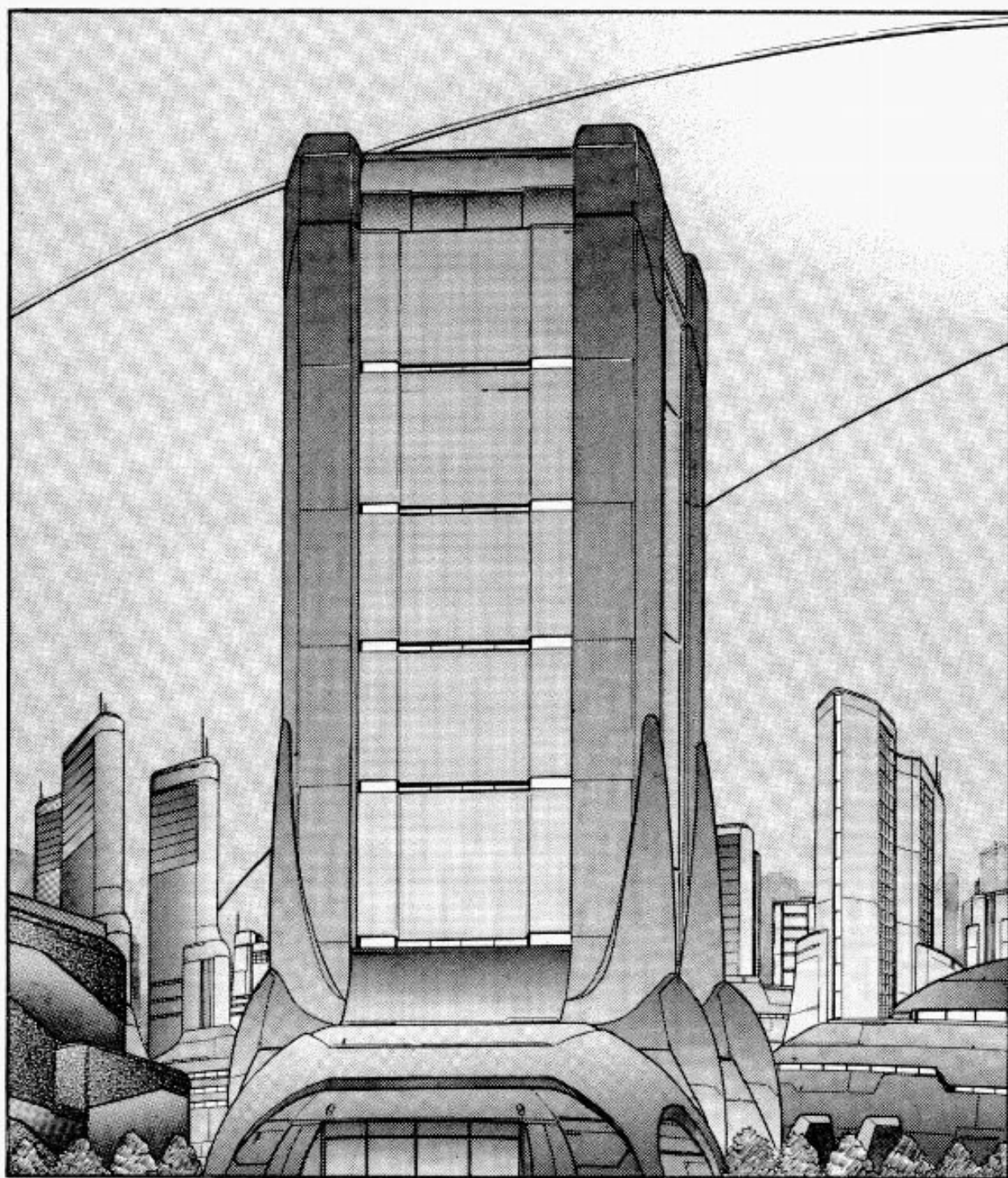






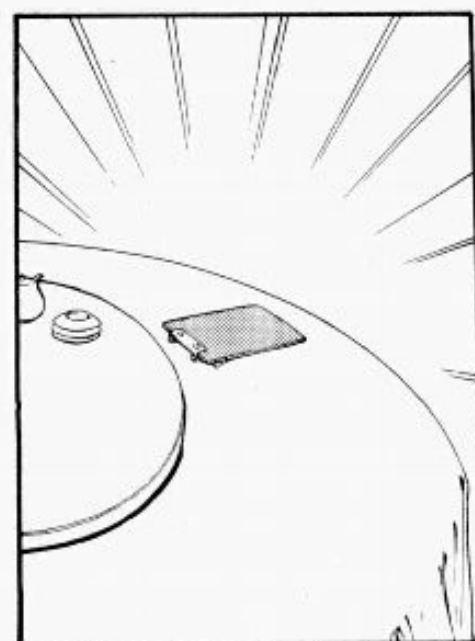
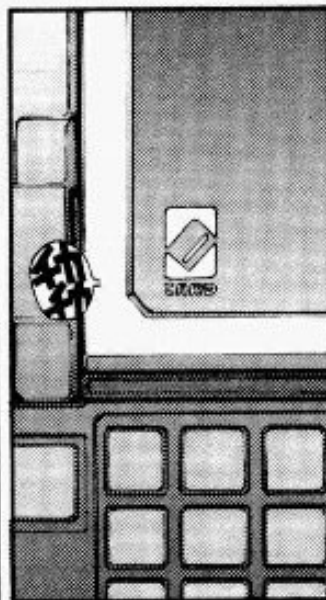
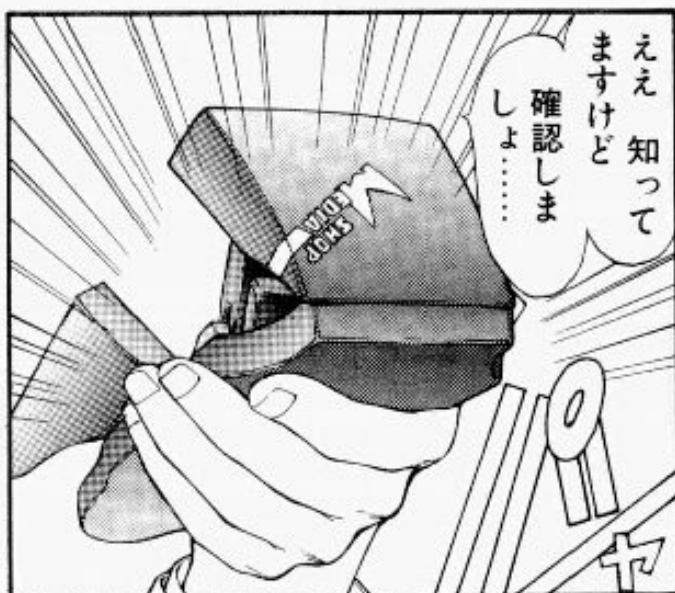


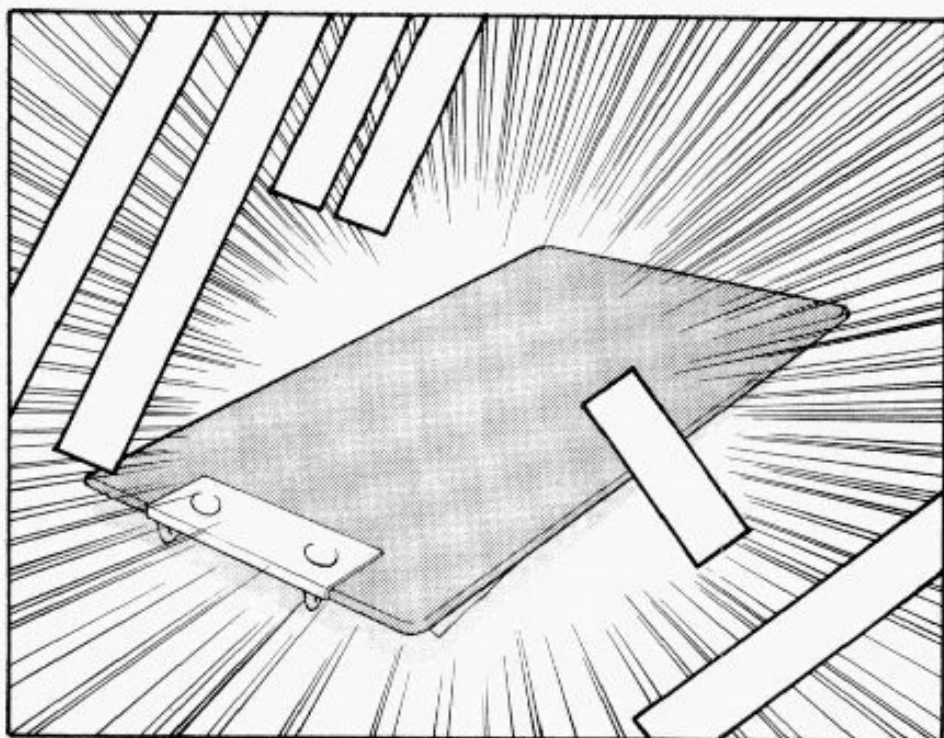












ああ
大丈夫
国連の方から
すぐに振り込ま
れるはずよ

いくら財政難って
いったって
食事代やガイド料
ぐらいはちゃんと
支払われるから

あとで
振り込み
……
ですか



そ！
大丈夫
ははン
それが心配で
あまり食べな
かったんだ
ま
ケイも今日は
なぜか不思議な
くらい小食
だったけどな

ち 違うよ
いつもこんな
ものよ！

やーね
マザクさんたら
冗談ばかり

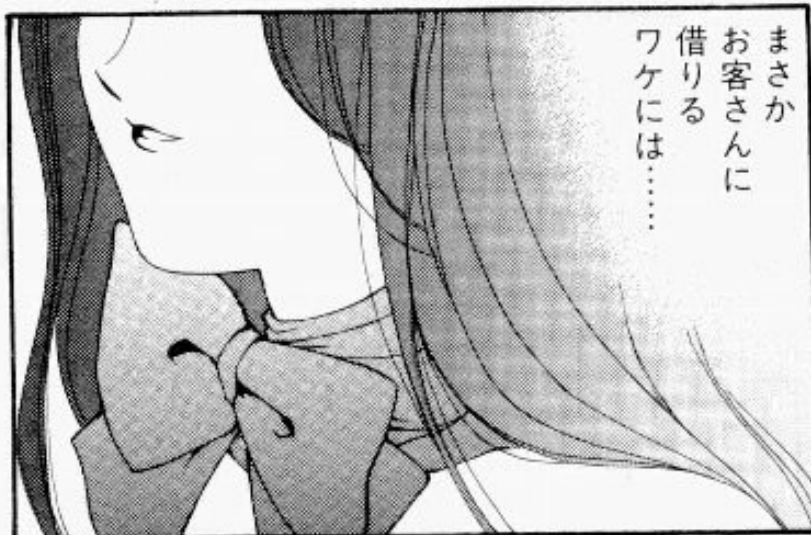




僕のカードは
壊れているし
食い逃げは……

無理……
だろうなあ

まさか
お客さんに
借りる
ワケには……



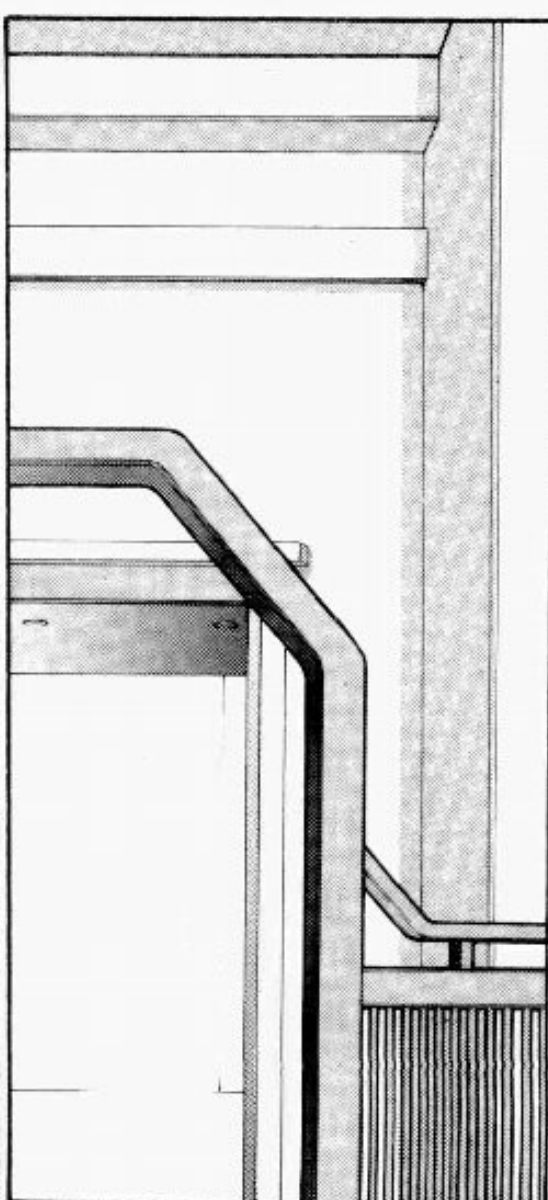
そうだ

ツケが
きくかも……!

ちよつと
電話
してきます



ここで
電話できる
じゃない
それで





な……拳

見たな！



ACT.5→END

ACT.6



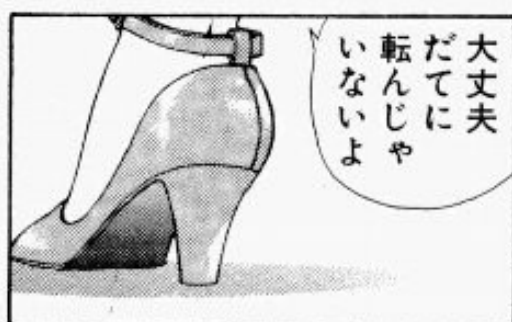










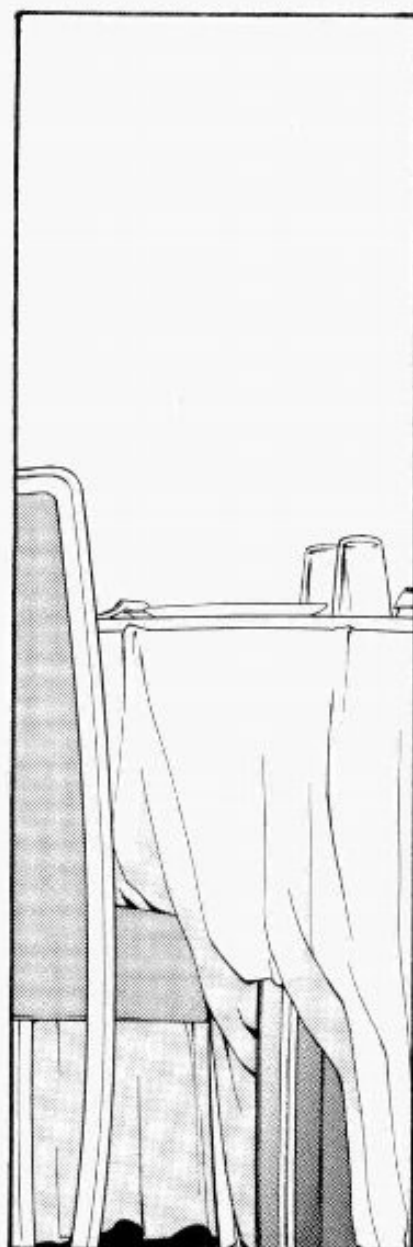














持ってるん
じゃなくて
運んできたの



マザクさんも
持ってるんだ



あの……

今回の査察に
必要なんだ



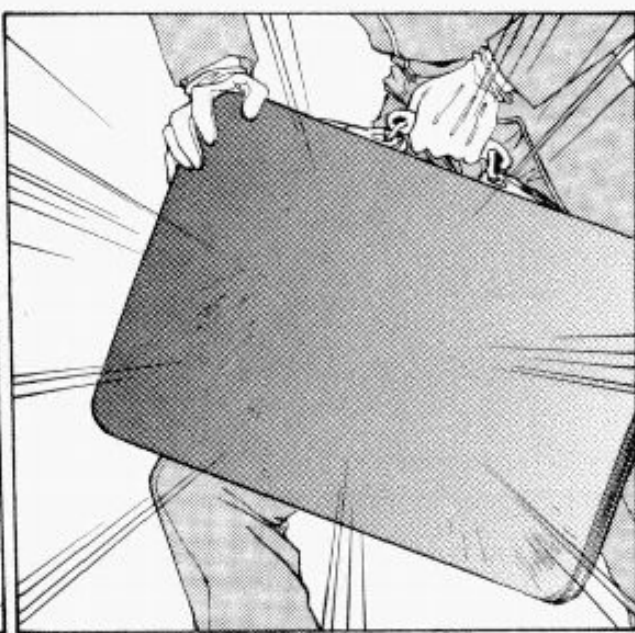
……あ

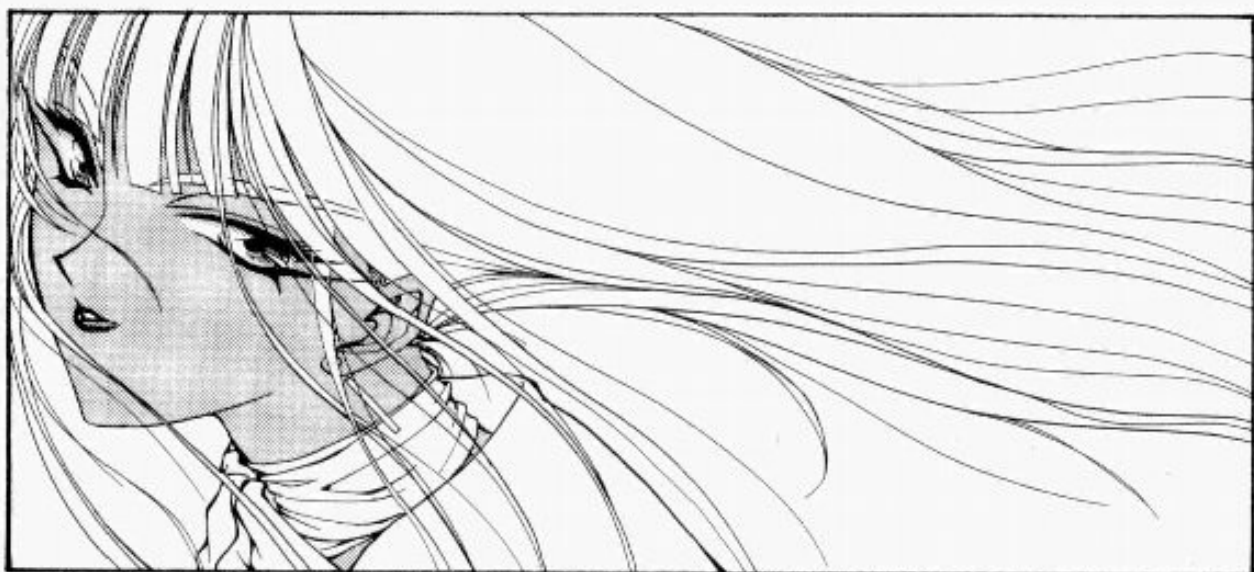


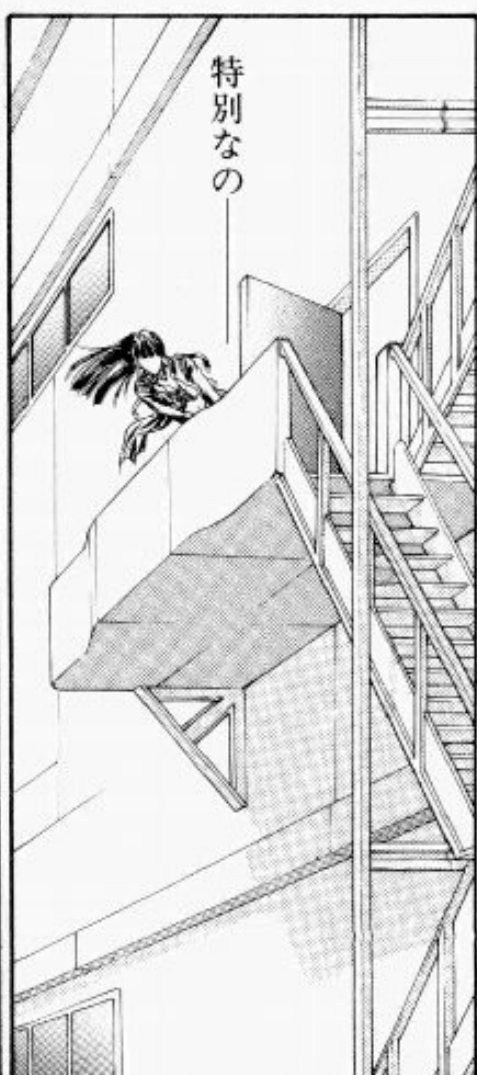








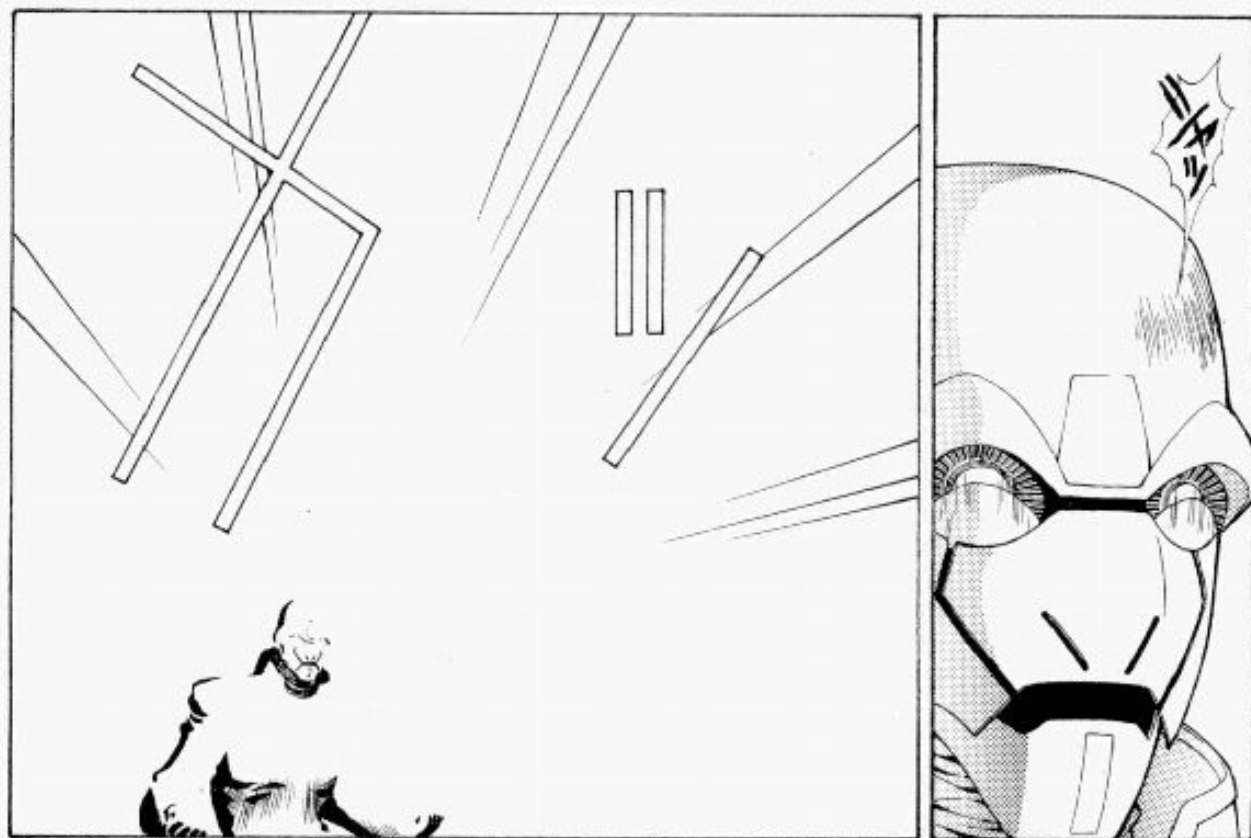










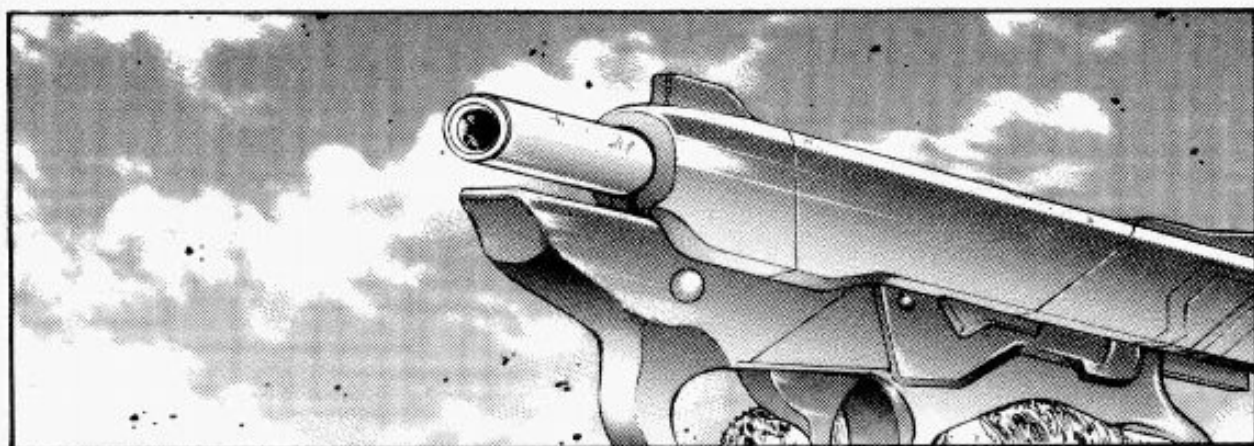


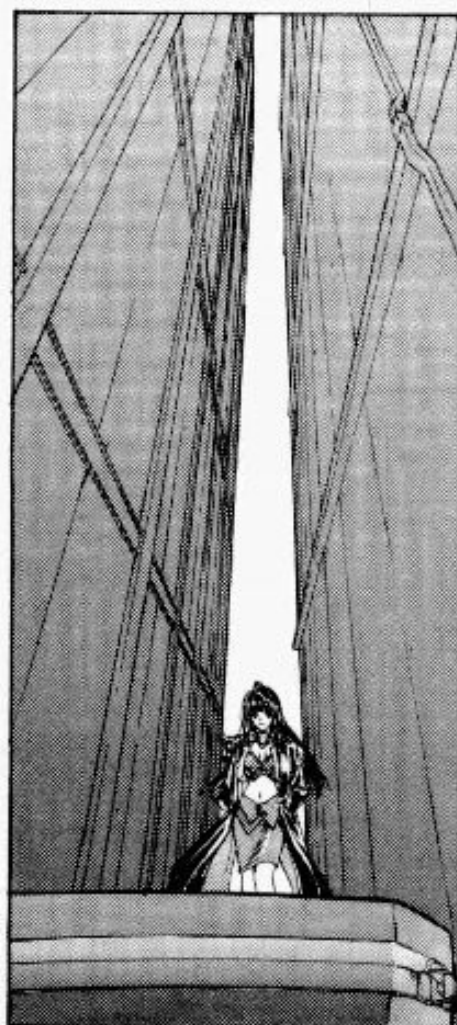
しまっ













セラフィック・フェザー 1...END

「セラフィック・フェザー」第1巻
は、'93年のアフタヌーン11月号から
'94年の4月号に掲載された作品を収
録しました。

編集部では、この作品に対する皆
様の御意見・御感想をお待ちしてお
ります。また、今後「アフタヌーン
KC」にまとめてほしい作品があり
ましたら編集部までお知らせ下さい。

東京都文京区音羽二丁目十二番二十一号

〈郵便番号 一 一 二 一 〇 一 〉

講談社「モーニング」編集部

アフタヌーンKC係

アフタヌーンKC 78

セラフィック・フェザー 1

一九九四年 四月二十三日

第一刷発行

(定価はカバーに表示してあります)

著者 森本 洋

うたたねひろゆき

発行者 山野 勝

発行所 株式会社講談社



東京都文京区音羽二丁目十二番二十一

郵便番号 一 一 二 一 〇 一

電話 編集部 東京(〇三)三三九四五―九一五五

販売部 東京(〇三)五三九五―三六〇八

印刷所 株式会社 廣 済 堂

製本所 永井製本株式会社

©Yō Morimoto・Hiroyuki Utatane 1994

(本書の無断複製(コピー)は著作権法上の例外を除き、禁じられています。)

落丁本・乱丁本は小社雑誌業務部にお送り下さい。送料小社負担にてお取り替えいたします。なお、この本についてのお問い合わせはモーニング編集部にてお願いいたします。